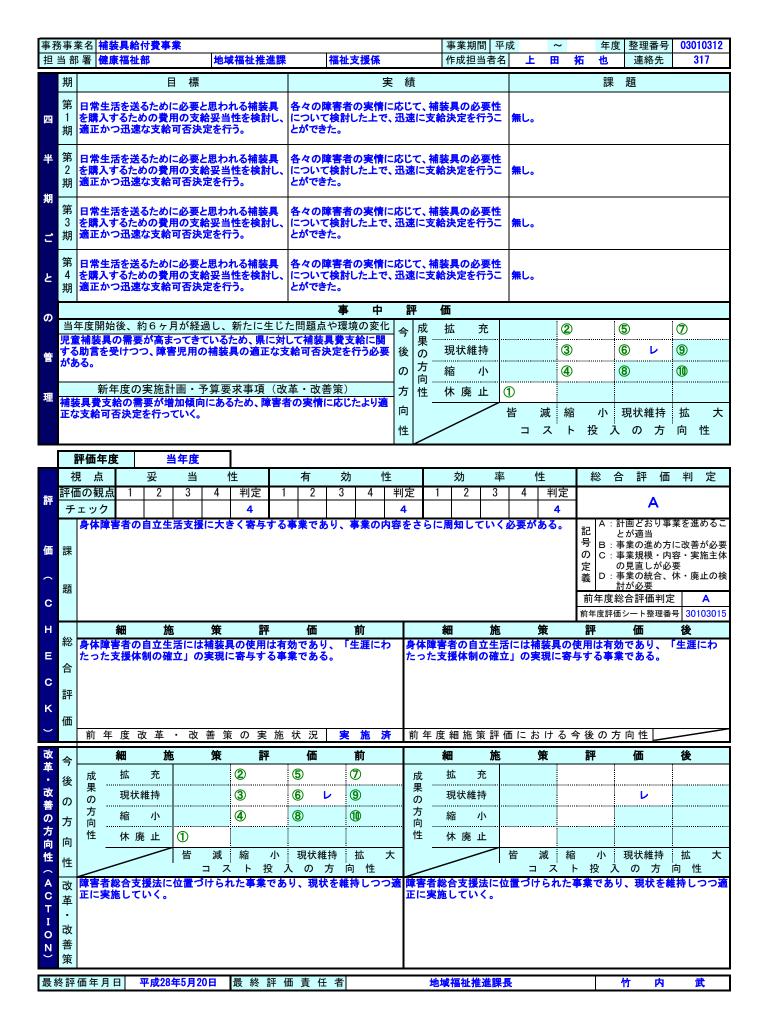
事	務事 簿	Ě名	自立支援医療	寮事	業										事業期間	平成		~		年度	整理番	号	03010311
担	当部	署	健康福祉部			‡	也域福	祉推進	性課		福祉	支援的	Ř.		作成担当	者名	上	H	拓	也	連絡	先	317
	おり	ける	プランに 位置づけ	有		策 体	-	政 施 細 が 事務		01 03 01 03		節 降 こわ <i>t</i>	章害者仍	R健福祉 支援体制									
計	予	算	事 業 名		Z支援												<u> </u>						02 事業 04
画	事為	務事	· 業 の 概 要 _{わかりやすく)}	の育を自立	療療 技医療で 援 で 変	の 費 き 医	部を担 身体に 場合に 費の	援助す に降って 自己	る。県 を有す 治療費 担額の	更生る児の一	相談所 童(1 部を援 は、前	の判 8歳 助 年の	定が必 未満) る。 世帯の	要である が、その 所得税都	。)障害をな 類により詰	iくしが と定され	とり、 れる。	軽減	する手	術等の	治療に	より	る場合にそ確実に効果
			と 背 景うして)												療を施す 管害者の自						れる者	に行	う高度かつ
^	目	対	受 益 者 (誰のために)									-			ト体障害リ ト体障害リ								
P		象	対象 (直接働きかける)											5110 5	「神障官が	G * 1⊟ o	•						
	的	(どん	意図な状態にしたいか)								軽減を												
L A			・ 方 法 やって)	甲部と、	で受 所得	理し階層	、受 によ・	合者証って定	を発行められ	・交んた上	付する限額以	。受 上の	給者証 金額を	を交付さ 支払う必	がなく	者は、なる。	· 医療	機関	での支	払い時	に受給	者証	を提出する
			行政活動の組	結果	からつ	つくり	ナだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	†算式	· 目	摽値設	定の表	考え方な	ے:	最終目標値
N	評	活動的	医療費の一	部を	援助					申請	(レセ	プト	件数	件	実績数	値							60
	価指標	指標																					
J	の作成	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	+算式	・目	標値設	定のを	考え方な	ځ:	最終目標値
	肞	果指	障害者が自	立し	た生活	きを送	きるこ	とがて	きる	障害	变更者	数		人	事業を	適用し	、障	書が製	減さ	れた数			5
		標																					

	Į	頂	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円	28, 279, 895	15, 916, 774	15, 814, 804	17, 542, 047	16, 200, 000
	財	国庫支出	金	田	14, 139, 947	7, 958, 387	10, 082, 920	10, 170, 000	8, 100, 000
	源	県 支 出	金	円	7, 069, 973	3, 979, 193	4, 920, 131	4, 381, 036	4, 050, 000
		地 方	債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円	7, 069, 975	3, 979, 194	811, 753	2, 991, 011	4, 050, 000
施	職	正規職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0.03
		嘱託職	員	人				****	
	員	臨 時 職	員	人	0, 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	数	合	計	人	0. 04	0.04	0. 04	0.04	0.04
状	3	対象 (者)	数	Ĵ	14	33	28	30	30
			(b)	关	142	281	250	250	250
			(b)	円	199, 154	56, 643	63, 259	70, 168	65, 778
況	Ę	受益者負担	額	円					
20		市民一人当たりのコス		円	504, 00	284, 00	284, 00	316, 00	297, 00
			目標	III.	60	60	100	300	300
		申請(レセプト)件数	実績	件	142	281	319	366	
$\overline{}$	活		達成率	%	236. 67	468. 33	319.00	122. 00	_
	動		目標						
	判比	_	実績	_					
_	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		5	5	5	5	5
	成	障害変更者数	実績	人	0	0	0	0	1
	果指		達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00
ا ت	指		目標						
	標	_	実績	_					
			達成率	%	_	_	1	_	_
	備								
	考								

事務	事	業名	立支	援医	療事	業										事	業期	間平	成		~	白	F度	整理番号	0301	0311
		3署					地址	支福祉	推進課	ŧ	福	祉支	爰係					当者名		E I	4	拓 也	,	連絡先	31	17
	期				E	目 標							実		Ė							Ī	果	題		
四	第		支払基	金と	支給国民	可否定	快定と、 保険団体			適正な行うこ	な支約 とが・	合可否: できた	決定と			基づく	(支払	事務を	無し	' o						
·	2		支払書	金と	国民	健康仍	快定と、 R険団体					合可否: できた		、実	資に	基づく	(支払	事務を	無し	' o						
期ご	第 3 期	適正が 報酬: 正な:	支払基	፟⊈金と	国民	健康保	快定と、 保険団体	社会化	R険料 会へ適	適正な行うこ	な支 約 とが	合可否: できた	決定と 。	、実	資に	基づく	(支払	事務を	無し	••						
ے	第 4 期	適正が 報酬3 正な3	支払書	金と	国民	健康保	快定と、 保険団体	社会化	保険料 会へ適	道正 ⁷ 行うこ	よ支約 :とが	合可否: できた	•				(支払	、事務を	無し	*0						
o,												事	中		_	価										
														今				充			2		5)	7	
							ב מייניה ב	J (U)	- 又和	₽ W. ⊏	44.7	1_1_U.	^ *	後							3		6) レ	9	
_														の				小			4	•••••	8)	10	
理														方	-	-			1	•••••						
								てい	た受給	者が亡	くなっ	たため	、現	向		-			皆	減	縮	小	り	見状維持	拡	大
							••							性						ı ス	-	投	入	の方	向作	性
															_	_										
	評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 4 1 2 3 4 判定 4 判定 4 チェック 4 4 9 9 9 4 日本 4 9 9 9 4 1 1 2 1 2 1 3 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																									
-				1 I				-	.) I					1					山宁	総	台	部 個	刊	疋
評				'			1						7		1	-		+ -		7				Α		
•		身体	書書	の自	立生	活支	とに大	きく寄	与する	事業で	きあり	、事	*の内	容を	Ż.	らに周	知し	ていく	必要	がある	5.	_{≣P} A			業を進む	めるこ
価	鲤	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化性活保護受給中かつ人工透析を利用していた受給者が亡くなったため、実績見込みが変わってくる。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)性活保護受給中かつ人工透析を利用していた受給者が亡くなったため、現場に沿った予算要求を行っていく。 「おおいます」では、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」では、「は、「は、」」では、「は、「は、」」では、「は、「は、」」では、「は、」」では、「は、」」では、「は、」」には、」」に																								
im.	环																									施主体
~	駬	チェック 4 4 A 身体障害者の自立生活支援に大きく寄与する事業であり、事業の内容をさらに周知していく必要がある。 記書														止の検										
С	K																									
			ψm		+4		Ade		- 30	h	-		1			-¢m		+4-		Arte						10317
	総	身体						医療の						なら	∤体				きには		医瘤					きのな
E	^	い、	多動し	、やす	い、	すべ	での人	こ快道	なまち	うぐり	ijσ	実現	寄与	すし	١,	移動し	しやす	けい、す	べて	の人	に快	直なます	ちづく	くり」の	実現に著	与す
С		ବ କ :	R C a	ე მ .										1	7	* 60	າ ຈ .									
	評																									
K	価																									
)	1	前	年 度	E 改	革	• 改	善	きの	実 施	状步	5	実 加	も 済	Ē	前 :	年度系	细施	策 評	価に	おけ	る:	今後の	方「			
改	今		細		挽	Ē.	策		評	佂	i	前				細		施		策		評		価	後	
革・	′	成	拉	7	充			2		⑤		7			成	扣	<u> </u>	充								
改		果の	瑪	! 状維	持			3		6	レ	9			果の	玛	見状維	掛						レ		
善の	ර †	方	縮	š	小	ļ		4		8		10			方	新	音	小								
方	方	向 性		· · 廃		1		~							向性		「 ト廃									
向性	向		PI	- 156	_	皆	減	縮	小	頭州	維持	拡	_		_		- 136		皆	減	縮	; /\	Ð	見状維持	拡	大
H	性		_			1	= 7	· ト	投	入の	方	向	性		_	_				= 2	スー	- 投	入	の方	向 性	
A	改	障害				位置	づけられ	れた事	業でも	59、¥	状を	維持	,つつ	適同	漕ー	者総合 実施し	支援	後法に位 いく	立置つ	けら	れた	事業でで	あり、	現状を終	推持して	つつ適
C	革	و ۱۳۰۰	大心し	, C 6	•									["	-1~	大心し	- (***								
I	· 改																									
0 7	善善																									
	策																									
最終	*評	価年	月日	ग	成28	年5月	20日	最終	冬 評	価 責	任	者				地域	福祉	推進課 _:	Ę				竹	内	武	t
				•			-												-				- "			

事系	務事業	Ě名	補装具給付	費事業	ŧ								事業期間	平成		~		年度	整理番号	3010312
担	当 部	署	健康福祉部			地域	福祉推進	課	福	祉支援	條係		作成担当	者名	上	H	拓	也	連絡先	317
計画	おり	ナる	プランに 位置づけ 事業名 (業の概 _で ()	補装	具給(障害では、) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	手帳ったり、	細 施 事務 (一部 適用は	策 策 事業 知的障害 手帳・聞	03 第 01 生 04 補 等者含む 管害内容	3節 涯にれ 装具約 い。を3 い。よ	障害者のたった 付費事 交付され	を保健福祉 と支援体制 事業 れている られている	の確立 あで、身体 る。一品目	会計:	コード 害を补助限別	00 南うた 転額を	l │款 cめ、 bび耐	03 必要な	項 01 E 用具を給 が定めら 生相談所	
			と 背 景うして)	身体	障害者	当が自立	した日	常生活を	き営む上	で補業	装具は:	欠くことが	ができない	0						
(P	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)										ために必要							
	的	(どん	意図				慣れた													
L A			・ 方 法 やって)	申請	きした	さ障害者	iに、身f	体上の随	書を補	育うた と	めに障	害者自立习	支援法に基	づき必	要な月	刊具 0)購入	費用を	給付する	•
			行政活動の	結果な	からつ	くりだ	すものは	何?	指	標 4	名 称	単位	算出方	法・計	算式	• 目标	票値設	定の	考え方など	最終目標値
N	評価指標	活動指標	補装具給付う	にあた	とり、	費用の	一部補助	を行申	請件数	Ţ		件	申請件 ふさわ		立生活	を促	進する	る目安	にするに	90
J	の		成果	•	効	果は	: 何	?	指:	標名	名 称	当人	1 質出方	注,計	質式	. 8 ±	要値 記	完かっ	きっちかり	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	作成	成果指標	障害者が自								ㅁ イ까	件		3 .					を送るこ	90
		惊																		

	J	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	leil.		(a)	円	9, 328, 231	10, 651, 685	9, 589, 083	7, 717, 293	9, 360, 000
	財	国庫支出	金	円	4, 664, 115	5, 325, 842	4, 672, 000	4, 590, 000	4, 680, 000
実	源	県 支 出	金	円	2, 332, 057	2, 662, 921	2, 422, 629	1, 929, 258	2, 340, 000
	内	地方	債	円					
			源	円					
	訳	一 般 財	源	円	2, 332, 059	2, 662, 922	2, 494, 454	1, 198, 035	2, 340, 000
施	職	正規職	員	人	0. 23	0. 23	0. 23	0. 23	0. 23
	員	嘱託職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07
状	数	合	計	人	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
7/		対象 (者)	数		52	80	81	90	90
			(b)		80	104	95	100	100
			(b)	円	116, 603	102, 420	100, 938	77, 173	112, 215
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	166.00	190.00	172. 00	139. 00	203. 00
			目標	件	90	90	85	90	90
		申請件数	実績		80	106	95	91	
	活		達成率	%	88. 89	117. 78	111. 76	101. 11	-
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	-	_	_	_	-
	JAK		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_		_	_
0	成	AA 1.1 (d. 16).	目標	件	90	90	85	90	90
		給付件数	実績		80	106	95	91	90
	果指		達成率	%	88. 89	117. 78	111. 76	101. 11	100.00
)	抽	_	目標 実績	_					
	標		達成率	%	_	_	-	_	_
			建八千	70					
	備								
	考								
	ָר								



事系	多事業	ξ名	障害福祉サー	-Ľ	ス給付	事業								事業期間	平成	19	~		年度	整理	E番号	0301031
担	当 部	署	健康福祉部			地均	福祉推	推課		福祉	止支援係	Ŕ		作成担当	者名	上	Ħ	拓	也	連	絡先	317
							政	策		1 第	章を	3互いに	三支えあり	ハ、その	人らし	く暮	らせる	まち゛	づくり			
	市	民	プランに	有	政治	6 体 3	施	策		3 第:			保健福祉 (
	おり	ナる	位置づけ	175	Щ.	K 14 7	細	施策					:自立生	舌の支援								
-1								務事業	. 0	1 介語	雙給付	業事										
計	予	算	事業名			サービ									会計:					項 0		02 事業 (
画			· 業の概要 ph かりゃすく)											サービス 行ない、								であ。6市町 で払う。
			と 背 景うして)	ピラ	は必	要であ	る 。									者の	在宅生	E活を	支援す	るた	め、 国	害福祉サ
	目	対	受益者											及びその								
P		象	対象 (直接働きかける)											及びその								
	的	(どん	意図											負担の軽								
L A			・ 方 法 やって)										ビスを提 使用する。		瞎児者	育の自	立生活	舌を支	援する	。諏	訪情報	ゼンター
			行政活動の約	結果	からつ	くりた	すもの	つは何	?	指 核	票 名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定の	考え方	など	最終目標
N	評	活動	障害福祉サー	-Ľ	ス支糸	決定者	数		₩.	ーピス	决定者	数	人	障害福ス別決				給決	定者数	(サ-	-Ľ	600
	価指	指標	計画相談支持	爰支	給決定	者数			計	画相談	决定者	数 数	人	計画相	談支援	の支	哈決定	者数				300
	標の																					
	作	成	成果	•	効	果(ま 何	?		指 核	票 名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定の	考え方	など	最終目標的
	成	果指	障害福祉サー	-Ľ	ス給付	件数			サ	ーピス	恰付件	数 数	件	障害福	祉サー	ピス(の年間	給付付	牛数	•	•	5, 000
		T##	計画相談支持	爰給	付件数	t			計	画相談	恰付件	数 数	件	計画相	談支援	の年	間給付	件数				700

	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
		(a)	円	350, 664, 408	502, 528, 801	523, 142, 740	575, 841, 741	589, 164, 000
Ę	財 国 庫 支 出	金	円	172, 348, 655	254, 264, 400	265, 143, 383	289, 834, 000	294, 582, 000
	_盾 │ 県 支 出	金	円	86, 174, 327	125, 632, 193	128, 411, 652	143, 647, 366	147, 291, 000
	_	債	円					
	一ての他特定期	源	円					
	訳 一般 財	源	円	92, 141, 426	122, 632, 208	129, 587, 705	142, 360, 375	147, 291, 000
施	職 正規職	員	人	0. 37	0. 37	0. 46	0. 46	0. 46
	ᆿ│ 嘱 託 職	員	人					
	こここ 日	員	人	0. 12	0. 12	0. 15	0. 15	0. 15
状	数 合	計	人	0. 49	0. 49	0. 61	0. 61	0. 61
1/	対象(者)	数		291	288	290	290	300
		(b)		2, 616	3, 148	3, 200	3, 200	3, 500
	単位コスト(a)/	(b)	円	134, 046	159, 634	163, 482	179, 951	169, 402
況	受 益 者 負 担	額	円					
	市民一人当たりのコス	, -	円	6, 245. 00	8, 977. 00	9, 380. 00	10, 373. 00	10, 703. 00
		目標	Y			600	600	700
	サービス決定者数	実績				531	522	
	舌	達成率	%			88. 50	87. 00	_
1	6h	目標	人			300	300	200
1	計画相談決定者数	実績				192	267	
D #	票	達成率	%	_	_	64. 00	89. 00	_
1	示	目標		_	_			
		実績						
		達成率	%	_	_		_	
0		目標	件	_	_	5, 000	5, 000	5, 000
,	サービス給付件数	実績				4, 646	4, 934	5, 000
-	果	達成率	%			92. 92	98. 68	100.00
	日	目標	件			700	700	700
₹ T	票 計画相談給付件数	実績				502	595	700
		達成率	%	_	_	71.71	85. 00	100. 00
4	描							
7	考							

事務	事	業名	章害 福	祉サ	<u> Е</u>	ス給	寸事業									事	業期	間平	成	19	~		年度	整理番号	030	10310
担旨	当部	图署	建康福	基祉部	3		地	域福祉	推進課	Į .	福祉	支援係	Ŕ			作	成担	当者名	-	E F	E	拓	也	連絡先	3	817
-	期	宝繕:	84	- 空 🛆		目を存	支給決	定の#	∠ #–					綅	_								課	題		
四	第 1 期	ビス! 程に タ入フ	是供か 合わせ b・資	だれ せスム 料作!	てい 、一ズ 式する	るか確 に支 る。	認する合決定	。 審査 できる。	会の日	ビスセン	実際(の支給 :連携	決定 •調惠	!に3 をし れ	阿香	のない	よう、 を行	サーった。	施壮	火況訓	べに		ける。	、障害福祉 引き続き、		
·	第 2 期	ピス技	是供か 合わせ	され ナスム	ている	るか確 に支	支給決 認する 合決定・	。審査	とサー 会の日 さうデー	第1回 給付国 をもとに を行った	庫負担 報告し	金所	要額	調に	2	いて、正	I近σ	数字	に見	込額	を固		۲ ۰ و	íい数値で幸 引き続き、通		
期 ご	第 3 期	ビス技程に	是供か 合わ t	され	てい、一ズ	るか確に支続	支給決 認する 合決定・	。審査	会の日	に見込	まれる	サービ	ス費	_ග	设住	を行っ	た。ま	た、	を設交付	りなけ申請	作成した	するた に見 <mark>値</mark>	こめ、 [す。	申請に係る 改めて実制 引き続き、i	報告を	·変更
ط	4	ピス技程に	是供か 合わ t	くされ ナスム	てい、	るか確 に支	認する	。審查	会の日	実績報	告をま と。毎」	とめ、 月の給	国庫	負担	金書	交付に 査会事	係る	費用を適正に	実権を行	t報告 iう。 iう。	書を	作成しき、適	、過 i切な	不足のない 給付管理・	交付金 審査会	申請:事務
o o											事	F	Þ	Ē	F	価			-							
														今							2			5	7	レ
								貫が啊	יט כני	も。 仏ガ	ールいし	CMI	#170	後							3		(6	9	
														の				小			4		(8	10	
理														方	1.		廃.	止(1	••••••					·	
				•	-ズに	沿って	び要な	ゖーゖ	こスが禾	川用できる	ための	り予算	措	向		-			皆	減	統	i .	小	現状維持	拡	大
			_ •											性		/			=	ı 7		· 投	入	の方	向	性
		ia he A	- ete			N Ar d	_	1							_											
	-							性		右	상		性				у н	來		性		44	· 4	≥ 証 研	当	定
				1	2		•	-	定 1	1 2	3			判定	1	1	2	3			判定	ılac	» L		ניד	~
評	チ	エツ	ל					4						4							4			Α		
	3 と 大機体がされているが確認する。 書き名の日 開発されるサービス教の機体を行った。また、																									
価	*** ** ***																									
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 障害のある方のニーズに沿って必要なサービスが利用できるための予算措 置が必要と考える。 特別																									
	性																									
С																						_			_	
н			細		ħ	包	策		評	価		前				細		施		策						
	総	障害	福祉サ	ナー L	ころの	利用	者数・	支払金	額の増	大に伴	八、事	務量も	増加	O [5]	害て	福祉サ	<u>ٿ</u> ل	スの和	用者	数・	支払	金額0	り増え	に伴い、	事務量	も増加
E	合	事務	を行う	こめ、う必要	きがま	ある。	上一週	正少又	.和灰火	- " 天積1	生成と	盛 ノヽ	X X I	4	務	を行う	必要	がある	5 . 5 .	- I 〜 7 05	正化	又和力	KÆ -	天積唯認	二番 ノ	、又私
С	量亚																									
ĸ	рΤ																									
~	価	盐	午 日	∓ 2h	苯	. 7/	7 美 4	± Λ	宇梅	44 治	-	166	35.		ተ 4	= 库 細	1 体 4	车缸	(#F 1-	おゖ	+ 2 -	会 後	<u> </u>	· 向 性 l		
改		ניא						R 07					<i>IJ</i> FI	H	ıj -		1 1112 2		<u>ш</u> I~				07 73		14.	
革						e 	果	<u>(2)</u>	at .		į		1.	H	<u>_</u>		-	. 1		來		at .	i	Щ	:	L
改	後	果									<u>j</u>				果											
善	の	の方									i				の 方											
の方	方	向	斜		小			4		8		10			向	縮		小								
向	向	性		ト廃	止	(1)	- -h			Ib 6	<i>"</i> 1±	1.1.			性		廃.	止	Lle	- -b				== 15 6# I±	1.5	
性()	性					皆	減 コ :	縮 スト	小 投	- 現状糸 入 の		拡 可 性	大						皆	減 コ			小 : 入	現状維持 の 方	拡向性	大 ŧ
A	改						づけら	れた事	業であ	り適正に	こ実施	してし		N.	書	者総合	支援	法に位	対置に	けら	れた	事業で	きあり	適正に実	施して	
C	革	実績	こ基づ	ついた	通正	とな予	异要求	・交付	金甲語	を行って	cus	•			種	に基づ	いた	週正な	4予算	L要求	• 交	打金甲	申請る	行ってい	٠.	
İ	2h																									
0 Z	改善																									
	策																									
最終	を評	価年	月日	214	成28	3年5月	20 ⊟	最 絲	冬 評	価 責 倍	£ 者					地域福	补推	進課-	Ę.					竹 内	•	武
4X 11-	- н Г	,ш Т			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0/1		서즈 개	¬ н1	ا ۍو سب	_ 13					-0-9-1	- 12-76	IV						., 73	•	~

事務	事業	名	諏訪養護学	交学童	クラ	ブ事業									事	業期間	引 平成	13	~		年度	整理番	号	0301031	5
担当	当部	署	健康福祉部			地域	福祉	L推進認	#		福祉3	を 援係			作	成担当	省名	上	H	拓	也	連絡	先	317	
	市 . おけ	民 : ナる	プランに 位置づけ	有i	政 策	体系	Ę .			03		で 障	害者的社会	こ支え 呆健福 参加へ ラブ事	祉の の支	充実	人らし	く書)	5 せる	まち	づくり				
計	予	算	事 業 名	養護等						•								· = - 1		,,				02 事業	
画	事務	多事 まんしゅう	業 の 概要 かりゃすく)	もに、	児童 学童保	生徒()育を(の健 : 行っ	全育成 ている	を図 。	るため	り、長	野県調	取訪養	護学校	をのが	(課後	(夏休	み等の	長期化	木暇を	含む)	、児童	及び	を行うと 生 徒を預	か
			と 背 景	女性の り、*i	の社会 テ政に	参加の対する	の促: る期:	進、保 待が大	護者	の就労 。	支援	のため	り、養	護学材	とに通	[う児]	置及び:	生徒の	学童(呆育に	対する	5ニーズ :	が高	まってお	
(目	対	受益者												労等	により	/家庭	こいな	い者	及び道	切な色	保護に欠	ける	者。	
P		象	対象 (直接働きかける)					する小	•	•															
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	安心し	して過	ごせる	る場	を提供	する	•												り、子ど	もた	:ちに放課	後
L A			・ 方 法 やって)	の街袖 指導員	富祉会 員の配	へ委!	託し	契約を て午前 度の子 V月4,1	8時3	0分か たちか	ら午後 「多い	を5時3 ため、	0分ま 概ね	で実施 児童・	i。) 生徒	1人に	職員1.							、同じくこ i4, 100円	-
			行政活動の約	吉果か	らつ	くりだ	すも	のは何	可?	指	標	名	称	単	位	算出さ	法・詞	+算式	· 目	摽値訁	没定の:	考え方な	ごど	最終目標	値
N	評	動	学童クラブの	の年間	開設	∃数			4	年間開	設日	数		E		放課後 日数	、長其	休暇「	中に学	童ク	ラブを	開設した		25	0
	価	指標	学童クラブの	の年間	延べ	利用者	数		4	年間延	べ利	用者数	ţ	J	. !	学童ク	ラブを	利用	した廻	ベ人	数			3, 50	0
)	相標の		学童クラブの	の申込	者数					申込者	数			J	,	学童ク	ラブに	申し	込みを	した	人数			1	9
	作	成	成 果	•	効 :	果し	t ·	何 ?	>	指	標	名	称	単	位	算出さ	法・詩	计算式	· 目	摽値訁	没定の:	考え方な	ئے:	最終目標	値
	成	果指	一日当たりの	の平均	利用	首数			3	平均和	用者	数		ر ا		年間延	ベ利用	者数-	÷年間	開設	日数			1	4
		T482	申込者のうな	ちの入	所割					入所革	<u> </u>			9	6 .	入所者	i÷申辽	者数						10	0

	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	23, 736, 000	18, 770, 521	21, 903, 004	21, 750, 718	25, 517, 000
財	国庫支出	金	円				3, 581, 030	1, 455, 000
実 源	県 支 出	金	円	1, 472, 500	1, 737, 000	1, 516, 000	3, 581, 030	2, 134, 000
加水	地方	債	円					
内	その他特定財		円	3, 679, 114	3, 426, 878	4, 869, 219	5, 522, 911	7, 465, 000
訳	一 般 財	源	円	18, 584, 386	13, 606, 643	15, 517, 785	9, 065, 747	14, 463, 000
1 職	正規職	員	人	0. 14	0. 14	0. 14	0. 14	0. 14
員	嘱 託 職	員	人					
	臨 時 職	員	人	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05
数	合	計	人	0. 19	0. 19	0. 19	0. 19	0. 19
	対 象 (者)	数	人	15	19	19	21	21
	延利用(者)数	(b)	人	265	280	280	280	280
	単 位 コ ス ト (a)/	/ (b)	円	89, 570	67, 038	78, 225	77, 681	95, 228
	受益者負担	額	円	558, 300	586, 000			
	市民一人当たりのコス		円	423. 00	335. 00	393. 00	392. 00	481.00
		目標	В	250	250	250	250	250
	年間開設日数	実績		231	231	243	241	
活		達成率	%	92. 40	92. 40	97. 20	96. 40	_
動		目標	人	3, 495	3, 500	3, 500	3, 500	3, 500
動 指	年間延べ利用者数	実績		3, 495	3, 270	3, 455	3, 254	
一標		達成率	%	100. 00	93. 43	98. 71	92. 97	
行示		目標	人	15	19	19	20	20
	申込者数	実績		17	19	19	22	
		達成率	%	113. 33	100. 00	100.00	110.00	_
)		目標	人	13	19	19	20	20
成	平均利用者数	実績		13	19	19	22	20
果		達成率	%	100.00	100. 00	100. 00	110.00	100.00
指		目標	%	100	100	100	100	100
標	入所率	実績		100	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100. 00	100. 00	100.00	100. 00
備	臨時職員の人件費相当分	は、国	業費等	筝(a)に含まれている。	•			
老								

	多事3	業名 諏訪	養護福祉		重クラ			+ '# ##		100 to	1. 士福店				F 業期間			_	~			整理番号		10315 317
担		者性原	情化す	1 P		펜	支福祉 推	E進課		備化	止支援係			1	⊧成担 ≌	自有名	1	. #		拓 世	4	連絡先	•	317
	期			E	標							実	責								課	題		
四	第 1 期	学童クラ	ブの和	川用決り	定を適	Eに行	う。		利用法に決定		あたり、和 こ。	引用者:	負担	旦額等 -	も考慮し	適正	無し。	•						
半期	第 2 期	毎月の学る。	章利	用実績	が適正	なもの	か確認	はす			・利用者 額を確認		6.	事業多	委託先	から市	無し。	•						
<i>₹</i>	第 3 期	次年度 <i>0</i> 正に行う		計画を	立て、	交付金	の申請	を適			・利用者 額を確認		6.	事業多	委託先力	から市	無し。	•						
٤	第 4 期	次年度の 正に行う		計画を	立て、	交付金	の申請	を適			・利用者 額を確認		6.	事業引	委託先力	からす	無し。	•						
_o										事	- 中	1	Ŧ	価										
700		丰度開始										-	F.		5 3	充			2		5)	7	
	利用る。	者数が	曹大し	、委託	事業所	の受け	入れ可	能人	次の限す	界に近	付いてい	後	4		1状維排	············ 寺			3		6		9	
管	•ు												7										ļ <u>.</u>	
		4		 1	. —	- hh -	- 1> -+	- /-/				の	F	ī] ^{//} "]/			4		8)	10	
理		新年	- 度の	美施訂	†曲•	予算 罗	求事項	(以	車・収	(善策))	方	性	±	廃」	上	1							
												向					皆	減	縮	/]	、	見状維持	拡	大
												性		/			⊐	ス	۲	投	入	の方	向	性
		is in to the		•	/ Am ofe		1																	
	衬	評価年度		妥	当年度当		<u> </u>		有	ź	功 ·	性			効	率		性		総	合	評価	判	定
		の観点	1	女	3	4	判定	1	1 2	1 3	••	判別	5	1	2	3	1 4		定	事心		計 川川	Ţij	Æ
評		ェック		_		· ·	4	†		Ť	<u> </u>	4	J				† ·	_	4			Α		
											直しを								•	記 A		画どおり事	業を進	₤めるこ
価	課	諏訪養調	学校	学童ク	ラブの	利用リ	見重生物	きの重	度化や	、複雜	性な支援	を必要	٤٤	する場	面が多	くな	ってし	١ ٥.		号 B	: 事	が適当 業の進め方		
IIIII	环																			の c 定		業規模・内 見直しが必		€施主体
~																					: 事	業の統合、 が必要		₹止の検
С	題																			前年		外边级 合評価判定	Ē	Α
																				前年度	評価シ	/一ト整理番	号 03	010323
Н	413		細	挽	į	策	į	抨	価		前			紐		施		策		評		価	後	
E	椛	諏訪養記 課後安心	学校	学童ク 温ごせ	ラブは - る 場 可	、障害 ・を提供	野児を持 #⊥.でま	きつ親 さり	の就労 車業効	支援と	ニ障害児 Ŀがって	が放 i	取割 里谷	養護等	学校学	重クラ	ラブは. 5 場所:	、障害 を提供	野児で はし、7	を持つ! ており	親の原	一 沈労支援 & 集効果は」	≥障害	児が放 てい
	合	る。平原									_,, , (2年度								_,,,	
С	==																							
K	評																							
	価]												
		前年	度改	革	· 改	善第			状 況	3		済	前	年度	細施第	き 評	価にる		るる	}後 σ	方「	句性		
改革	今		細	挽	į	策		抨	価		前			細	l	施		策		評		価	後	
-	後	成	拡	充			2		⑤		7		成田		ኔ 3	Ť								
改善	の	果 ^{·····}	現状網	維持			3		6	レ	9		果の	Ŋ	見状維持	寺						レ		
の	方	方	縮	小			4		8		110		方	斜	宿 /	ļ١								
の方向		向 性	休 廃	<u>ı</u> Ł	1								向性		ҟ 廃 ⊥	 Ł								
向性	向	_		_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大					皆	減	縮	小	, Ŧ	見状維持	拡	大
H (性		_			コッス			人の		向性		_					"^ス					向作	
A	改	諏訪養調	学校	学童ク	ラブは	、障					障害児		取制	養護	学校学		ラブは、		見 7			式労支援 &		
C	革	麻彼女儿 る。平原	プレイ: 122年	過こせ 度より			共してる 旦の見证				Lがって	יי	#ઇ る。	マル し 平成2	2年度。	こぜく より、	利用:	で提り 者負担	旦のり	見直し	を行っ			
Ī	¬.				ごすた						である			生徒	が安全に	こ過じ	ごすた	めには	t 、≜	学校と	の連	外が不可ク		
0	改善										■祉会に さが行わ	れて	* 3	託し、								るこの街社 とした運営		
Z)	策	いる。										ľ	١,٧											
是		価年月日	3 3	工品の	年5月2	0 P	最 終	重亚 右	而 害 .	任 孝				抽雷	福祉推	准理.	Ę.			1	竹	中		武
ᄱᄊᆝ	~ pT	ᄴᅮᄭᅡ	- 1	. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	F-0/714		ムマ 小ぐ	HI I	FL	·	1			-6-46	(四 (二)庄	一 杯	-				17	. 73		

事系	事事	Ě名	障害者手当	給付	事業										事業期間	引 平成		~		年度	整理番号	03010313
担	当部	署	健康福祉部			地	域福	业推進	課		福祉支	援係			作成担当	省名	柏	木	さお	IJ	連絡先	316
			プランに 位置づけ	有	政:	策体	-	政施細施事務事		03	第1章第3節自己実障害者	環現と	害者保 社会参	健福祉加への		人らし	く 基	らせる	まち	づくり		
計	子	笛	事業名	陪事	2 老手	当給付	+車業		#未	VV	呼音 1	T=	#11 11 	*		수 計	<u> </u>	F 00	1 款	03	項 01 目	02 事業 06
画	事	<u>·</u> 务 事	業の概要 h かりゃすく)	障署					プを可	「能な関	艮り軽減	咸し、	日常の	の家庭内	及び社会						<u> </u>	02 7% 00
			と 背 景うして)	章	書の	生活の	基盤	となる	る所得	保障制	制度を	准立す	「るため	め、障害	基礎年金	金とあれ	りせて	創設	された	もので	である 。	
	目	対	受益者							• • • • •		•			介護を必							
P		象	対象(直接働きかける)	(B	宇児	.福祉手	=当及	び特別	引障害	者手輩	当の障	書程度	認定	生準 「昭	和60年1	2月28日	日社更	第16	号厚	· 生省社	会局長通知	」による)
	的	(どん	意図な状態にしたいか)												!族の負担							
L A			・ 方 法 やって)	(Z	を給月 章書児	2月	、5月 ≜当	、8月 14,14	、11. 10円/	月) ′月(<u>³</u>	平成27:	年2月	3月分)	14, 48	障害者号 アノ月 アノ月	(平成2	27年4	月~4	☑成28	年1月分	分)	
			行政活動の	結果	からつ	つくり:	だす:	ものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	: 目	摽値訍	定の	考え方など	最終目標値
N	評	活動指	該当者に手	当支	給					適正な	手当3	支給		人	現況調	査によ	り認	定した	:該当	昔の人	数	55
	価指標の	標																				
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	大算十	・目	標値設	定の	考え方など	最終目標値
	成	果指標	経済的、精	神的	負担の	の軽減				該当者	*への	手当支	給	人	認定さ	れた受	給者	の人養	τ			55
		尓																				

	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	lal.		(a)	円	10, 186, 940	10, 862, 340	12, 043, 920	13, 734, 620	16, 528, 000
	財	国庫支出	金	田	7, 640, 205	8, 146, 755	9, 032, 940	10, 300, 965	12, 395, 000
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
44	訳	一 般 財	源	円	2, 546, 735	2, 715, 585	3, 010, 980	3, 433, 655	4, 133, 000
施	職	正規職	員	人	0. 19	0. 19	0. 19	0. 25	0. 25
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人	0.06	0.06	0.06		
状		合	計	人	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25
	17		数		44	50	51	57	
			(b)		410	515	568	624	
	Ė	1 —	(b)	円	24, 846	21, 092	21, 204	22, 011	-
況		受益者負担	額	円	101.00	104.00	010.00	0.47.00	000 00
		市民一人当たりのコス		円	181.00	194. 00	216. 00	247. 00	332. 00
		ウェルエルナ 外	目標	人	45 44	45 50	50 51	55 57	55
\sim		適正な手当支給	実績達成率	%	97. 78	111, 11	102, 00	103, 64	_
	活			9/0	91.10	111.11	102.00	103. 04	
	動指	_	目標実績	_					
	指		達成率	%	_	_		_	_
D	標		目標	70	_	_	_	_	
		_	実績	_					
							_	_	_
			達成率	% ∣	_	_			
0			達成率日標	%					
0	成	該当者への手当支給	目標	人	45	45	50	55	55
0	果	該当者への手当支給							
0	果	該当者への手当支給	目標 実績 ^{達成率}	人	45 44	45 50	50 51	55 57	55 55
o	果指	該当者への手当支給	目標 実績 達成率 目標	人	45 44	45 50	50 51	55 57	55 55
0)	果	該当者への手当支給	目標 実績 ^{達成率}	人	45 44	45 50	50 51	55 57	55 55
0)	果指標	該当者への手当支給	目標 実績 達成率 目標 実績	人 % 一	45 44 97. 78	45 50 111. 11	50 51 102.00	55 57 103. 64	55 55 100. 00
0)	果指	該当者への手当支給	目標 実績 達成率 目標 実績	人 % 一	45 44 97. 78	45 50 111. 11	50 51 102.00	55 57 103. 64	55 55 100. 00

事務	事	業名	章害者	手当	給付	事業									事	業期	間平月	戓	•	~		年度	整理番号	引 03010313
担旨	当 剖	『署	建康福	祉部			地均	支福祉 :	推進課	ļ	福祉	支援係			作	成担	当者名	柏	木	t	お	IJ	連絡先	316
	期				E	標							実	績								課	題	
-						120								120								HPIN	~	
四	第 1 期	制度が	問知と	:4半其	明ごとの	の手当	支給を	適正(こ行						名・児21 として3		た。		続き、 必要か			と4半	期ごとのま	支給を適正に
半	第 2 期	制度が	問知と	:4半其	明ごとの	の手当	支給を	適正(こ行						5名・児: として3				続き、 必要か			と4半	期ごとのま	支給を適正に
期ご	第 3 期	制度が	問知と	:4半其	明ごとの	の手当	支給を	適正(二行						35名・児 として3				続き、 必要か			と4半	期ごとのう	を給を適正に
٤	第 4 期	制度が	問知と	:4半期	明ごとの	の手当	支給を	適正(こ行	3,770,3	80円を 死亡に 時期と	決定し	、第4 表支払	期分	637名・ ↑として3 41名分Ⅰ 4期分と	を給し に関し	た。 では、		続き、 必要か			と4半	期ごとのう	友給を適正に
										141	事	中		評	価									
の	当年	年度開	始後	、約	6ヶ月	が経	過し、	新たり	こ生じ	た問題:	点や環境	竟の変	化一				充			2		(<u> </u>	7
	市単	年金	の見	直しに	伴い、	本制				うったこ			# -	<u>,</u>	果					į				
管	請カ	が増え	、受給	者が	増加し	た。							í		,,	状維	持			3		(う レ	9
													0		方 有 編		小			4		(3)	10
T##		亲	折年度	その 美	ミ施計	画・	予算要	求事」	頁(改	(革・改	善策)		7			廃	止(D						
理	事業	性継続	に向い	ナて予	算要:	求して	いく。						1	句				 皆	減	縮		ή\ ;	見状維持	拡大
																/								
													17:	生	_				ス	١	按	人	の方	向 性
	-	評価生	E度		714	年度		1																
	礼				- 妥	当		<u> </u>		有	効		性			効	率		性		総	合	評(五 判 定
		五の街		1 1	2	3	4	エー 判定	2 1	1 2	3	4		定	1	2	T 3	4		定	小心		pT I	
評		エツ!		'				4	- 		"			4			_		_	4			Α	
価	課	<u> </u>	+	9017	IN C	muu	0 7-3	K C W	7 . W	続して	****		C 0 ·	\ 2	, 3 C 10 · 00	•					記号の	と B:事 C:事	が適当 業の進め 業規模・	事業を進めるこ 方に改善が必要 内容・実施主体
<u> </u>	題																				72	D:事 討	見直しが 業の統合 が必要 合評価判	、休・廃止の樹
С																								番号 03010318
н			細		施		策		評	価		前			細		施		策		評	~ # 1 IIII	価	後
	総	法や								方公共	団体が		体と	法人		によ		祉事	717	・管理		地方		が実施主体と
E		なり	行われ	してじ						/4が国庫				なり	り行われ	てい								旦金でまかな
	合	われ	ている まょし	o l±.≡	- 4 超	서曲 z	- 44	企去数	±. 値 frr	11 713	スので	77	トを		れている ∓度上り		. 当額が	神ラ	43.4	△去書	tr ±. 1€	t net	ているの	で、コストを
С	評				ある			U - 1 3X	0-41/1	10 (0-	000 C	/	1 2		口する必			47.		H'11 X	X U-4	1 <i>1</i> 111 C	C 0 1 0 0	C, -X1'6
ĸ	пΤ																							
	価																							
)		前	年 度	き 改	革	• 改	善角	きの	実 施	状 況	実	施	済	前	年度系	田施兌	策評値	五に こ	おけ	る今	後(の方	向性 _	
改	今		細		施		策		評	価		前			細		施		策		評		価	後
革		成	拉	<u> </u>	充			2		5			レ	成	拉 拉		充							
改	後	果						į			j <u>.</u>			集										
善	の	のナ		1状維	.1守			3		6	j.	9		σ,	,	状維	行						ν	
O	方	方向	絎	à	小			4		8	1	10		方向			小							
方		性	仂	ト廃	止	1								性		:廃.	止							
向州	向				_	皆	減	縮	小	現状	维持	拡	大					皆	減	縮	,	J۱	現状維持	拡大
性(性							, wh		入の		可性					I		/火 コ ス				の方	1. "
A	改	法定					てい	۲.						法5	こ事務の	ため	継続実							
С	革	* H2	28 #	寺別障	害者	手当	26, 83	10円							128 特	別障	害者手	当	26, 83	0円				
T	-		ß	手害児	福祉	于当	14, 60	凹							Ĭ.	害児	福祉手	当	14, 60	凹鬥				
I	改																							
0 N	善善																							
	策																							
					B.c :													_						
最終	₹評	価年.	月日	平	成284	₹5月2	0日	最 終	: 評	価 責 化	壬 者				地域社	高祉推	進課	ŧ				-	竹 内	武

事系	务事第	Ě名	心身障害福	祉金	等給付	事業								事業期間	平成		~		年度	整理番号	03010314
担:	当 部	署	健康福祉部	3		地域社	畐祉推進	課		福祉支	援係		1	作成担当	者名	柏:	木	さお	IJ	連絡先	316
			プランに 位置づけ		政策	体系	施施	策	03	第1章	ī D	害者保	健福祉の		l bl	.く書	らせる	まちづ	くり		
	85 1	7 6	担直づけ				細施						加へのう			.					
計	로	笛	事業名	. A. E	. 陪审力	州会生	事務等		06	心身阵	古作	14年五	(市単年	千筮)精1	寸事業 今計	·	ادا 001	款	02 T	頁 01 目	02 事業 07
-	7	昇	尹 未 乜						多 に	日堂と	+注(D— 助 J	して市	単独の年				水人	00 2	A VI D	02 学未 07
画			: 業の概要 phかりゃすく)	Ę												~ HI /	•				
			と 背 景 うして)	市道	単年金を	支給す	ることで	で、重	度の阿	書を持	寺つノ	人の日常	常生活を	支援する	•						
(目	対	受益者	身間扶着	手当2	・2級 級の障	、療育 害を持つ	手帳 A . つ準重	、特別 度障害	児童技 児及で	大養 : びそ 0	F当1級 D家族。	の重度 特別障	書用及で 書者手当	『その 該当	家族。 者と同	, 身障 等の間	手帳3 津害のま	級、射 ある方	原育手帳B 1 及びその3	∖特別児童 ₹族。
P		象	対象 (直接働きかける))		no etc	10 to a 1	- 4k tl. 1		7 4			RL.	L 7							
	的	(どん	意図な状態にしたいか))									り一助に								
L			・ 方 法 やって)	1 2	前月申 直度度 重度障害	児 害児	受給資格 年額 4 8 年額 2 4	8, 0 4, 0	0 0 P	(4, (2,	0 0	0円/	/月)	1月、3	月)(こ市単	年金を	支給す	r a .		
			行政活動の)結果	からつ	くりだす	トものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出方法	法・言	+算式	・目標	票値設2	定の考	きえ方など	最終目標値
N		動	該当者に手	当支	給			i	直正な	手当支	を給		人	受給資料	各を認	定し	た該当	者の実	人数		200
	指標	指標																			
)	の作	成	成果	•	効:	果は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方法	法・言	†算式	・目標	票値設定	定の考	きえ方など	最終目標値
	成	果指標	経済的・精	神的	負担の	圣滅		i	直正な	手当支	給		人	手当を予	受けた	受給	者の実	人数			200
		1JT																			

	J	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	leile		(a)	円	19, 558, 000	20, 526, 000	21, 054, 000	6, 995, 700	7, 858, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円	19, 558, 000	20, 526, 000	21, 054, 000	6, 995, 700	7, 858, 000
施	職	正規職	員	人	0. 50	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人	0. 16	0. 16	0. 16	0. 16	0. 16
状		合	計	人	0. 66	0. 21	0. 21	0. 21	0. 21
- 100		対象 (者)	数						
			(b)	人	2, 400	2, 600	2, 600		
			(b)	円	8, 149	7, 895	8, 098	_	_
況		受益者負担	額	円					
	_	市民一人当たりのコス		円	348. 00	367. 00	377.00	126.00	154. 00
		14 4 11 AA	目標	人	2, 400	2, 600	2, 600	200	200
		適正な手当支給	実績		2, 389	2, 494	2, 544	181	
	活		達成率	%	99. 54	95. 92	97. 85	90. 50	-
	動		目標	_					
	動指	_	実績達成率	0/					
D	標			%	_	_	_	_	_
	1224		目標実績	_					
		_	達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	70	2, 400	2, 600	2, 600	200	200
U	成	適正な手当支給	実績	人	2, 389	2, 494	2, 544	181	200
	果	旭正な子当人和	達成率	%	99. 54	95. 92	97. 85	90, 50	100.00
	指		目標	/0	00.04	00. JZ	07.00	00.00	100.00
)	標	_	実績	_					
	ीरार		達成率	%	_	_	_	_	_
	1++-								
	備								
	考								

事務 担 ӭ			心身障 健康福			等給付		或福祉	推進認	ŧ	4	基祉支	署係				業期[成担]			自木	~	s #3	年度	_	里番号 絡先	03010	
	期					標					1				Ī								課	題			
四	第 1 期	制度	周知と	:名簿						問合た。	けせに	対して作	制度改			・内容	説明	を行っ	512	き続き 要が あ		問知。			支給を	適正に	行う
半	第 2 期	制度	周知と	:3期	ごとの	手当3	友給を道	直正に	行う。	準重	度障	書児13	手当18 4名・重 期分と	度四	害!	児0名)								ごとの きがある		:介護福	祉金
期ご	第 3 期		周知と			手当3	を給とが	↑護福	祉金σ	名·i 1,72	準重度 8,000	障害」 円を決	の手当 見131名 定し、算 分1,70	·重 第2期	女障分と	害児 0	名) (給し)	<i>t</i> =。		き続き 要があ		問知。	と3期	ごとの	支給を	適正に	行う
٤	第 4 期	制度	周知と	:3期	ごとの	手当3	友給を通	直正に	行う。	名-	準重度	障害!	の手当 見128名 定し、9	・重 第3期	女階分と	害児0	名)		引き る。		制度	問知。	と名簿	「管理 (こ努め	る必要	があ
o o	111.4		10 11.22	<i>A</i> 1		- 18A-	\B.I	±~ 1		, ,,	T L	事	中	*	_	価					_						
									に生じ · 対象 が					今	成果	拡		充			2			⑤		7	
管	い合	わt	があり	人、制	度の主	E旨·内	容説	明を行	う必要	があっ	た。			後	の	現	状維:	持			3			6	レ	9	
														の	方向	縮	4	小			4			8		10	
理	*		新年度					求事	項(改	文革・	改善	策)		方	性		廃.	止	1								
	7 7	卡斯 企 称	CI — [P] I	<i>)</i> C 7	7异安	水して	U14.							向					皆	洞	統統	i	小	現状	維持	拡	大
														性		/			=	3 7	۲ ۱	· 招	3 入	、の	方	向作	生
	Ī	評価	年度		7	4年度																					
		見り			妥	当		性		有		効	性			3	効	率		性		¥	総合	合 評	4 価	判	定
評		画の額 ェッ		1	2	3	4	判:		1	2	3	4	判定 4	4	1	2	3	4] :	判定 4	-			Α		
価 (C	課題		必要な				1 3000	3714	た方等	,,,	о л [Д] о	H-12				7-61					91 C		B: C: D:	と 事事の事計 総 の	当 進模・が合 明 価判	休・廃」	が必要 施主体 止の検 C
н																細		施		策		評		コンート		後	10320
E	合	本り族の	度 4 月 度移行	目かり テに作	らの見 半う混 を支援	直し・ 乱はな	縮小さかった	となっ と。	た。間度の間	知期 律害を	間を取 持つ当	なった 当事者	ことにやその	よ 家 す が	年制の	者の見 度 4 月 度移行	から に伴 活を	による の 見 II う混き	ししい	を を を を な かっ な た る た る た る た る た る た る た る た る た る た	小の いとな った。	方向 った 重度	性とな 。周9 の障	なり、 印期間 書を持	周知其 を取っ つ当事	間を置 たこと 者やそ 業を報	:によ :の家
K _	価									- 16							- 1, 4										
7		前	年度					₹ の	実施			実		Ī	リ 年	E 度 細	田施多		曲に							//	
改革	今		細		施	}	策	<u></u>	評	•	価	Ħ			,-	細		施		策		評	•	価		後	
•	後	成果			充			2		⑤		7			成 果	拡		充									
改善	の	の	玛	見状糸	掛			3		6	レ	9			の	現	状維持	诗						L	,		
の	方	方向	新	宿	小			4		8		10			方 向	縮	,	小									
方向	向	性	17	木 廃	止	1									性	休	廃」	止									
性	性					皆	減	縮	小 +元		状維持			7			_		皆	減			小元。	現状		拡射	大
A	改	見直	L L I	と事業	を継	続し、	おおり スタース 一該当れ	旨が弓	き続き	制度	D 利用で Tital	ききる。	よう周	知見	直	しした	事業	を継続	売し、	該当	者が	引き	続き制	制度利	用でき	向性 るよう	周知
C	革		ほする会とな				·音石	±∃V.	利度に	・シい	しも明	当仏へ)	司知で			低する 会とな					于当	の制	及して	ノいて	も幅ル	く周知	u ċ 71
i	· 改																										
0 N	善善																										
Ü	策													\perp													
最終	冬評	価年	月日	2]	7成28:	年5月2	20日	最系	佟 評	価 青	任	者				地域福	基祉推	進課	Ę.					竹	内	ቯ	
~ 4°	- HI	, 1			.,,,0	/15		¬^ '		, ,		_				- 		WT					1	••	r 2	-	•

事務	事業	名	ひまわりの	里:	ひまれ	つり作	業所	移転業	「築事	業					事業期間	引 平原	戈 25	~		年度	整整	理番号	03010	391
担当	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	課		福祉支	援係			作成担当	当者名	斎	藤	明	美	通	基絡先	315	5
			プランに 位置づけ			策体	_	政 施 細 旅 事務	事業	03 03 03	第3節自己実	現と	害者保	□支えあ 健福祉 ※加への 銭	の充実	人ら	レく事	らせる	らまち	づくり				
計	予	算	事 業 名	ひま	きわり	作業所	听等 和	転新	築事業	費						会計	 	ا ^د 00	1 宗	大 <mark>03</mark>	項	01 目	02 事業	10
画	事系	多事	· 業 の 概 要 っかりゃすく)	築す	は活動 ├る。	支援-	センタ	z — 「	ひまれ	90 <u>5</u>	■」及7	ሪ ና Γτ	ひまわり	り作業所	i) (:0	いて、	国・県	補助	金や波	ま人の[金をあ	わせ移	転新
			と 背 景 う し て)										るが、ī 風があ ^る	市内だけ る。	でなく	諏訪地	域の他	市町	村から	らも大	勢の道	断者を	抱えて	お
^	目	対	受益者						支援者 作業列	f の通月	行者													
Р		象	対象 (直接働きかける)									8 I =	- 12	-+71		,								
	的	(どん	意図な状態にしたいか)											できるよ										
L A			・ 方 法 やって)											≣主体と 交付する										県
			行政活動の	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出ス	法・	計算式	• 目	標値	設定の	考え	方など	最終目	標値
Ν		活動指	施設建設							施設数	t			箇所										1
	指標	標																						
	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出ス	法・	計算式	・目	標値割	設定の	考え	方など	最終目	標値
	成	果指	施設利用者	が安	むして	通所	でき	3		通所者	数			人数	2施計	定員								45
		標																						

財 源 内				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
実源	1 +	(a)	円				48, 644, 550	28, 862, 000
実源	国庫支出	金	円					
////	丨 県 支 出	金	円					
	地 方	債	円					
	その他特定財	源	円					
訳	一 般 財	源	円				48, 644, 550	28, 862, 000
施職	正 規 職	員	人		0. 04	0. 04	0. 05	
員	嘱 託 職	員	人					
	臨 時 職	員	人					
状数	合	計	人		0. 04	0. 04	0. 05	
	対 象 (者)	数						
		(b)						
		(b)	円	_	_	-	_	_
		額	円					
	市民一人当たりのコス		円	_	_	_	869. 00	516.00
		目標	箇所				1	
	施設数	実績						
1 活		達成率	%		_	_	_	
動		目標						
動 指	_	実績						
D 標		達成率	%	_	_	_	_	
行示		目標	_					
	-	実績						
		達成率	%	_	_	_	_	
0 _,		目標 実績	人数				45	
成	通所者数							
果指		達成率	%	_	_	_	_	
し指		目標						
標	_	実績						
		達成率	%	_	_	_	_	
備								
考								

事務	事	業名	ひまれ	っりの	里・	ひま	りり作詞	*所移	転新筆	事業						事	業期	間平	成	25	~		年月	度 整	理番号	030	10391
担	当 剖	『署	健康礼	冨祉部	3		地址	す福祉	推進認	ŧ	福	业支援	係			作	成担	当者名	3	斎	藤	明	美	ž	連絡先	3	15
	期					目標	Ē						実	績	Į								課	題			
四	第 1 期	地売		步準備			ること(地 で、情			申請さいる。対	22 土地 頃の85 て、法ノ で、法ノ	%で》 人を交 図・実	央定。2 え理事 則につ	7.6.1 者協 いて	18 編 了	新たた。 27.6 承。	負担用	旦増に 地交	·用 ·所		格交移転	歩とう 登記	で買す	7.7.9予 契約 。	定)		
	第 2 期	9月3	を目	安に:	土地	売買契	約を完	了させ	. 6.	正式 頭では 提出。	· 近隣部 内示。8 今意。8 , 8.31割	3.18土 3.27公 设計·管	地売買拡法に を理入	(額) よる 札。	± •9.	いて地 地買取 9税務署	権者(申止	当とロ は書の の事前	·所 ·確	買有認地	移転	可	旦金等	詳補正	対応(等	
期ご	第 3 期	10月 る。	中旬	を目安	でに所	i有権 和	多転登記	記を完	了す	分)。 分)。 払。1 算護	.27王月 11.2土 11.16開 1.30事 会対応	地寄附 養会全 前協調	付受納 員協議 養事業	。11. 会。 完了	12 11 届	移転登 .20土± 提出。	記(有 也代s 12.11	寄附 金支 補正予	·法 ·事		の負の繰り	担金:	芯(県		払い) くとの協	議)	
٤	第 4 期	補助	Pの事 の繰 する。	越し対	応に	ついて	ことを顕	8まえ、 も人と†	国県 協議・	応県 期限	.25煙配 協議。2 延長承 者負担	28.1.29 認申記	負担的 青(28.6	全概: 30-	算技	ム。28.2 E)。28	2.1事 .2.23	業完了 下水道	[·土 [·近	石敷質 地質者 体工	貸借農地	契約	内容相 交渉	贪討 (価格、纬	条件等))
_O											_	F	中	ř	_	価											
										た問題				今	成果			充			2)		⑤		7	レ
管	難し	い見	込み。	今後	の予	算措置	につい	て改め	って確	忍・手続	き等か	必要	。ま	後	かの		.状維	掛			3)		6		9	
_							完成・札 ましてい		い日程	内に厳し	い状況	兄となっ	って	の	方			小			4)		8		10	
10FR			新年月	度の多	と 施言	計画·	予算要	要求事		女革・さ		()		方	白性		廃	止	1								
理	事業	養の	繰りま	速しに	伴う	予算措	置、施	投解体	費等力	が必要と	:なる。			向					皆		注 新	<u></u>	小	現場	大維持	拡	
														性			/			"]		-	· 殳 ブ				性
														-	_												
		評価:				当年度																					
	礼	見 点 画の観		1 1	妥 2	当 3	i 4	性制物	5	有 1		効 3	性 4 :	判定	,	1 1	効 2		<u> </u>	性	判定	i	総	合	評価	判	定
評		エツ	_	'		3	4	+1)/ 4		1 2	. 3)	4 -	刊化 4	-	'		3	4		刊 <u>化</u> 4				Α		
し (0	課題	事の	度を原年度に	悠 えで 内終了	を目	表元 了。 目指す。	ረ ፈ ຈ ີ	1 : 6 0 .	口怪	管理、多	《利 内》	谷の候	(时等)	ישנייני	安(୯୫୭	。 ま	7 = 、 7	设计	· 190 194	 	_	B: C: D:	と事事の事討総	の進め方 規模・内 直しが必 の統合、	で改善的では、	が必要施主体 企 企 企 企 の検
н			細	1	ħ	包	策		評	征	F .	前				細		施		策		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		-	<u> </u>	後	010001
ECK	総合評価		者施! であ	役の書	を備に	茅野	市障害		福祉計	一画の中	でも	大きな	課題の	ま ー	·つ	者施討		を備は	茅野市	う障害	者保	健福	祉計	画の「	中でも ; も事業3	大きな	
)	ш	前	年月	度 改	革	• 改	(善)	東の	実 施	状步	₹ 5	実 施	清	À	前右	年度系	田施	策 評	価に	おり	ナる	今 後	きの フ	方向	性		
改	今		細	1	ř		策		評	征	i	前				細	_	施		策		ř	Ŧ	ſi	5	後	
革	っ後	成	ħ	広	充			2		⑤		7			成	拉		充									
改		果の	Į	見状維	持			3		6	レ	9			果の	瑪	 !状維	持						ļ	••••••		
善の	の -	方	糸	宿	小			4		8		10		••••	方	縮	 }	小									
方	方 ·	白性		" 木 廃		1						9			向性		· :廃			レ							
向	向	,_		小儿	_	皆	減	縮	小	担什	·維持	拡	大		_		· 17E		皆	減	新	房	小	現	犬維持	拡	大
性(性		_			1	الار ت		-	入の		向 1			_			ļ								向 性	
A	改									しなが															ら日程		
C	革	和比へ	C.th.	` 。	· /= .	73 (f)	建物り	収工せ	日の五	F度内に	- 尹 未 1	で元」	୬ ବିତ	To the second	1/0	CIP (а	F/E、 !	以行 奖	モ170 V.	加工	で言	ov干.	及四	こ事業を	≥元 ∫	y 3 0.
I	· 改																										
0 2	英善																										
Z)	策																										
最終	冬証	価年	日日	317	成の	3年5月	20 F	最 絲	久 証	価 責	任 老	á				- 地域2	富計	惟進課	Ę.					竹	内	•	武
以下	< pT	шТ	,, H	_	130,20	-T0/7	-v H	4시 기	, at	声 只	<u>т</u> .	'				~D~9%]		正是环	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>				1	17	77		~

事務	事業	名	地域活動支	漫セ	ンター	一事美	ŧ											事	*期間	間 :	平成			~		年	度	整理	里番-	号	0301	0316
担旨	台部	署	健康福祉部			į	也域社	富祉	推進 記	#		福祉	L支援	E 係				作原	找担≝	当者	名	柏	木		<u> </u>	5 !	J	連	絡先	;	31	6
	市 . おけ	民 : ナる	プランに 位置づけ	有	政:	策体	系				01 03 03 03	第3自己	節	障	害者· 社会·	保健参加	えあ 福祉 への	の方	実	人	らし	< ≇	Б	せる	まち	づく	Ŋ					
計	予	算	事 業 名	地均	活動	支援	セン	ター	事業	費										1	会計	_	ド	001	款	03	IJ	頁 ()1 E	■ 0	3 事	業 01
画	事務	第事 にゅ	·業の概要 っかりゃすく)	助金		付す																										担分
-			と 背 景うして)	供及	び社	会と	の交	流の	促進	を図		ともに	I=, I	日常	生活	に連	多要を	(便:	宜の	供与	を通	切	かつ	効果								の提
	目	対	受益者		活動						る団の	太 (:	生野	市計	·会福	补格	2 議 4	≥. I	IPO:	: J.	やま	78.	4)	及 7	۴.	岡谷	市 •	盾	H .			
P		象	対象 (直接働きかける)																,								•					
	的	(どん	意図								安定																					
L A			・ 方 法 やって)	ΓN	PO法。	人やる	きびこ	会	に対	対し道	ある ■営補 支払・	助金																				
			行政活動の	結果:	からつ	٥ < ١	りだす	tŧ	のは何	可?	指	標	₹ 1	名	称		単位	正 算	出力	5法	· 言	算	ţ.	目標	値	ひ定(の考	え	方な。	ど 最	終日	標値
N	評	活動指	サービス利	用希	望者で	を把扱	量する	5		;	登録。	人数					人	抗	設こ	ځ:	の登	録人	数	(2)	拖設	合計)					70
		哲標.																														
)	の 作	成	成果	٠	効	果	は	何	?	,	指	標	E 1	名	称		単位	ī. 算	出力	5法	• 15	算	弌·	目標	値記	役定(の考	ええ	方な。	ど 最	長終 目	標値
		果指標	通所者の受	け入	h						平均道	画所有	首数				人	抗	設こ	ځ:	の月	平均	通i	听者	数(2施	設台	指)			15
		٦ .																														

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	-	714 74 7	(a)	H	6, 778, 000	11, 547, 490	11, 869, 919	11, 691, 742	13, 018, 000
	財	国庫支出	金	円		1, 499, 000	744, 956	1, 094, 000	1, 868, 000
実	源	県 支 出	金	円		749, 000	374, 121	547, 000	934, 000
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円		2, 171, 262	2, 707, 595	3, 038, 619	4, 128, 000
44	訳	一 般 財	源	円	6, 778, 000	7, 128, 228	8, 043, 247	7, 012, 123	6, 088, 000
施	職	正規職	員	人	0. 03	0. 80	0. 08	0. 08	0. 08
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 01				
状	数	合	計	人	0. 04	0. 80	0. 08	0. 08	0. 08
1/4	Ź		数	人	2	49	62	60	
			(b)	人	2	2, 338	2, 727	2, 874	
	È		(b)	円	3, 389, 000	4, 939	4, 353	4, 068	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	121. 00	206. 00	213. 00	211. 00	246. 00
			目標	거	10	70	70	70	70
		登録人数	実績		2	68	87	85	
	活		達成率	%	20.00	97. 14	124. 29	121. 43	_
	動		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	-	_	_
	尓		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	거	2	30	15	15	15
	成	平均通所者数	実績		2	17	11	11	15
	果		達成率	%	100.00	56. 33	73. 33	73. 33	100.00
	果指		目標						
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	-	_	_
	備								
	考								

		業名 地域												事業期間			~		年度			030	
担	当 部	3 署 健康	福祉部	ß		地均	支福祉 :	推進課	ŧ	福祉	止支援係			作成担当	4者名	柏:	<u> </u>	さお	IJ	連絲	各先		316
	期			E	標							実績	Ē						課	題			
				-	- iボ				71-	4-U-0-5			•	r do 8#1-	#				H/N	1			
	第	昨年度の	通能	主緒を	確認し	由籍	に基づ	去補			₹、ピアを 交付を行					通耐力	の宝舗	能抑爆。	レ#-	ピスセ	ハ /4-	- 上の	情報共
四]	助金交付			NEE DIG CO.	C -1- pro		C 110			と当市で					有が必							IN TAZE
	期										実態等排												
	A-A-																						
半	第 2	通所者σ	実態	色握と	サービ	スセン	ターとの	の情報	通所	判定会	護に出席	し、サー	ービスセ	ンターへ	の情	引き続	き通所	「者の」	と態把	握とサ	الــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	スセン	ターと
	期	共有に努	める。						報交	換に努	めた。					の情報	共有点	が必要	である				
44a	7切																						
期	第															立在由	: I = i = I -	+7 3	6 EF ±18	増にる	-	た温度を	*華の
	3	通所者の			サービ	スセン	ターとの	の情報				し、サー	ービスセ	ンターへ	の情	来年度あり方	心必要	ノし、近	かまえ	大を重	単士	たほど 佐上村	当員の
=	期	共有に努	める。						報交	換に努	めた。					る必要			.,,,,	,,, <u>e</u> 4	**		~ /
_																							
	第	来年度に	向けて	て、通用	听規模(こ合わ	せた運	営費	VE ==	win 스스	entra di ch		id - L		~ #		. #11 ~ 1	Mr Mit LL !		h din 🛧 :	* -	Add date:	36 //. 40
٤	4	のあり方								判定法	議に出席 めた	し、サー	ーヒスセ	シダーへ	·WIE			登備で					強16部
	期	討する。							#X.X	, JK (~ 3)	·//_0)) 0) H	1 100 100	10 47 07 1	12014	1 SE SE	(0)-0	•	
										3	F #		平位	FF.									
Ø	N/ 4	左 庄 即 4/2	14. LL	16 / 1	□ 1 840	·п .	±r + 1	- / L 1°	+- BB B			и.											
		年度開始												拡 3	仓		2	2)	(5		7	
	め月	に岡谷市	の地位	かない	が軽視し	又援ビ	坐手来 金につ	ガを見	引始し、 ナ年 度	東に目	沈俣を開 古 パケ	i わ 後	果	現状維持	÷		(3	3)	(6	را را	9	
管	れる	たため、8 予定。	- 7 1 -54			· <u> </u>	<u></u> ,	. v - C10	∽ 干皮	・ハール	-UN-11	反	♀								-		
	L											の	ク 向	縮	J\		4	1)	(8		10	
700												方		休廃」	E C	D							
理	通列	fの実態や	5活動	内容に	合わせ	予算	要求して	てゆく。	,				'	FT 20 =									
												向				皆	減	縮	小	現状絲	推持	拡	大
												性				⊐	ス	ト 投	、入	の	方	向	性
	Ī	評価年度		2	4年度																		
	衬	見点		妥	当		性		有	. 3	効	性		効	率	ı İ	ŧ	彩	జ 수	? 評	価	判	定
	証子	面の観点	1 1	2	3	4	判定	? .	1 1	2 3	4	判定	? 1	2	3	4	判定						
評		ェック	•		-	·	137		`		<u> </u>	137	<u> </u>	 -			117~	-			Α		
	_		+++	7		0.47	左击	- A - St.	43.44.0		354 DD 358.46	+ o 4 1		- 45 11 - 1		C = 24 AM 4 A	7	_	Λ · Ξ	上面じも	シリ重:	要える	≦めるこ
		1	മാദശ	. O I I	よ正貝!	いる、	平度サ	つの豆	飲油り						銀叉 美刀 相		华耒	± I I	м. п	1 凹 C 6	3 ツ 井 :	木でル	エのん
		の准路出	e E E D I	目版め	に上る	、利田3	を相や	車業	相増	一前(才	イリハココョ	の検討	:なって が必要:	· わり、i である				āC	لح	上が適当	当		
価	鲤	の進路が	況の! りの!	見極め 里」は	による 定員20	利用 ⁻)名、4	宇度中		き規模(に即した	と運営費	の検討	が必要:	である。				号	B : 事	事業の進	進め方		が必要
価	課	の進路が「ひまれ	、況の∫ りの 実等が	見極め 里」は が課題	による 定員20 となっ	利用 ³)名、 ⁴ ている	₹度中の る。	の登録	♥規模(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に即し <i>t</i> 名、実和	⇒運営費 利用者57	の検討 名とな	が必要 [・] ってお	である。 り、運営	体制	の整備・	や活動	号の	B:導C:導	事業の途 事業規模	進め方 莫・内:	容・実	きが必要 ミ施主体
価(課	の進路が 「ひまれ 内容の弁 財源と		見極め 里」は が課題 :、他5	による 定員20 古町村	利用 ³ (名、 ⁴ (ている (から(F度中の る。 の <u>通</u> 所:	の登録 者分負	を規模に は は は は 担金 は も も も も も も も も も も も も も も も も も も	に即し <i>f</i> 名、実和 と、機能	と運営費 利用者57 能強化分	の検討 名とな として	が必要 [・] ってお の国・!	である。 り、運営	体制	の整備・	や活動	号の定	B:導 C:導	事業の近 事業規模 り見直し	進め方 莫・内 ンが必	容・実 要	
価(課題	の進路が「ひまれ		見極め 里」は が課題 :、他5	による 定員20 古町村	利用 ³ (名、 ⁴ (ている (から(F度中の る。 の <u>通</u> 所:	の登録 者分負	を規模に は は は は 担金 は も も も も も も も も も も も も も も も も も も	に即し <i>f</i> 名、実和 と、機能	と運営費 利用者57 能強化分	の検討 名とな として	が必要 [・] ってお の国・!	である。 り、運営	体制	の整備・	や活動	記号の定義	B:明明 C:明明 D:明明	事業の過 事業規模 り見直し 事業の総 対が必要	進め方 莫・内 之が必 充合、	容・実要体・廃	能主体
個 (C		の進路が 「ひまれ 内容の弁 財源と		見極め 里」は が課題 :、他5	による 定員20 古町村	利用 ³ (名、 ⁴ (ている (から(F度中の る。 の <u>通</u> 所:	の登録 者分負	を規模に は は は は 担金 は も も も も も も も も も も も も も も も も も も	に即し <i>f</i> 名、実和 と、機能	と運営費 利用者57 能強化分	の検討 名とな として	が必要 [・] ってお の国・!	である。 り、運営	体制	の整備・	や活動	記号の定義 前	B:導C:の D:電	事業の近 事業規模 り見の終 事業が必要 対合評価	進め方 め内 が合、 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	容・実体・廃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E施主体 E止の検 A
^		の進路が 「ひまれ 内容の充 財源と 国・県の	:況の! :りの! :実等が しては :補助が	見極めは 里」課題 は、一般と	に 定 20 に 上 20 に 上 員 20 に 市 な る 横	利用 : (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	F度中の る。 の <u>通</u> 所:	の登録 者分負	を規模に は は は は 担金 は も も も も も も も も も も も も も も も も も も	に即し <i>f</i> 名、実和 と、機能	と運営費 利用者57 能強化分	の検討 名とな として	が必要 [・] ってお の国・!	である。 り、運営	体制(の整備・	や活動 るが、	記号の定義 前	B:導C:の D:電	事業の近 事業規模 り見の終 事業が必要 対合評価	進め方 め内 が合、 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	容要休・房	能主体
^	題	の進路が「ひまれ内容の対象を関する。」	説の! りの! 実等が し補助が	見極は題は、象 から から から から から から から から から から から から から	に定と市な	利用・おおいられば	年度中(る。 の通所: と部分	の登録 者分負 につい	建規模! 録者823 負担金。	に即した名、実利と、機能 と、機能 体制強化	☆運営費 利用者57 能強化分 とが必要 前	の検と しあ	が必要: の国・! 。	である。運営県補助金	が挙	の整備・	や活動 るが、 変	記号の定義が前年	B:事 <i>0</i> D:事 年度終	事業の過程を表現します。 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二	進め方 受・内 が合、 西 半 理番	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(с н	題	の進路が「ひまれた内容の分別を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	だ別の!!! いちましく いちましく に対する 一である。 一である。	見里がに対象 (本) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	に 定 と 市 な 町 る 横 内 容	利名いたが能策であり、	年度中(る。 の通所: と部分	の登録 者分負 につい	建規模! 録者823 負担金。	に即した名、実利と、機能 と、機能 体制強化	☆運営費 利用者57 能強化分 とが必要 前	の検 と しあ さ る a	が必要・! の国・! 。 「いニー	である。 り、運営 県補助金 田 -ズがある	体制(が挙) 施 る事業	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義が前年	B:事 <i>0</i> D:事 年度終	事業の過程を表現します。 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二	進め方 受・内 が合、 西 半 理番	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(c	題総	の進路が 「ひまれ 内容の充 財源と 国・県の	だ別の!!! いちましく いちましく に対する 一である。 一である。	見里がに対象 (本) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	に 定 と 市 な 町 る 横 内 容	利名いたが能策であり、	年度中(る。 の通所: と部分	の登録 者分負 につい	建規模! 録者823 負担金。	に即した名、実利と、機能 と、機能 体制強化	☆運営費 利用者57 能強化分 とが必要 前	の検 と しあ さ る a	が必要・! の国・! 。 「いニー	である。運営県補助金	体制(が挙) 施 る事業	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義が前年	B:事 <i>0</i> D:事 年度終	事業の過程を表現します。 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二	進め方 受・内 が合、 西 半 理番	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E	題	の進路が「ひまれた内容の分別を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	だ別の!!! いちましく いちましく に対する 一である。 一である。	見里がに対象 (本) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	に 定 と 市 な 町 る 横 内 容	利名いたが能策であり、	年度中(る。 の通所: と部分	の登録 者分負 につい	建規模! 録者823 負担金。	に即した名、実利と、機能 と、機能 体制強化	☆運営費 利用者57 能強化分 とが必要 前	の検 と しあ さ る a	が必要・! の国・! 。 「いニー	である。 り、運営 県補助金 田 -ズがある	体制(が挙) 施 る事業	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義が前年	B:事 <i>0</i> D:事 年度終	事業の過程を表現します。 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二	進め方 受・内 が合、 西 半 理番	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(с н	題総合	の進路が「ひまれた内容の分別を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	だ別の!!! いちましく いちましく に対する 一である。 一である。	見里がに対象 (本) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	に 定 と 市 な 町 る 横 内 容	利名いたが能策であり、	年度中(る。 の通所: と部分	の登録 者分負 につい	建規模! 録者823 負担金。	に即した名、実利と、機能 と、機能 体制強化	☆運営費 利用者57 能強化分 とが必要 前	の検 と しあ さ る a	が必要・! の国・! 。 「いニー	である。 り、運営 県補助金 田 -ズがある	体制(が挙) 施 る事業	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義が前年	B:事 <i>0</i> D:事 年度終	事業の過程を表現します。 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二	進め方 受・内 が合、 西 半 理番	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C	題総	の進路が「ひまれた内容の分別を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	だ別の!!! いちましく いちましく に対する 一である。 一である。	見里がに対象 (本) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	に 定 と 市 な 町 る 横 内 容	利名いたが能策であり、	年度中(る。 の通所: と部分	の登録 者分負 につい	建規模! 録者823 負担金。	に即した名、実利と、機能 と、機能 体制強化	☆運営費 利用者57 能強化分 とが必要 前	の検 と しあ さ る a	が必要・! の国・! 。 「いニー	である。 り、運営 県補助金 田 -ズがある	体制(が挙) 施 る事業	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義が前年	B:事 <i>0</i> D:事 年度終	事業の過程を表現します。 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二	進め方 受・内 が合、 西 半 理番	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E	題総合評	の進路が「ひまれた内容の分別を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	だ別の!!! いちましく いちましく に対する 一である。 一である。	見里がに対象 (本) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	に 定 と 市 な 町 る 横 内 容	利名いたが能策であり、	年度中(る。 の通所: と部分	の登録 者分負 につい	建規模! 録者823 負担金。	に即した名、実利と、機能 と、機能 体制強化	☆運営費 利用者57 能強化分 とが必要 前	の検 と しあ さ る a	が必要・! の国・! 。 「いニー	である。 り、運営 県補助金 田 -ズがある	体制(が挙) 施 る事業	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義が前年	B:事 <i>0</i> D:事 年度終	事業の過程を表現します。 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二 の 単二	進め方 受・内 が合、 西 半 理番	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C	題総合	の「内財」	だりの!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	見里が、、対 あい あくめは題6と 旅事必	に定と市な よ員な町る 内が 客あ	利のはいる。	を 度中 の	の登録という。	は規模は は担金 は担むも (書者:	に即した 機能 を は 機能	で運営者57 分要 前 応応で	の名 とで き 高体	がっ の。 「い」 「い」 「い」 「い」 「い」 「い」 「い」 「い」	でり、果補助がている。置います。	体制・	の整備・げられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義 前年 評様	B: 9 0 4 言 終価	事業見事が合う シート 一個 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	生	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K)	題総合評	の進いでは、一次の対象を表現である。	により (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	見里が、対 あい て	に定と市な 東要・ ・ 改	利名いらは作業である。善善	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の者に対ける	は規模は 担金 は 日本 ・	に即した 名 と 、 機	と連貫者 分要 を	の名 とで き 高体	がっ の。 「い二 に に に に に に に に に に に に に	でり 開 ボカ ボイ ボイ ボイ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体制の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	の整備・けられ・	冷活動 るが、 変 あり、	記号の定義前の定義を対象を	B: 9 0 9 言語 終価 方	事業見事が合計を シート 番 エー 向性	生	容要休· 房 03 後 対応	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K) 改	題総合評	の進いでは、一次の対象を表現である。	だりの!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	見里が、、対 あい あくめは題6と 旅事必	に定と市な 東要・ ・ 改	利のはいる。	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の登録という。	は規模は 担金 は 日本 ・	に即した 機能 を は 機能	で運営者57 分要 前 応応で	の名 とで き 高体	がっ の。 「い二 に に に に に に に に に に に に に	でり、果補助がている。置います。	体制・	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義 前年 評様	B: 9 0 9 言語 終価 方	事業見事が合う シート 一個 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	生	容要休 · 身	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K)	題総合評価	の進い容が見る。	により (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	見里が、対 あい て	に定と市な 東要・ ・ 改	利名いらは作業である。善善	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の者に対ける	は規模は 担金 は 日本 ・	に即した 名 と 、 機	と連貫者 分要 を	の名 とで き 済	がっ の。 「いわを 「いわを 「いかを 「いかを 「なります」	でり 開 ボカ ボイ ボイ ボイ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	なかが 施事要要 施	の整備・けられ・	冷活動 るが、 変 あり、	記号の定義前の定義を対象を	B: 9 0 9 言語 終価 方	事業見事が合計を シート 番 エー 向性	生	容要休· 房 03 後 対応	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K) 改革·	題総合評価	の「内財国高体制前成果	細 がてして 水 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 	見里が、、対象を対し、対象を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に定と市な 東要・ ・ 改	利名いらは作業である。善善	手度中 6 5 0 通所 と 8 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の者に対ける	は規模は 独自 は 一	に名 と 本 西 二 況 西 二 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	に関	の名 とでき 済	がっ の。 に制 年 成果	でり 相 がてい 施 拡 無 相 がて が を が を が を が を が を が も を が も を が も を も を も を も を も を も を も を も を も も も も も も も も も も も も も	体制の	の整備・けられ・	冷活動 るが、 変 あり、	記号の定義前の定義を対象を	B: 9 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業見事が合計を シート 番 エー 向性	生	容要休· 房 03 後 対応	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K) 改革·改	題総合評価	の「内財国高体前成果のニーイイー	だり (なりの ()))) (()) (()) (()) (()) (()) (()) (見里が、、対象を対し、対象を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に定と市な 東要・ ・ 改	利名いらは作業である。善善	東度中。 高麗所 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の者に対ける	は規模は 全担 を ・	に即した 名 と 、 機	注明 注 注 注 注 注 注 注 注 注	の名 とで き 済	がっ の。 い制 年 成果の	でり 果補 を が が で が が で が で の に か の に 。 に る に る に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。	体制の	の整備・けられ・	冷活動 るが、 変 あり、	記号の定義前の定義を対象を	B: 9 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業見事が合計を シート 番 エー 向性	生	容要休· 房 03 後 対応	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K) 改革·改善	題総合評価今後の	の「内財国 高体 離ひ容源県 二を 二を 二	細 がてして 水 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 	見里が、、対象を対し、対象を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に定と市な 東要・ ・ 改	利名いらは作業である。善善	手度中 6 5 0 通所 と 8 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の者に対ける	は規模は 独自 は 一	に名 と 本 西 二 況 西 二 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	に関	の名 とで き 済	がっ の。 い制 年 成果の方	でり 相 がてい 施 拡 無 相 がて が を が を が を が を が を が も を が も を が も を も を も を も を も を も を も を も を も も も も も も も も も も も も も	体制 体 本 本 本 本 本 本 本 本 本	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義前の定義を対象を	B: 9 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業見事が合計を シート 番 エー 向性	生	容要休· 房 03 後 対応	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K) 改革·改善	題 総合評価 今後の方	の「内財国 高体 直 前 成果の方向 は こを 二を 二	説り実し補 Mar ズッ 度 Mar 拡 現 縮がてい 改	見里が、大分をいくて、一を持一、一をは関係した。 がん 事必 が 一 ・	に定と市な 「工業要 ・ 」	利名いらは作業である。善善	事度中 6 5 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	の者に対ける	は 規模 2 2 4 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	に名 と 本 西 二 況 西 二 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	に対 能が 前 応 前 ⑦ ⑨	の名 とで き 済	がっ の。	でり A THE がて ・ A THE がていた 施 ・ THE がていた ・ THE がていた。 ・ THE がていた。 ・ THE がでいた。 ・ THE がでいた ・ THE がで	体制	の整備・けられ・	や活動 るが、 変 あり、	記号の定義前の定義を対象を	B: 9 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業見事が合計を シート 番 エー 向性	生	容要休· 房 03 後 対応	震施主体 軽止の検 A 010304
(C H E C K) 改革・改善の方向	題総合評価今後の	の「内財国 高体 離ひ容源県 二を 二を 二	説りましれ細ーズがてし改一がてし改一がてし改一は 現本	見里が、大分をいくて、一を持一、一をは関係した。 がん 事必 が 一 ・	に定と市な よ員な町る 内が 改 1	利名でか能 策あ。 第 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	度中 6 5 0 通所 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の者に一評様な実理を	は 規模1 担報 担報 を を を を を を を を を を を を を を を を を	に名となることを加工した。一般強化をは、人間をは、人間をは、人間をは、人間をは、人間をは、人間をは、人間をは、人間	に可能とが前が応応前ででののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののの<l>ののののののののののののの<l< th=""><th>の名 とでき 済 済</th><th>がっ の。</th><th>でり 細がて がて 施 を がな 施 を が が を が を が を が を を を を を を を を を を を を を</th><th> 体制</th><th>の整備・げられ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>や活動 ***</th><th>記号の定義前の年野様な</th><th>BC こ 年度 は の の</th><th>事</th><th>進くが 元長 面 整 プイン・から 大の必、 定番 プイン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・</th><th>容要休 ? 号 03</th><th>E 能主体 A 010304 できる</th></l<></l>	の名 とでき 済 済	がっ の。	でり 細 がて がて 施 を がな 施 を が が を が を が を が を を を を を を を を を を を を を	体制	の整備・げられ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	や 活動 ***	記号の定義前の年野様な	BC こ 年度 は の の	事	進くが 元長 面 整 プイン・から 大の必、 定番 プイン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	容要休 ? 号 03	E 能主体 A 010304 できる
(C H E C K) 改革·改善	題 総合評価 今後の方向	の「内財国 高体 直 前 成果の方向 は こを 二を 二	説り実し補 Mar ズッ 度 Mar 拡 現 縮がてい 改	見里が、大分をいくて、一を持一、一をは関係した。 がん 事必 が 一 ・	に定と市な 業要 · 改	利名でか能 策あ。 第一策 減	度中。 通子の の の の の の の の の の の の の の	の者に一評様な実証・	は規模 は 持者 82: 12:	に名 と 本 面 二	に対 能が 前 でを 前 ⑦⑨⑨動並並りががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<th>の名 とで き 済</th><th>がっ の。</th><th>でり A THE がて ・ A THE がていた 施 ・ THE がていた ・ THE がていた。 ・ THE がていた。 ・ THE がでいた。 ・ THE がでいた ・ THE がで</th><th> 体制</th><th>の整備 げられ・ 内容でる に お</th><th>や る が 、 </th><th>記号の定義 前 年 評様な</th><th>BC こ 年度評価 方 方</th><th>事業の事材は シーク では では では では では では では では では では では できます かいま はいま はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい</th><th>世 美) 充長 西 整 一 ブ</th><th>容要休 · </th><th>A 010304 できる</th>	の名 とで き 済	がっ の。	でり A THE がて ・ A THE がていた 施 ・ THE がていた ・ THE がていた。 ・ THE がていた。 ・ THE がでいた。 ・ THE がでいた ・ THE がで	体制	の整備 げられ・ 内容でる に お	や る が 、 	記号の定義 前 年 評様な	BC こ 年度評価 方 方	事業の事材は シーク では では では では では では では では では では では できます かいま はいま はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	世 美) 充長 西 整 一 ブ	容要休 ·	A 010304 できる
(C H E C K) 改革・改善の方向性(題 総合評価 今後の方向性	の「内財国 高体 直 前 成果の方向 は こを 二を 二	説り実し補 Mar ズッ 度 Mar 拡 現 縮がてい 改	見里が、大分をいくて、一を持一、一をは関係した。 がん 事必 が 一 ・	に定と市な 業要 · 改	利名でか能 策あ。 第 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	度中。 通子の の の の の の の の の の の の の の	の者に一評様な実理を	は規模 は 持者 82: 12:	に名 と 本 面 二 、 制 は 大 で に名 と 本 の に名 と 本 の に名 と 本 の に名 と 本 の に名 と 本 の に名 に か に る に も に も に も に も に も に も に も に も に も	に可能とが前が応応前ででののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののののの<l>ののののののののののののの<l< th=""><th>の名 とでき 済 済</th><th>がっ の。</th><th>でり A THE がて ・ A THE がていた 施 ・ THE がていた ・ THE がていた。 ・ THE がていた。 ・ THE がでいた。 ・ THE がでいた ・ THE がで</th><th> 体制</th><th>の整備 げられ・ 内容でる に お</th><th>や る が 、 </th><th>記号の定義 前 年 評様な</th><th>BC こ 年度 は の の</th><th>事業の事材は シーク では できます できます できます できます できます できます できます できます</th><th>世 美) 充長 西 整 一 ブ</th><th>容要休 ? 号 03</th><th>A 010304 できる</th></l<></l>	の名 とでき 済 済	がっ の。	でり A THE がて ・ A THE がていた 施 ・ THE がていた ・ THE がていた。 ・ THE がていた。 ・ THE がでいた。 ・ THE がでいた ・ THE がで	体制	の整備 げられ・ 内容でる に お	や る が 、 	記号の定義 前 年 評様な	BC こ 年度 は の の	事業の事材は シーク では できます できます できます できます できます できます できます できます	世 美) 充長 西 整 一 ブ	容要休 ? 号 03	A 010304 できる
(C H E C K) 改革・改善の方向性(A	題 総合評価 今後の方向性改	の「内財国 高体 前 成果の方向性 地域 路まのとの 一件 年 」	 説り実し補 細ごっ 度 細 拡 現 縮 休 支 機 振 張 様 様 優 / 優 	見里が、分 あい て	に定と市な ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	利名でか能 でる 善 策 には、 ストー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	度。通部 、 の ② ③ 循ト者	の者に「評様な実」評・投合	模 規 構 を も ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に名 と 体 面 二 況 面	- IT	の名 とで き 済 大 事 対	がっ の。	でり 県 田 ズ つ 細 田 拡 現 縮 休 接	体が	の整備・けられ・ でる お に お は コ は	やるが 	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	BC D 年度 は の 小 次合文 技	事業の事材は シープ オーター オーター オーター オーター オーター オーター オーター オー	選集 である できない できない かんしょう かんしょう かんき 一世 できない かんしょう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	容要休 ? 号 後	E 施主体 A 010304 できる 大事業
(C H E C K) 改革・改善の方向性(AC	題 総合評価 今後の方向性	の「内財国 高体 前 成果の方向性 域おいます。 路まの裏果 二・イ 年 1 当る。 1 1 1	 説り実し補 日 ごっ 度 日 拡 現 縮 休 支市 での 1 まま まま まま まま ままま ままま ままま ままま ままま ままま	見里が、	に定と市な 3 業要 ・ 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 	利名でか能 策 あ。 善 策 減 ス ほんしん	度。通部 、 の ② ③ ④ 縮ト者整	の 者に 評様 実 評 投合を かんり かんし かん おんし かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	接続 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に名 と 体 面 三 況 面	Text	の名 とで き 済	がっ の。	でり へ おおい かん お でり へ 	体が 施事要 作	の整備・ 内容ある に は は は は は は は は は は は は は は は は は は	や 5 	記号の定義前、年 評様 を 評 お 後 評 お と 後 評 お と ※ 6 を ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	BC D 年度 は の 小 と 合を継	事業の事材会 シャイン おり では では では できまり できない おります こうしゅう できない はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいま	世美) 充要 西 整 プ 単 大 地 と から がら 一 単 青 方 地 受 から 内 必 、 定 番 に	容要休 :	A 010304 できる 大葉 接 大葉 、
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	題 総合評価 今後の方向性 改革・	の「内財国 高体 前 成果の方向性 地域 路まのとの 一件 年 」	Right Man Zin	見里が、対 あい 7	に定と市な 東要 ・ 	利名でか能 策あ。 第 策 あ。 第 策 減 ぶ に し に に に に に に に に に に に に に	度。通部 、 の ② ③ ④ 縮ト者整その ・ 本国 ・ 本国 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の 者に 評様 実 評 投合を4の	模 者 担て ** 	に名 と 体 面 二 況 面 大)のる人即、 、制 一 単 地必とし実 機強 ズ 単 上 持 方域要とり ま	Text	の名 とで き 済 大 事めし 検と しあ る	がっの。	でり 県 田 ズ つ 細 田 拡 現 縮 休 接	体が 施事必 評 施	の整備・	や る	記号の定義 前 章前 章事様後 評投稿の	BC D 年度 は の 小と 合をもの 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網	事業 見業が合 - 者 向 現の法す法人 の規値 L の必評 ト 価 二 性 価 レ 状の のる人	(単奏) 元表 画 整	容要体 : 号 女 一 後 拡	E 施主 かん で
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革	の「内財国 高体 前 成果の方向性 域お助い 路まの泉県 二を 二を 1 二を 二・ 1 1 こを 二・ 1 1 こを 1 1 1 こを 1 1 1 こと 2 1 1 こと 2	Right Man Zin	見里が、対 あい 7	に定と市な 東要 ・ 	利名でか能 策あ。 第 策 あ。 第 策 減 ぶ に し に に に に に に に に に に に に に	度。通部 、 の ② ③ ④ 縮ト者整その ・ 本国 ・ 本国 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の 者に 評様 実 評 投合を4の	模 者 担て ** 	に名 と 体 面 二 況 面 大)のる人即、 、制 一 単 地必とし実 機強 ズ 単 上 持 方域要とり ま	Text	の名 とで き 済 大 事めし 検と しあ る	がっの。	でり 操 田 ズ っ 細田 拡 現 縮 休 支市支 あ、 補 がて 施 援町出 る 遺 助 あい	体が 施事必 評 施	の整備・	や る	記号の定義 前 章前 章事様後 評投稿の	BC D 年度 は の 小と 合をもの 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網	事業 見業が合 - 者 向 現の法す法人 の規値 L の必評 ト 価 二 性 価 レ 状の のる人	(単奏) 元表 画 整	容要体 : 号 女 一 後 拡	E 施主 かん で
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	題 総合評価 今後の方向性 改革・	の「内財国 高体 前 成果の方向性 域お助い 路まの泉県 二を 二を 1 二を 二・ 1 1 こを 二・ 1 1 こを 1 1 1 こを 1 1 1 こと 2 1 1 こと 2	Right Mar Xi	見里が、対 あい 7	に定と市な 東要 ・ 	利名でか能 策あ。 第 策 あ。 第 策 減 ぶ に し に に に に に に に に に に に に に	度。通部 、 の ② ③ ④ 縮ト者整その ・ 本国 ・ 本国 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の 者に 評様 実 評 投合を4の	模 者 担て ** 	に名 と 体 面 二 況 面 大)のる人即、 、制 一 単 地必とし実 機強 ズ 単 上 持 方域要とり ま	Text	の名 とで き 済 大 事めし 検と しあ る	がっの。	でり 操 田 ズ っ 細田 拡 現 縮 休 支市支 あ、 補 がて 施 援町出 る 遺 助 あい	体が 施事必 評 施	の整備・	や る	記号の定義 前 章前 章事様後 評投稿の	BC D 年度 は の 小と 合をもの 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網	事業 見業が合 - 者 向 現の法す法人 の規値 L の必評 ト 価 二 性 価 レ 状の のる人	(単奏) 元表 画 整 プ(上) 単方 は要と 方内必、 定番 に(上) 単方 は要と 方内必、 定番 に	容要体 : 号 女 一 後 拡	E 施主 かん で
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	の「内財国 高体 前 成果の方向性 域お助い 路まの泉県 二を 二を 1 二を 二・ 1 1 こを 二・ 1 1 こを 1 1 1 こを 1 1 1 こと 2 1 1 こと 2	Right Mar Xi	見里が、対 あい 7	に定と市な 東要 ・ 	利名でか能 策あ。 第 策 あ。 第 策 減 ぶ に し に に に に に に に に に に に に に	度。通部 、 の ② ③ ④ 縮ト者整その ・ 本国 ・ 本国 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の 者に 評様 実 評 投合を4の	模 者 担て ** 	に名 と 体 面 二 況 面 大)のる人即、 、制 一 単 地必とし実 機強 ズ 単 上 持 方域要とり ま	Text	の名 とで き 済 大 事めし 検と しあ る	がっの。	でり 操 田 ズ っ 細田 拡 現 縮 休 支市支 あ、 補 がて 施 援町出 る 遺 助 あい	体が 施事必 評 施	の整備・	や る	記号の定義 前 章前 章事様後 評投稿の	BC D 年度 は の 小と 合をもの 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網の 大変網	事業 見業が合 - 者 向 現の法す法人 の規値 L の必評 ト 価 二 性 価 レ 状の のる人	(単奏) 元表 画 整 プ(上) 単方 は要と 方内必、 定番 に(上) 単方 は要と 方内必、 定番 に	容要体 : 号 女 一 後 拡	E 施主 かん で
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIOZ)	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善策	の「内財国 高体 前 成果の方向性 域お助い 路まの泉県 二を 二を 1 二を 二・ 1 1 こを 二・ 1 1 こを 1 1 1 こを 1 1 1 こと 2 1 1 こと 2	深り実し補 細 ズっ 度 細 拡 現 縮 休 支市支設のの事件は対 がてし 改 	見重が、対 あい 【	に定と市な 東要 ・ 	利名でか能 *** でる *** ***	F 5 0 と	の 者に 評事	模	に名 と 体 面 二 況 面 大)のる人即、 、制 一 単 地必とし実 機強 ズ 単 上 持 方域要とり ま	注	の名 とで き 済 大 事めし 検と しあ る	がっ の。	でり 操 田 ズ っ 細田 拡 現 縮 休 支市支 あ、 補 がて 施 援町出 る 遺 助 あい	体が 施事必 評 施	の きん お は なん な は なん な は は は しく サ	や る	記号の定義 前 章前 章事様後 評投稿の	BC D 库度 は の 小と 合をも腹	事業 見業が合 - 者 向 現の法す法人 の規値 L の必評 ト 価 二 性 価 レ 状の のる人	(単奏) 元表 画 整 プ(上) 単方 は要と 方内必、 定番 に(上) 単方 は要と 方内必、 定番 に	容要休 : 号 対	E 施主 かん で

事系	务事為		障害者相談	支援	事業										事業期間	引 平成	t 19	~		年度	整理番号	03010317
担	当 部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	连課		福祉3	支援保	Ř.		作成担当	省名	斎	藤	明	美	連絡先	315
			プランに 6位置づけ	有	政策	策体	系	施 細 旅事務			第1章 第3章 生涯(障害者	市 間 こわた	宇者保 : ったす	こ支えあ 保健福祉 支援体制		人らし	ノく事	らせる	まちて	づくり		
計	予	算	事 業 名	障害	肾 者相	談支技	爰事ヺ	<u> </u>								会討		ド 001	款	03	項 01 目	03 事業 02
画	事為	務 事	i 業の概要 ^{わかりやすく)}	ス」	の運	営費	を諏言	方地域	6市町	村で負	負担す	る 。										ー「オアシ
			と背景うして)	在年グ・	か護	害者等 相談	等に対 及び作	対し、 青報提	福祉サ 供等を	総合的	スの利 内にお	用援 こな [・]	助、社: う。	会資源の	活用や神	1会生	活力を	高める	ため	の支援	、ピア・	カウンセリン
^	目	対	受益者			家族。		7 1 1-	古体海	2 W # 2	七本什	1 71	\ Z \	(= 5+ 1 = 7	負担金?	t. + 1 1	2					
P		象	対象 (直接働きかける)	阿 森	, un	. 14 .	, ,	N] IC	直按是	BER	EX19		ו(פיי	[-X] C (. 貝担亚?	E X M	J.					
	的	(どん	意図								-				と会参加の							
L A					営費																	一オアシス」 負担金を支
			行政活動の紀	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・詞	计算式	・目標	種設	定の参	考え方など	最終目標値
N	評	活動指	オアシスに	おけ	る茅里	野市障	害者	の相談	炎支援	延べ村	談件	数		件	年間延	べ相談	件数	(茅野	市)			1,000
	価指標の	標																				
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	计算式	・目標	種設	定の非	きえ方など	最終目標値
	成	果指	茅野市民に	対す	る相談	炎実績				相談者	数			人	実相談	者数	(茅野	市)				100
		標																				

	J	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	l-il-		(a)	円	5, 846, 000	7, 497, 000	6, 588, 989	7, 501, 870	8, 959, 000
	財	国庫支出	金	円	815, 138	1, 301, 000	1, 752, 054	1, 557, 000	2, 975, 000
実	源	県 支 出	金	円	407, 569	650, 000	879, 891	779, 000	1, 487, 000
	内	地方	債	円					
			源	円					
-	訳	一 般 財	源	円	4, 623, 293	5, 546, 000	3, 957, 044	5, 165, 870	4, 497, 000
施	職	正規職	員	人	0. 08	0.11	0. 11	0.11	0.11
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人	0. 03				
状		合	計	人	0. 11	0.11	0. 11	0.11	0.11
7/		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	104. 00	134. 00	118.00	135, 00	177.00
		The Administration of the	目標	件	250	250	3, 000	1,000	1, 000
		延べ相談件数	実績		268	266	2, 624	725	
	活		達成率	%	107. 20	106. 40	87. 47	72. 50	_
	動		目標						
	指		実績						
D	標		達成率	%			_	-	_
	JAK		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_ 	_ 0F	_	-	150
0	成	40 84 da 44	目標	人	85	85	50	100	150
	ル田田	相談者数	実績	0/	92	55	47	151	150
	果指		達成率	%	108. 24	64. 71	94. 00	151.00	100.00
)	扫		目標	_					
	標	_	実績達成率	%	_	_	_	_	_
			建双平	70	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	~								

事務	事	業名	律害者	相談	支援	事業										事	業期	間平	成	19	~	:	年度	整理番号	} 030	10317
担当	当部	8署	建康福	祉部			地址	或福祉	推進課		福祉	止支援(系			作	成担	当者名	7	下 旗	Į.	明	美	連絡先	3	15
	期				E	標							実	綅	į								課	題		
四	第 1 期	諏訪 となる る。	市社協	との! . 今後	指定の方	管理契 向性を	₹約がス ₹6市町	年度	で終了 霍認す	訪市打出席)	33 (13) (1	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	アシス 27.6.1 をの 方	所 6 向	夏、 嬰保 生材	諏訪市 【者会】 【討。	社協。 養開催	局長 (6市	訪市の法な方	iとす。 人と 法を	ると引 の契約 検討す	き続き 対や、 する。	きお願 NPO	理の継続 いしたい 去人格のJ	。一方で 仅得 など	様々
·	第 2 期	となる					2約がる 6市町			交換等	果長)。 等。27.9 节担当	《有会語 経過確 9.17関係 課長)記	E認、F 系者会	 	村。 (67	ごとの ち町村	段告、 担当使	意見 系長、	の法討。	き人も 6市町	難色。 「村の	「一般 負担書	社団別につ	続はしな 法人」の: いて、諏 ぞれの市	立ち上げ 坊市です	rを検 と務内
期ご	第 3 期	事業	軍営費	の負	担割	につい	で検討	すする。		長会	養開催。 .17 関	当係長。27.11 。27.11 係者会	.9 11	.13	-11	.16理	事者協	謙。	口害 係者	4]で 等で	H28 <i>0</i> 一般	D当初 社団法	予算 人を	「均等割2 計上。オフ 立ち上げ 施する。	シス職	員·関
٤	第 4 期						理が終 よう支					社団法 拶回り		9	法丿	人設立		アシ		炎支援 ロ。そ(の充実	€。自.	立支援協	議会活	動への
Ø	111.4	<u>_</u>	111.20			- 184-	VB 1	±~ 1	. 18	,	- 3		中	ř		価										
									に生じ て、6 7					今	成果			充			2		(5	7	
管	111	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-	-						10-112			後	の	, 現	状維	持			3		(9	
														の	方向			小			4		(3	10	
理	A 44								項(改)		方	性		廃.	止(D							
	节包	2、相	炎文 捷	活動	の元	夷と相	談件党	の理	加が見	込まれ	ం .			向					皆	減	縮	1,	Jv :	現状維持	拡	大
														性		/			=	ı ス	١	投	入	の方	向	性
		評価名	- r#=		31	当年度		1																		
	衬			<u>ਤ</u>		1 年及 当		<u> </u> 性		有	3	<u></u>	性			:	効	率		性		総	合	評値	五 判	定
-		面の観		1	2	3	4	14 判2	定 1	1 2				判定	:	1	2	3	4		钊定	1140.			4 13	~
評		エッ						4						4							4			Α		
価(C		高ま・	ってお	S 43	諏訪	地域图	書者!	自立支	「均等 で でいる	ターに												記号の定義が年	B: ままの事計総	画が業規則を が、業規 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 が、大学 の、必ず を の、大学 の 、大学 の の の の の の の の の の の の の	方に改善き込みである。	が必要施主体 止の検
н			細		施	i	策		評	個	i	前		T		細		施		策		評	С ВТІШ	価	後	710000
E	総合評	済的:	の障害 負担軽	減の	援の 観点	ニースからも	(は高	市町	さてだ 付共同 である	り、真で障害	門性の	の確保		7	的	の障害	減の	援の二観点が	いらも	は高 諏訪	6市町	てきて 「村共	司で	、専門性 章書者自3	の確保	
ĸ																										
)	価	盐	年 度	: 247	常	• ⊇h	-	Ε Λ	実施	11. :E	ə I 😴	尾施	済	+	π 4	丰度糸	甲族鱼	车缸	ボ /-	セロ	· Z 4	△ 径 (n ±	向 性 l		
改		נים	- 知	. 4	施		策	R 07	評	1人 // 個		前	<i>//</i> 4	<u> </u>	, -	細	ע אות ש	施	<u> </u>	策	٠,٥٠	評	// //	価	後	
革	今		拡		充	, 	ж.	2	P I	5		7		╁	成	拉		充		ж		яг	į	Щ	- IX	
改	後	成果		· !状維				3		6	レ	9			果		· !状維				-			レ		
善	の	の方						.i		<u> </u>		ļ			の 方										-	
の方	方	向	縮		小			4		8		10			向	縮		小								
向	向	性	休	. 廃 .	止	1				<u> </u>		<u> </u>		4	性	- 休	. 廃 .	止							<u></u>	
性	性	_		_		皆	減 コ <i>フ</i>	縮	小 投			拡向性	大 :						皆	減 コ <i>ジ</i>	縮スト			現状維持 の 方		大 t
Â	改						2ンタ-	ーで実	施して	いる名	事業0	の評価を	を適コ						援セ	ンタ	ーで	実施し	てい	る各事業	の評価	を適正
C	革								·ビスセ i害福祉					野に	実性	施して	いくなが	。また ら、誰	:、保 図計庫	健福	祉サ- 体の	ービス <mark>造害</mark> 拝	セン 	ターとの 連の調整	役割分 機能が	担や整 有機的
T	-						てい		150 IM	.,.,	. see 12. 17				展	開され	るよ	う支援	をし	てい	۷.	- H IP	, , (X)	~~ ~ Ph. TE	JA GUN	useHJ
0	改善																									
Z)	黄策													I												
晨彩		価年.	日日	377.1	成りな	年5月2	20 F	最 纟	冬評・	流 害	任 耂					地域社	京却 維	* 推理				1		竹 内		<u></u>
取形	では	四十.	u H	+/	44,40	十つ刀を	LV 🖂	月又 不	< 5	川 貝	11 11					地場个	田工工作	(连床)	X				•	u M	ļ	E I

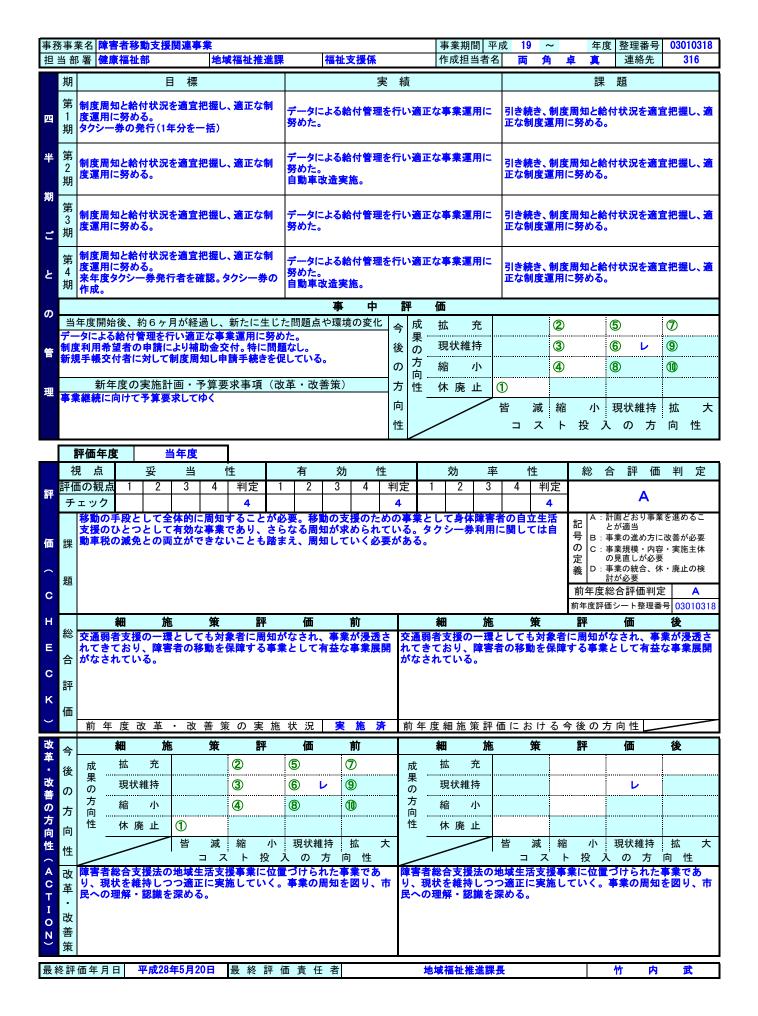
事系	务事業	集名	障害者スポー	ーツ	関連事	業									事業期間	平成		~		年度	整	理番号	03010325
担	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	鰈		福祉支	支援係			作成担当	者名	両	角	卓	真	ì	連絡先	316
	市おり	民 ける	プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系	施 細 施事務		03		で 障に現と	害者保	保健福祉 かれへの		人らし	く書	らせる	まち	づくり	J		
計	予	算	事 業 名		姓活											会計	_	ド 00	1 款	03	項	01 目	03 事業 10
画	事為	務事	· 業の概要 _{わかりやすく)}	た、	茅野	市身	体障害		祉協会	:EE	もに障	害者が	ř— ト7	ボール大	祉事務所 会の開催	を支持	爰する						支払う。ま
			と 背 景うして)		者が		ーツを	を通じ	て体力	の増強	鱼を図	り、ネ	t会活	動への参	加を促進	する。	ととも	に、」	県民の	障害	者に対	対する理	解と認識を
^	目	対	受益者		5地区 5地区			ピーツ・	大会参	加者及	をび障:	害者な	デート 7	ボールオ	会参加者	•							
P		象	対象 (直接働きかける)												, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>								
	的	(どん	意図 のなけい (なけい にんしん にんしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こ					置営さ															
L A			方法やって)	諏訪	特保健	福祉	事務用	所福祉	課(大	会事和	务局)(に対し)負担金	金を支払	う。また	:、ゲ-	ートオ	も いいけい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	大会開	催を	支援で	する。	
			行政活動の紀	結果:	からつ	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	上算十	さ・目	標値討	段定の	考え	方など	最終目標値
N	評	活動	諏訪地区障	害者	スポー	-ツ大	会の	参加者	i	参加者	数			人									200
	価指	指	茅野市身体 者	章書:	者ゲ-	ートボ	ール	大会σ	参加	参加者	数			٨									15
J	標の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	十算式	:・目	摽値討	没定の	考え	方など	最終目標値
	成	果指	諏訪地区障	害者	スポー	-ツ大	会の	開催		開催回	数			•									1
		標	茅野市身体	章害:	者ゲー	ートボ	・ール	大会の	開催	開催回	数			<u> </u>									1

	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	leile		(a)	円	17, 000	17, 000	41, 969	24, 786	42, 000
	財	国庫支出	金	円			8, 493	9, 000	12, 500
実	源	県 支 出	金	円			4, 265	4, 000	6, 250
	内	地方	債	円					
			源	円					
	訳	一 般 財	源	円	17, 000	17, 000	29, 211	11, 786	23, 250
施	職	正規 職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	>		数	· ·		***			
			(b)	ᇫ		200	200	200	
			(b)	3 🗷	_	85	210	124	_
況		受益者負担	額	H	0.00	0.00	1 00	A 00	0.00
	Г	市民一人当たりのコス		円	0.00	0.00	1. 00 200	0.00	2.00
		参加者数	目標 実績	人		200 179	200 178	200 185	200
			達成率	%	_	89, 50	89.00	92, 50	_
	活		目標	70	_	09. 00	15	15	15
	動指	参加者数	実績	人			12	11	10
	指	2 /11/13 3X	達成率	%	_	_	80, 00	73. 33	_
D	標		目標	70			00.00	70.00	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標			1	1	1	1
	成	開催回数	実績			1	1	1	1
	果		達成率	%	_	100.00	100.00	100.00	100.00
	指		目標				1	1	1
		開催回数	実績	Ш			1	1	1
			達成率	%	-	_	100.00	100.00	100.00
	備								
	考								

				スポ-	ーツ	関連事											間			~	年	度	整理番号		10325
担	当 剖	『署	建康福	祉部			地址	す福祉	推進課		福祉	止支援(系		1	作成担	当者名	3 1	5 角		卓真		連絡先	3	316
	期				E	標							実	績							릶	果是	<u> </u>		
匹	第 1 期	う。		章害者 :会開作			:会の 負 :う。	担金	を支払	27.5.3 る。 負担金		地区障 払う。	害者	スポー	-ツ大会	会を開	催す	開催	能に向け	ナ準値	着してゆ	٠ ८ 。			
	第 2 期		市障害される			ドール	大会が	ペスム-	ーズに	身体四	幸害者	福祉協	会と持	丁ち合	わせる	行った	t.	開催	能に向り	ナ準値	帯 してゆ	٠ ८.			
	第 3 期	来年	度開催	崖に向	け準	備して	ゆく。			資料準	i 備等	祉事務 行った。 市障署	•					来年	F度開	催に「	句け準値	情して	ゆく。		
ع	第 4 期	来年	变開 僧	崖に向り	け準	備して	ゆく。			来年度せ会議	きの諏 きが開	訪地区 催される	障害 た。	者スポ	ペーツ フ	大会打	ち合れ	来年	F度開	催に「	句け準備	帯して	ゆく。		
Ø											耳	-	中	評	個	•									
		年度開 こなし	始後	、約6	うケ	月が経	過し、	新た	に生じ	た問題	点や環	境の変	変化	今	或	広	充			2		5		7	
管	1414	-,3-0													ァ カ ^ュ	見状絲	掛			3		6	レ	9	
															方 句	宿	小			4		8		10	
理								東求事	項(改	び車・引	大善策)			-	木 廃	止	1							
-1	事業	棒税	(こ同(ナで予	算要	求して	ゆく							向				皆	減	縮	小	現	状維持	拡	大
														性				=	ı ス	۲	投	入	の方	向	性
		San Front A	- de			. Arr ete		1							_										
		評価		当		年度 当		<u></u> 性		有	,		性			効	ュ	₹	性		総	合	評価	i 判	定
		五の観		3	2	3	4	上判別	計 1	1 2				判定	1	2	3			定	心	П	計加	1 +1	疋
評		エツ						4					<u> </u>	4						4			Α		
			者がス	スポー	ツを	通じて	て社会	参加で	きる貴	重な機	会では	5 Y 、 ⁴	今後も	引き	続き	事業を	実施す	る必	要があ	•	記 A		でおり事 であり	業を進	≦めるこ
価	課	8.																			号 B	: 事業	の進めた		
	H-1-																				定	の見	規模・内直しが必	要	
	題																				義D		(の統合、 (必要	休・廃	Ě止の検
С	-																						評価判別		Α
н			細		施	1	策		評	価	i	前			糸	M	施		策		評		一ト整理番 価	後	
	総				ツを	通じて	て社会						今後も	障	者が	スポー	-ツを	通じて	社会	参加で	できる。		機会で		今後も
E	合	引き	続きる	業を	実施	する。	必要がる	ある。						引	き続き	事業を	実施	する必	要がる	5 5 .					
С																									
K	評																								
	価																								
		前	年 度	₹ 改			善等	もの	実 施	状 況	! 3	と 施	済	前	年 度	細 施	策 評	価に	おけ	るぐ	き後の	方向]性		
改革	今		細		施	į	策		評	価		前			Ŕ	Ħ	施		策		評		価	後	
•	後	成果	拉	t 5	充			2		⑤		7			•	拡	充			ļ					
改善	の	果の	玗	秋維	诗			3		6	レ	9		σ)	現状維	辪						レ		
の	方	方向	縮	首 /	'J\			4		8	*******	10		方向		縮	小								
方向	向	性	付	ト 廃 」	止	1								性		休 廃	止								
性	性				_	皆	減	縮	小			拡	大					皆	減	縮			状維持	拡	大
Â		<u> </u>		- 40 +	小竺	大海口	コ フ * ア 恒			入 の 募 って				-	<u> </u>	广和 +	- Λ· ····		コ <i>ス</i>				の 方 て ゆ く。		±
C	改革	7 夜	υ、 <i>μ</i>	は取り	ツ寺	で週し	ン(幅)	ムトラ	·WHE &	秀つし	19º X 0			71	χŪ,	山ヤ	つい寺	で通し	・(幅)	4 N 3	アルイロ で	一秀で	, CIP (•	
T	*																								
I 0	改																								
N)	善																								
	策													<u></u>											
最終	冬評	価年	月日	平月	戊28:	年5月2	20日	最終	冬 評	価 責	任 者				地域	福祉	惟進課	長				竹	内	i	武

1 4	<u> </u>		一尺子		似于切于木川/					1 35 EL 111 T
事務	事第	纟名	障害者移動	支援関連事業		事	工業期間 平成	19 ~	年度 整理番号	03010318
担:	当 部	署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉支援係	竹	成担当者名	両 角	卓 真 連絡先	316
			プランに 位置づけ	内 政策体系 一級策体系 施策 一細施策 事務事業	01 第1章 お互いに 03 第3節 障害者保 04 障壁のない、移動 01 地域生活支援事業	健福祉σ				
計	予	算	事 業 名	障害者移動移送支援事業費			会計:	コード 00	1 款 03 項 01 目	03 事業 03
画	事初	多事	業の概要 _{わかりやすく)}	屋外での移動に困難がある障害 援を行う。具体的な内容は身体 付き添いのサービス提供等であ	は障害者用自動車改造費の					
			と背景うして)	移動に困難がある障害者の支援	そうことで、社会生活 かんかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	舌を安定	して営むことが	ができる。		
(目	対象	受益者 (誰のために) 対象	移動の支援を必要とする障害者 移動の支援を必要とする障害者		i				
P	的		(直接働きかける)	移動の支援を必要とする障害者 実現とする						
L A			・ 方 法 やって)	移動支援・タクシー利用料金の業実施後、市に対して実績報告決定を受けたのち実施する。ご	書、請求書を提出する。	自動車	改造の助成を	受けるには	、改造を実施する前に	
			行政活動の	結果からつくりだすものは何?	指標名称	単 位	算出方法・計	算式・目標	票値設定の考え方など	最終目標値
Ν		活動	移動支援事	業の充実	移動支援事業実施時間 数	時間	移動支援事業 加回数が明ら		により、社会活動参	2, 000
	н і	指標	対象となる	障害者への周知	自動車改造実施車数	台	自動車改造実	施車の数を	目安とする	2
J	価指標		障害者の社	会活動を促進する	タクシー券交付決定者 数	人	タクシー券交	付決定者の	数	120
	の		成果	・ 効 果 は 何 ?	指標名称	単 位			票値設定の考え方など	最終目標値
	作成	成果	移動支援事	業決定者の増加	移動支援事業決定者数	人	の安定した社	会生活が研		30
		指標	障害者の社	会参加の促進	自動車改造実施者数	台	車の買い換える動車改造を実		i者を除き、新たに自 【	2
		环	障害者の社	帯 活動 を作作する	タクシー券交付決定者 数	人	タクシー券交		•	120

	Į		目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成2/年度(ア 算 又は決質額)	平成28年度 事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円	2, 414, 998	2, 539, 248	6, 413, 601	8, 701, 605	4, 379, 000
	財	国 庫 支 出	金	円	1, 207, 499	1, 269, 624	1, 355, 066	1, 366, 000	2, 189, 500
実	源	県 支 出	金	円	603, 749	634, 812	680, 522	690, 000	1, 094, 750
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	603, 750	634, 812	4, 378, 013	6, 645, 605	1, 094, 750
施	職	正規職	員	人	0. 08	0. 08	0. 17	0. 17	0. 17
nes .	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 03	0. 03	0. 05	0. 05	0. 05
	数	合	計	人	0. 11	0. 11	0. 22	0. 22	0. 22
状	>	対象 (者)	数	H	35	35	35	35	38
101	3	延利用(者)数	(b)		199	189	260	260	300
			(b)	円	_	_	-	_	19, 172
	_	受益者負担	額	円					
況	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	_	_	_	104. 00
200		移動支援事業実施時間	目標	時間	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	2, 000
		为以及于未天心时间	実績		1, 338	1, 233	1, 734	1, 722	
	活	*	達成率	%	89. 20	82. 20	115. 57	114. 80	_
	動		目標	台			4	2	2
	指	自動車改造実施車数	実績				2	2	
	標		達成率	%	_	_	50.00	100.00	_
	尓	タクシー券交付決定者	目標	人			200	120	120
D		数	実績				190	183	
		~	達成率	%			95. 00	152. 50	_
			目標	人	30	30	30	30	30
		移動支援事業決定者数	実績		38	35	34	47	30
0	成		達成率	%	126. 67	116. 67	113. 33	156. 67	100.00
	果		目標	台			2	2	2
	果指	自動車改造実施者数	実績				2	2	2
	標		達成率	%	-	-	100.00	100.00	100.00
)	'।जर	タクシー券交付決定者	目標	人			75	120	180
		数	実績				109	183	180
			達成率	%	_	-	145. 33	152. 50	100. 00
	備								
	考								
	石								



事剂	多事為	美名	コミュニケー	<u>ーシ</u>	ョン3	友援関	連事	業							事業期間	平成		~		年度	整理番号	03010319
担	当 部	署	健康福祉部			地	域福	祉推	性課		福祉支	援係		1	作成担当:	者名	両	角	卓	真	連絡先	316
計画	予事が	算	プランに位置づけ事業名	聴覚 共同	シュニ	者に対で日	ション 対し ⁷ 常会記	て、手話程度	事業 事業費 話通割 の手記	者等表現	地域生 (手話) 技術を	で 車 現と 三活支 通訳者 国 習得し	書者保社会参議・要条が、た手	健福祉の :加への3 : 的筆記者 話奉仕員	支援)を派遣 を養成す	会計:し社会	コード 注 生活) の養)	`│ 001 支援。 或講四	I │款 E行う Eを開	03 : ととも 催する	。	03 事業 04 他域 6 市町村
(P L	目的	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける) 意図 な状態にしたいか)	む聴手聴す手	では、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直に	(でき) (等を) (等を)	るある。	とするユニケ	聴覚四一ショ	き者に	及び手腕段を確何に手話	話を学にし、通訳等	安定し	か市民した社会	生活を営	む社会	を構造	楽し、	t o	てパリ	アフリー	社会の実現と
A		どう	やって)	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目根	票値設	定の≉	考え方なと	: 最終目標値
N	=π	活動	聴覚障害者の	の安	 定し#	と社会	参加			手話道	重訳等》	派遣回	数		手話通言				により	り、社	会活動参	237
- IN	評価指標	指標	手話奉仕員	養成	講座者	ቇ加者	i —			参加人	人数			人	養成講師							5
~	の作	_	成 果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	注	• 目标	票值設	定のを	考え方など	最終目標値
	成	成果指標	手話通訳者等	等の							重訳者等			Α.	手話通言							18

	Į	 頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
	7	事業費等	(a)	円	692, 505	615, 152	1, 206, 377	985, 711	1, 065, 000
		芦 米 貝 寸	<u>(a)</u>	円	346, 252	307, 576	403, 935	336, 000	525, 000
eta	財	<u> </u>	<u>亚</u>	円	173, 126	153, 788	202, 858	168, 000	263, 000
実	源	<u> </u>	債	円	170, 120	100, 700	202, 000	100,000	200, 000
	内	その他特定財		円					
	訳		源	円	173, 127	153, 788	599, 584	481, 711	277, 000
施	職	正規職	員	· ·	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
		属託職	員	Ĵ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	員	臨 時 職	員	入					
416	数	合	計	入	0. 08	0. 08	0. 08	0. 08	0. 08
状	3	対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況	, J.	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス	٠ ١	円	12. 00	11.00	22. 00	18.00	30.00
			目標		300	300	300	235	237
		手話通訳等派遣回数	実績		210	185	224	171	
	活		達成率	%	70.00	61. 67	74. 67	72.77	_
	動		目標	人			5	5	5
	動指	参加人数	実績				3	5	
D	標		達成率	%	_	_	60. 00	100.00	_
	ीगर		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	_1;	~ = T = = 1 + At 2 At 2 At 2 At 3	目標	人	18	18	18	18	30
	成果	手話通訳者等登録者数	実績		30 166, 67	30 166, 67	32	32	30
	未指		達成率	%	100.07	100.0/	177. 78	177. 78	100. 00
)	扫		目標実績	_					
	標	_	達成率	%	_	_	_	_	_
			进队平	70	_	_	_	_	
	備								
	考								
	-								

事務	事	業名 コミ	ュニケ	ァーシ	ョン支	援関連	事業								事	業期	間 平	成	•	~	年	度	整理番号	0301	0319
担	当 剖	图署 健康	福祉音	ß		地址	ず福祉	推進課		福祉	止支援	系			作	成担:	当者名	両	ī f)	卓真		連絡先	3	16
	期			E	目 標							実	績								部	果 是	遉		
四	第 1 期	制度周知に実施で									利用に						等と連	特に	なし。						
	第 2 期	制度周知に実施で									利用に ハスム-						等と連	特に	なし。						
期ご	第 3 期	制度周知に実施で									利用に ハスム-						等と連	特に	なし。						
٤	第 4 期	制度周知に実施で							絡を	引に行し	利用に ハスム- 養成講	- ズな 座開(運用	fiを 対l	行った	•		聴覚益々ある。	充実	者等をして	の情報を	陽者! けれ	こ対する† ばならなし	育報保障 ハ社会(章は 情勢で
Ø	111	<u></u>	***		- 184 -	\B.I	± 1	- 1 18	,	具		<u>中</u>	a		価										
		年度開始 の制度											今	成果			充			2		(5)		7	
管	運用	を行った			0.0				С Д.				後	ô		伏維	持			3		6	レ	9	
													の	方向			小			4		8		10	
理							求事	項(改	「革・己	女善策)		方	性		廃	止(D					••••••		
	争身	を継続に[リケてつ	7异安	・来して	Ψζ.							向					皆	減	縮	小	瑪	状維持	拡	大
													性	_	/			コ	ス	۲	投	入	の方	向 '	性
		評価年度	:	•	当年度		1																		
	礼			妥	当年及		性		有	7	<u></u>	性			ž	টা	率		性		総	合	評価	判	定
		の観点	1	2	 3	1 4	当判別	Ē 1	1 2				钊定	+	1 [2	3	4	-	定	小心		рт јш	ניד	Æ
評		ェック					4						4						_	4			Α		
億 (0	課題																				の 定 義 り 前年原	:事第の事が	が適当 道進 道進 が高 道の が合 での での での での での での での での での での	容・実	施主体 止の検 <mark>A</mark>
н			細	旅	<u> </u>	策		評	佃	i	前				細		施		策		評		価	後	
ECK	総合評価	聴覚障害 り、利利 知を行う	胃者等の 月実績 うことが	の自立 も上が が 必要	支援に くってし である	はコ: vる。 ! る。	计画通	ケーシ り事業	・ョン支 を進め	援がること	下可欠了	であ 変の 居	聴り知	覚 、 !を	障害者	等 顔もが	自立支	を接にしています。	はコミ	計画が	ニケーシ	/32	レ支援がえ きめること	下可欠了	であ 変の 周
)		前年	度 改	革	• 改	善角	きの	実 施	状 沥] 3	医施	済	育	fj 年	F度細	施	策 評 任	西にる	おけ	る~	き後の	方向	9性		
改革	今		細	抗	Ē.	策		評	個		前				細		施		策		評		価	後	
#	後	成	拡	充			2		⑤		7			成田	拡	:	充							ļ	
改善	の	果 …	現状約	推持			3		6	レ	9			果 の	現	状維:	持						レ		
の	方	方向	縮	小			4		8		10			方向	縮	4	小								
方	向	性	休廃	止	1	••••••		•••••						性	休	廃.	止						••••••		
向性	性			_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大	1			_		皆	減	縮	小	玗	状維持	拡	大
•			× + 1	7 14 6	. I de Jede A	コス			入の		向 性		Ļ	_		1107	1		コス				の方		
ACTIO	改革・改	障害者線 現状を終 現技術で	持して	つつ道	正に見	を施し	ていく	。また	、日常	会話種	星度の					しつ	つ適コ	に実	施して	CU	く。また	. E	けられた ₹ 3 常会話和 日知をはか	星度の	
) z)	善 策																								
最終	冬評	価年月	4	成28	年5月2	20日	最終	冬 評	価 責	任者					地域福	祉推	進課	Į				17	内	貢	t

事系	务事業	[名	日常生活用:	具給	付事業	ŧ									事業期間	平成	19	~		年度	整理番号	03010320
担	当 部	署	健康福祉部			地	域福	祉推	進課		福祉	支援保	Ķ.		作成担当	者名	両	角	卓	其	連絡先	316
			プランに 6位置づけ	有	政分	策 体	系		策策	01 03 04		市 下 のなし	章害者(ハ、移)	保健福祉 助しやす	い、その. の充実 い、すべ							
計	予	竺	事 業 名		6.H-X		b H		事業	01	地攻5	上石ス	支援事:	*		스타	コート	* 00	1 ±h	02	话 01 日	02 中米 0E
画	事	<u>···</u> 陈	事 乗 名	身り、	障害 適用	者手は手に	帳及 帳・	障害内	手帳を	とり分し	ナられ	てい	る。一	品目毎に)便宜を図 二補助限度 合付がされ	るため額及び	りに必	要な月	刊具を	給付す	る。品目に	03 事業 05 は多岐にわた 頃の算出は、
			と背景うして)	障害	者が	自立	した	日常生	活を割	む上で	で、日	常生	活用具	は欠くこ	とができ	ない。						
^	目	対	受益者(誰のために)							交付 7 5 交付 7				ち、日常	生活用具	.給付0	2 全校C	となる	る者			
P		象	対象(直接働きかける)							立した												
	的	(どん	意図な状態にしたいか)																			
A			・ 方 法 (やって)		をし		書者(の日常	生活の)便宜	を図る	ため	に障害	者目立支	で機法及び	茅野市	7障害	者地 均	咳生 活	支援第	を例に基づ	き必要な用具
			行政活動の	結果	からこ	くり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	· 目	標値部	定の	考え方など	最終目標値
N	評価	動指	日常生活用。 助を行う	具給	付にあ	5たり	、 #	用の-	一部補	申請作	教			件	申請件		立生》	舌を仮	進す	る目安	にするに	1, 200
)	指標の	標			41		14	I T		11-	1200	7	14	W 11		.	1 / 2/2 _2*		L# /± =:	1. 	+y = - 1 - 4- 14	
	作成	成田	成果	•	効		は		?	指		名	称							–	考え万なと <mark>を送るこ</mark>	最終目標値
	120	果指標	障害者が自	立し	た生活	を送	るこ	とがつ	できる	給付件	数			件	とがで		1-0.	, E	1 <u>1</u> U	二工冶	で区のこ	1, 200

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	lell.		(a)	円	11, 504, 872	11, 879, 114	12, 687, 695	12, 043, 647	17, 804, 000
貝	材	国庫支出	金	円	5, 527, 436	5, 939, 557	4, 379, 895	4, 103, 000	8, 902, 000
	原	県 支 出	金	円	2, 763, 718	2, 969, 778	2, 174, 307	2, 145, 000	5, 081, 000
	内	地方	債	円					
	-	その他特定財	源	円					
	沢	一 般 財	源	円	3, 213, 718	2, 969, 779	6, 133, 493	5, 795, 647	3, 821, 000
施用	職	正規職	員	人	0. 23	0. 23	0. 23	0. 23	0. 23
	Ę	嘱 託 職	員	人					
	-	臨 時 職	員	人	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07
状	数	合	計	人	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
1/	Ż		数		63	65	63	65	70
	3		(b)		1, 110	1, 136	1, 172	1, 200	1, 300
	Ä	単 位 コ ス ト (a)/	(b)	円	10, 365	10, 457	10, 826	10, 036	15, 127
況	Š	受益者負担	額	円					
	Г	市民一人当たりのコス	, ,	円	205. 00	212. 00	227. 00	217. 00	355. 00
			目標	件	450	450	1, 200	1, 250	1, 300
		申請件数	実績	ш	1, 110	1, 136	1, 172	1, 170	
~ □ 8	舌		達成率	%	246. 67	252. 44	97. 67	93. 60	_
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	動		目標	_					
± +	助 指	_	実績	_					
D #	日		達成率	%	_	_	_	_	_
	票		目標	_					
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	件	450	450	1, 200	1, 250	1, 300
Į.	戉	給付件数	実績	#	1, 110	1, 136	1, 172	1, 170	1, 300
5	果		達成率	%	246. 67	252. 44	97. 67	93. 60	100.00
_ į	果指		目標						
t t	票	_	実績	_					
"			達成率	%	_	-	_	_	_
ſi	備								
4	考								

事務	事	業名	常生	活用.	具給·	付事業	ŧ									事	業期	間平	成	19	~	左	F度	整理番号	030103	320
		8署 🖁						す福祉	推進認	!	福	祉支	爰係					当者名		ξ <u>1</u>	4 .	卓	Į.	連絡先	316	
	期				E	標							実	: 稍	į							i	課	題		
疋	第 1 期		間知と			を適宜	 :把握し	、適正	な制		ごとに 努めた		による	管理	を	行い適	正な	事業運						大きく寄与問知してい		
·	第 2 期		問知と 用に努			を適宜	:把握し	、適正	な制		ごとに 努めた		による	管理	を	行い適	正な	事業運						大きく寄与 周知してい		
期ご	第 3 期		問知と 用に努			を適宜	!把握し	、適正	な制		ごとに 努めた		による	管理	<u>を</u>	行い適	正な	事業運						大きく寄与 周知してい		
بر	第 4 期		問知と 用に努			を適宜	!把握し	、適正	な制		ごとに 努めた						正な	事業運	障害 あり る。	者の 、事業	自立:	生活支 容をさ	援に	大きく寄与 周知してい	する事業 〈必要が	であ
Ø,	111.4	<u> </u>	11.22			7 1847	VB 1	±- 1		, ,,		事	中	ā	_	価									•	
-										た問題 の自立				今	成果			充			2		Œ)	7	
										いく必要			,,,,	後	かの		と おおり とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく	持			3		Œ	シレ	9	
														の	方		ì	小			4		(8	3)	10	
理									項(리	攻革・ⅰ	汝善 第	€)		方	向性		廃	止	1							
4	事業	きの継	続実施	に向	けて	予算要	要求して	でゆく。						向				$\overline{}$	皆	減	縮	/]	\ <u>}</u>	見状維持	拡	大
														性										の方	向 性	
															_											
		評価年				年度		.heL		+		±1	Jul					-		.l.eL		445	^	==: /==	· Mal =	_
	初	見 点 画の観		글 1 I	ć 2	当 3	4	性判別	-	有 1)	効 3 l	4	判定	,	1 1	効 2	率	1 4	性业	定	総	合	評価	判	Ē
評		エック	_			•	<u> </u>	4		1 2	-		_	4	+	•		+ -		_	4	i		Α		
価 (C	題																									
н	415		身体障害者手帳及び療育手帳を交付されている者の自立生活には日常。 生活用具の使用は有効であり、「障壁のない、移動しやすい、すべて」																							
E	新年度総合評価判定 A 前年度総合評価判定 A 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 03010319																									
	価																									
)		前	年 度	改	革	· 改	善多	もの	実 施	状儿	7 5	実力	も 済	Ē	前名	年度系	田施	策 評	価に	おけ	る~	き後の	方	向性		
改革	令		細		施		策		評	Ø	5	前				細		施		策		評		価	後	
•	後	成	拡	:	充			2		5		7			成田	拉	7	充								
改業	の	果の	現	状維:	诗			3		6	レ	9			果の	瑪	1状維	持						V		
曹の	方	方向	縮		ıļ١			4		8		110			方向	縮	ì	小								
方	か向	性	休	廃.	Ŀ	1									性	休	、廃	止								
向性					_	皆	減	縮	小	現物	だ維持	拡		-					皆	減	縮	小	. ;	現状維持	拡	大
$\widehat{}$	性		- ALL A	41-		lok ! * ·	コ 7			入の				_	_		-I-	1 h		J 2				の方		•
A C	改革									₫づけり を進めて			である	。 阻 無	害度	有総合の周知	5 支援 口等権	g法のb k底をB	型域生 図り、	古支 適正	後事す な制度	乗に位 変運用	直づを進	けられた₹ めていく。	事来であ る	ა
T	中•				_	•					·												_			
I 0	改																									
N	善																									
O	策																									
最終	終評	価年丿	月日	平月	戊28	年5月2	20日	最	冬評	価 責	任者	者				地域	福祉	推進課·	Ę				1	† 内	武	
																									_	

事務事業名 障害児支援関連事業			事業期間 平成	24	~	年度	整理番号	03010324
担 当 部 署 健康福祉部	地域福祉推進課	福祉支援係	作成担当者名	両 1	角 卓	真	連絡先	316
	Th 生 01	一体(き かをいたまさま	15 20121	/ # 2 4	L Z ± +	- 27 II		-

担:	当部	者	健康福祉部				地項	福代	止推進	眯		穑	祉支	援係		1	F 成担当	首名	両	Ħ	-	. ,	Į.	連絡先	;	316
			プランに 位置づけ	有	政	策	体系	Ŕ <u> </u>	政 施 細 施 事務	策策策	01 03 03 03	第自		現と	害者保	支えあい 健福祉の 加への支	充実	人ら	しく暮	らせ	るま	ちづく	()			
計	予	算	事 業 名	障割	引:	支援	事業	費										会計	+=-	ド	001	款()3]	頁 01 [3 0	3 事業 09
画			· 業 の 概 要 ^{わかりゃすく)}	する障害	別	め、 (者)	事業	所に 家庭	看護にお	師を聞いてが	記置す 介護で	る事	用等にい地	Fに対 合、	して耳 登録が	h成を行い ↑護者宅	ハ、家加(事業所	が護行)に	の負担	軽減	まを図	る。		所受け <i>入</i> を提供す		を拡充
	現 (状ど	と背景うして)	障害 在写	デ児 と生え	(者) 舌を	が支援	家庭する	におこと	いてが が求る	介護で められ	きたしてし	い場へる。	合に	備え、	護師配 必要時	こ安心し	て介	護を依							
•	目	対	受益者	事業	門											期入所									すっ た	≿施設及び
P		象	対象 (直接働きかける)	在年	≣ທ!	身体		児(•						別(者)										
L	的		意図 のな状態にしたいか)	清力 在写	k学	要で	感覚して	機能 生活	訓練 を送	をス れる。	ムース ように	にする	施で	きる)	とび事業所	折が拡力	され	、家庭	【介記	隻の賃	担が	軽減	される		
A			・ 方 法 やって)	登金	孙	養者	(個	人や	民間	団体等	能訓練 等)が あたり	登台	計	者宅	(事業	美所)に さ	おいて、	一時	的に関	門耳	単位で	障害	児(者)を預	かり	リ、介護
			行政活動の	結果	から	つく	りた	<u>:</u> すも	ものは	は何?	拊	i	標	名	称	単 位	算出方	法•	計算式	: · E	目標値	設定	の≉	きえ方な	ど 賑	長終目標値
N	評	活動	清水学園通	所人	数						通所			- apr	, .	人										5
N	価	指標	タイムケア	事業	の利	用回	数				姓へ			回数	(9											1, 500
	標の	,	介護サービ	スを	提供	する	団体	等を	・登録	ける	登録	介護	事業	者数		ヶ所				•	•	•	•			13
	作	战	成果	٠	効	身	₹ (t	何	?	指	i	標	名	称	単 位	算出方	法•	計算式	: · [目標値	設定	の≉	きえ方な	ど 振	と終目標値
		果指	清水学園通	所月	数						通所	月数	ι		_	月								_		60
		標	サービス利	用量							延べケア		時間	数(5	タイム	時間										5, 900

	J	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円	209, 550	76, 400	85, 568	3, 912, 775	4, 966, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円				1, 432, 000	1, 735, 875
		地方	債	田					
	内	その他特定財	源	田					
	訳	一 般 財	源	円	209, 550	76, 400	85, 568	2, 480, 775	3, 230, 125
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
		対象(者)	数		1	1	1		1
	3		(b)		1	1	1	1	
200			(b)	円	209, 550	76, 400	85, 568	3, 912, 775	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	4. 00	1.00	2. 00	70.00	91.00
			目標	人				5	7
<u> </u>		通所人数	実績					1	
	活		達成率	%	_	-		140.00	
	動	延べ事業利用回数(タ	目標					1,500	1, 500
D	指	イムケア)	実績					1, 831	
ט	標		達成率	%	_	-		122. 07	-
	1215	24 AS A Street 49 42 44	目標	ヶ所				13	15
		登録介護事業者数	実績					19	
0			達成率	%	_	_	_	146. 15	-
	_t;	*****	目標	月				60 69	84 84
	成果	通所月数	実績						
)	未比		達成率	%	_	_	_	115. 00 5, 000	100. 00 5, 000
	指標	延べ利用時間数(タイム	目標実績	時間				4, 951	5, 000
	標	ケマ	<u></u> 美領 達成率	%	_	_	_	99. 02	100, 00
	/++-		连队平	9⁄0	_	_	_	99. 02	100.00
	備考								

				見支援 富祉部	関連	事業	地	域福祉	上推進課		福祉	支援係				¥期間 成担≦	-	或 24 両	角	卓真		整理番号 連絡先		10324
	期				E	月 楞	Ē						実	績							果 題			
四	第 1 期	制度	周知。	と適正な	な制度	变運月	月に努め	かる 。		制度周めた。	知と給	付管理	を行い	い適	正な制	度運用	に努	引き続	き、制力	度周知と	適正な	制度運	用に努	める。
半	第 2 期	制度	周知。	と適正な	な制度	变運月	月に努め	かる 。		制度周めた。	知と給	付管理	を行い	\適	正な制	度運用	に努	引き続	き、制度	度周知と	適正な	制度運	用に努	める。
期ご	第 3 期	制度	周知。	と適正な	な制度	变運月	月に努め	かる 。		制度周めた。	知と給	付管理	を行い	\適	正な制	度運用	に努	引き続	き、制度	度周知と	適正な	制度運	用に努	める。
٢	第 4 期	制度	周知。	と適正な	な制力	变運月	月に努め	める 。		制度周めた。	知と給	付管理	を行い	\適	正な制	度運用	に努	引き紡	き、制度	変周知と	適正な	:制度運	用に努	める。
o o											事	中		評	価									
										た問題			化今	, <u>F</u>			充		2)	⑤		7	
管	談当	3児(そ	i) ())	迪 所状	、沈に	۱۰۱۰.	し把握	9 66	ともに制	度の周	和を行う	,	後	5		状維	寺		3)	6	レ	9	
Ħ													σ	, j	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	ıļ١		4)	8		10	
****		;	新年月	隻の実	施計	┢画・	予算要	要求事	項(改	(革・改	(善策)		力力	1	可 生 体		ıŁ (D						
理	事業			けて予									向	"				<u>・</u> 皆	減解	· 小	現	 状維持	拡	大
													性							-		の方	向	
													14							,^	•	. /3		
	_	評価:				4年度																		
	初	•		1 1		当		性		有	効		性	_	4	効	率		生业点	総	合	評価	判	定
評		面の観 エッ		1	2	3	4	判		2	3	4	判3		-	2	3	4	判定 4	1		Α		
し) 車		アを	必要。	とする	障害在宅	児・ ³ 支援(者の受	入れが	くできる	り、家施業であ	設及び	事業所 業の内!	を継続	売し	て支援	してし	く必	要があ	る。	記号の定義 前年度 前年度	と事事の事討総 : 実	の進め方 規模・内 直しが必 の統合、	に改善容・実体・廃	が必要施主体 止の検
			和	•	施		策		評	価		前			細		施		策	評		価	後	
	総合	受入 住み	れる 慣れ に寄	施設及た地域	び事での事業	業所を生活であ	が増え が継続 る。	ることされ	で家庭 「地域を	アが必 介護の 基盤と の街き	負担軽した生	蔵と共 活支援	に、 」の	受み住み	れるが け慣れた 記に寄り	設及地域する	び事業 での生 事業で	所が増 活が網 ある。	えるこ 続され	医療的なとで家庭とで、「地域を	を を基盤	の負担すとしたら	圣滅と 上活支	共に、援」の
c ĸ	評価	継がイて	して	支援し ア事業	てい に対	く。する	利用者	のニー	-ズは高		後在宅	支援を	継続 こと	継タして	もしてす イムケフ	接し 事業 めに	ていく こ対す	る利用	者のニ	であり、 一ズは7 めること	高い。	今後在写	官支援	を継続
)		前	午 6	ま 改	苗	• 7t	7 盖 台	生 の	宝 施	状 況	***	施	済	前	年 庶 纟	田協名	告 証 右	まに お	: H A	今後の	方向	性		
改		נינו	+ /:		施		策	,	評	価		前		13-3	年 没 #		施		策	評		価	後	
革	今	타			元 充	•	來	2	рΤ	<u>тщ</u> (5)		7)		成					*	nT*		للقرا	K	
改	後	成果		見状維持						 				果	TE	、 【状維打					-	La		
善	の	の方						3		6		9 •		の方										
の方	方	向			小			4		8	(10		向	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		<u>ا</u>							
方向:	向	性		木 廃 .	止 	1)		6ch	,1,	TRUN	¢# ++	+++	_	性	- 1 1	廃」		£E:	2 =1	÷ .	TE	JT 6# ++	44-	
性()	性					皆	減 コフ	縮 スト	小 投 .	現状: 入の		拡] 性	大			_		皆 コ		宿 小 ト 投		状維持 D 方	拡向性	大 E
(A O H H O Z)	改革・改善策	援し保健	てい 福祉	く。	スセ	ンター	支援事	業間接	めでは	あるが	今後も	継続し	適正	援し保保	ていく	- Ľ	スセン	等支援	事業間	接的では、対象を	まある	が今後	継続	して支

地域福祉推進課長

内

武

最終評価年月日 平成28年5月20日 最終評価責任者

			成年後見支	爰事:	業										事業其	間	平成	19	~		年度	整	理番号	03010	322
担旨	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	課		福祉支	援係			作成担	当者	名	西	角	卓	其	ì	連絡先	316	3
	おい	ナる	プランに 位置づけ	有		策体	-	政 施 細 施 事務			第3節	現と	害者保社会参	こ支えあ R 健福祉 多加への と	の充実		.6L	く書き							
計	予	算	事 業 名				事業費	-									会計:						01 目	03 事業	
画	事務	多事 ほき	業の概要 ゕ゙゙゚゚゙゚゚ゕ゚゚゚゙゚゙゙ゕ゚゙゚゚゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙	し、にま	成年 Sける	後見 後見	制度の	利用 養務を	を支援 適正に	gするこ こ行うこ	ことに。ことが「	より、 できる	これ 5法人:	らの瞳孔	子者の棒 うきる体	権利担 体制で	雅護を を整備	図るする	ことす	自由的	しょする	5.	また、原	神障害者 战年後見 目も含め	制度
-			と背景うして)	障害	者の	権利	雍護σ	観点	から月	【年後 』	見制度の	の周気	日や利力	用支援が	《急務と	こなっ	ってお	9 .	当事	子や保	護者の	の関い	心も高い	いため。	
	目	対	受益者					の家		宇当事	工者及 7	'\$ 7 0	の家族												
P		象	対象(直接働きかける)	市民	後見	を含	めた法	人後	見活動	かに関す	ンのあ	る法人	.	ma > 1. *											
	的	(どん	意図な状態にしたいか)											図られる											
L A			・ 方 法 やって)	成年料、	=後見 後見	制度の	の利用 の <mark>報</mark> 配	が困 戦等を	難です 補助す	あると ける。	製められ	れる 1	計に対	難なも <i>の</i> して審判 団体等に	りの請求	れこ	要する	費用	、登記	己の嘱	託及で	び申	補助を予請につい	をけなけ いての手	れば 数
			行政活動の	結果:	からつ	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出	方法	き・計	算式	・目	票値部	定の	考え	方など	最終目	標値
N	評	動	成年後見や	権利	雅護に	こ関す	る相	談		件数				件	相談	件数	ţ								5
	価指標	指標																							
)	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出	方法	き・計	算式	・目	票値割	定の	考え	方など	最終目	標値
		果指	市長による	審査	清求					申立作	 数			件	申立	件数	Į.								1
		T482	法人後見に	関す	る研修	多会を	開催	する		研修会	開催舞	女		•											1

	J	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円				50, 000	519, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					260, 000
実	源	県 支 出	金	円					130, 000
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円				50, 000	129, 000
施	職	正規 職	員	人	0. 03	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	· 스					
	数	臨 時 職	員	- -	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
状		合	計	人	0. 04	0. 02	0. 02	0. 02	0. 01
		対象 (者) (表現 (表)	数						
			(b)						
			(b)	円田	_	_	_	_	_
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス	額	円円	_	_		1, 00	11.00
		り氏一人ョたりのコス	目標				5	1.00	11.00
		件数	実績	件	1	0	<u> </u>	0	<u> </u>
$\overline{}$		11 300	達成率	%	100, 00	0, 00	0, 00	0.00	_
	活動指		目標	70	100.00	3. 33	0.00	0.00	
	虭	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	件		1	1	1	1
	成	申立件数	実績			0	0	0	1
	果		達成率	%	_	0.00	0.00	0.00	100.00
)	指	ment the A man bit shi	目標			1	1	1	1
	標	研修会開催数	実績			0	0	1	1 100 00
			達成率	%	-	0.00	0. 00	100.00	100.00
	備								
	考								
	7								

		業名 成年後見支援事 『署 健康福祉部			- 800			事業期間 作成担当			~		整理番号 連絡先		
担当			•	域福祉推進	ith (福祉支援係	b 6±	TF成担当	日白	両 :	角」	卓真		316	
-	期	F	目 標			j	人					誅	題		
四	第 1 期	制度周知と実態把握との連携を図る。	のため、サー	-ビスセンタ	制度周知	と実態把握に	等めた。		7	高齢者と	の連携	携も必要で	きある 。		
	第 2 期	制度周知と実態把握との連携を図る。	のため、サー	-ビスセンタ	一 制度周知	と実態把握に	三努めた。		7	高齢者と	の連携	携も必要で	きある。		
	第 3 期	制度周知と実態把握との連携を図る。	のため、サー	-ビスセンタ	制度周知	と実態把握に	三努めた。		7	高齢者と	の連携	携も必要で	్.		
ع	第 4 期	制度周知と実態把握との連携を図る。	のため、サー	-ビスセンタ	一 制度周知	と実態把握に	三努めた。		7	高齢者と	の連携	携も必要で	きある。		
Ø						事中	評	価							
		年度開始後、約6ヶ人					//	拡 充			2		5	7	
管	制度	度の該当となる事例は	少ないか、手	・釆の軽続に	よ必要である。		後の	現状維持			3		⑥ レ	9	
E.							の方	縮小			4		8	10	
_		新年度の実施計	十画・予算	要求事項((改革・改善	策)	_	休廃止	1)					
理	事業	継続に向けて予算要						PI	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		縮	ds	現状維持	拡大	
							性		E	コ 水		- 1	、の 方	加 入 向 性	
		評価年度	 当年度	1											
		見点 妥	<u>当 </u>	性	有	効 性	ŧ	効	率	性		総合	今 評 価	判定	
評	評価	西の観点 1 2	3 4	判定	1 2	3 4	判定	1 2	3	4 ¥	判定		^		
BI	チ	ェック		4			4				4		A		
		実際の相談は、高齢を強化し、制度周知	諸等とあわ 『等の情報提	せサービス 供を進める	、センターで っことが重要	行われること である。	が多いた	め、サービス	スセン	ターとi	里携	記	計画とおり事 とが適当	業を進めるこ	
価	課													に改善が必要容・実施主体	
												定	の見直しが必	要	
	題														
С															
н		細焼	董 策	評		前		細	旃	策		評		後	
	総	制度周知とともに実			<u> </u>	15-0	制度周	知とともに			める。		IIII		
E	合														
С															
K	評														
K	価														
)		前年度改革	・改善	策の実	施状況	未実が	前年	度細施策	評価	におけ	- る -	今後の方	方向性		
改革	今	細焼	策	評	価	前		細	施	策		評	価	後	
平	後	成 拡 充		2	⑤	7	成	拡 充							
改	。 の	果 現状維持		3	⑥ レ	9	果の	現状維持					V		
香の	方	方 縮 小		4	8	10	方	縮小							
方向		向 性 休廃止	1				 性	休廃止							
向性	向		皆減	縮・		寺 拡 :	<u></u>		뉱	」 減	縮	小	現状維持	拡大	
, H	性		' = :	スト投	入のた	方 向 性			, -		スト	· 投 入	、の 方	向 性	
AC	改	サービスセンターと したい。	:連携する中	で、高齢者	「と一体的に」	取り組むこと	: と サービ したい	スセンター	と連	きする中	で、	高齢者と-	一体的に取り	J組むことと	
CT	革	<i>51</i> 20%					U/EU	•							
I	· 改														
0 Z	善善														
	策														
最終	* 評	価年月日 平成28	年5月20日	最終 11	平価 責 任	者	-	地域福祉推進	排柜				竹 内	武	
4X 11	- HI		1 07720 H	T-	, ,m, ,-c, IL	-	- 1		- HAT TX				14 63	-	

事剂	务事等	Ě名	希望の旅事	業											事業期間	平成	Ž	~		年度	整理番号	03010330
担	当 部	署	健康福祉部			Ħ	域福	祉推進	性課		福祉3	支援係			作成担当	者名	両	角	卓	真	連絡先	316
			プ ラ ン に o 位置 づ け	有	政策	策 体	系	政 施 細 が 事務		03		市 降	害者保	保健福祉		人らし	ノ暮り	らせる	まちて	さくり		
計	予	算	事 業 名	地均	姓活	支援	事業	古費								会計	コート	: 00	款	03	項 01 目	03 事業 10
画	事為	务 事	* 業の概要 わかりやすく)		を を を 交			その家	族を対	象とし	ンた交	流事	集とし	て、茅野	市社会福	祉協	養会が	実施し	してい	る「希		業に対し補
			と背景うして)	重月	での在	宅障:	書者(は、身	体状沉	等から	閉じ	こもり	りがち	となり女	流の機会	を得し	こくい	ため。				
	目	対	受益者		を で で で で で で で で で で で で で で で で り で り			びその	家族													
P		象	対象 (直接働きかける)						14.16.4	198 4 99			-t-11				<u> </u>	Ida A	- /B =			
	的	(どん	意図 のな状態にしたいか)						族が支	援を党	とけな	がら、	家族	同士・当	i事者同士	と交	荒する	機会で	を得る	•		
L A			・方 法	茅里	萨市社	会福	祉協	養会														
			行政活動の	結果	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	计算式	・目标	票值設	定のネ	きえ方など	最終目標値
N		活動指標	希望の旅を	実施	する					開催回	数			<u> </u>								1
J	指標の	標	成果		効	果	は	石	?	指	標	名	称	出	省山士	注.=	计質式	. B+	西估訊	守のき	とうせかじ	最終目標値
	作成	成果指!	成 未 重度在宅障 参加する							参加人		11	بابلا	人	界山刀	<i>1</i> 4	11 异式	- 11	示阻認	AE 0)4	3 N /J /4 C	30
		標																				

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
			(a)	円	160, 000	160, 000	160, 000	160, 000	160, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
44	訳	一 般 財	源	円	160, 000	160, 000	160, 000	160, 000	160, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	Ż		数	ᄉ	30	30	30	30	30
			(b)	人	30	30	30	28	
			(b)	円	5, 333	5, 333	5, 333	5, 714	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	3. 00	3. 00	3.00	3. 00	4. 00
		00 At 40	目標		1	1			1
		開催回数	実績		1	1	1	1	
	活		達成率	%	100. 00	100. 00	100.00	100. 00	_
	動指		目標						
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	-	_
	1775		目標						
		_	実績						
	Ш		達成率	%	_	_	_	_	_
0	ct;	About 1 Wh	目標	人	30	30	30	30	30 30
	成	参加人数	実績		39	23	34	28	
	果指		達成率	%	130. 00	76. 67	113. 33	93. 33	100.00
\cup	扫		目標	_					
	標	_	実績	%		_	_	_	_
	\vdash		達成率	% 0	_	-	_	_	
	備								
	考								
	7								

対					D旅事 冨祉部	業		地	域福祉	:推進課		福神	业支援的	系					間 平 当者名			~ §	卓	年度	整理番号	0301033 316	30
1 制度開始と制度の適正な運用に努める。 制度開始と制度の適正な運用に努めた。 制度関係を制度関かと制度の運用に対し、関係を制度関値に対し、関係を制度関値に対し、関係を制度関値に対し、関係を制度の関値に関値のあり、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、		期				-	目標	臣						実	績									課	題		
2 例復開知と制度の適正な運用に努める。 制度開知と制度の適正な運用に努めた。 制度開知と制度の適正な運用に努めた。 制度開知と制度の適正な運用に努めた。 制度開知と制度の適正な運用に努めた。 制度開始と制度の適正な運用に努めた。 制度開始と制度の適正な運用に努めた。 ・	四	1	制度	周知。	上制度	の適	正な道	里用に多	そめる.	•	制度》	割知と	制度の記	適正な	這	用に	:努めか	ŧ.			続き 、	制品	医周知	に制度	度の適正な	運用に努め	b
第 制度周知と制度の適正な運用に努める。 制度周知と制度の適正な運用に努める。 制度周知と制度の適正な運用に努める。 制度周知と制度の適正な運用に努める。 地域の通正な運用に努める。 地域の高正な運用に努める。 地域の一般に対して、 地域の一般に対し、 地域の一般に対し、 地域の一般に対し、 地域の一般に対し、 地域の一般に対し、 地域の一般に対し、 地域の一般に対し、		2	制度	周知。	と制度	の適	正な道	里用に多	界める 。	,	制度	制知と	制度の	適正な	運	用に	:努め†	Ŀ.			続き.	制品	医周知	に制度	度の適正な	運用に努め	b
4 財 実権報告と申請により権助金を支払う。 おいましたの実験報告及び申請により補助金を支払う。		3	制度	周知。	と制度	の適	正な道	夏用に 勢	らめる。	•	制度》	割知と何	制度の	適正な	運	用に	:努めか	t.			続き 、	制度	医周知	のと制度	度の適正な	運用に努め	b
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 事業の実施日理等確認する。 ② ③ ③ ③ ⑤ ② ③ ⑤ ② ⑤ ② ⑤ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	بر	4								•	社協	からの	実績報信	告及び	が申	請に	より有		を支	引き る。	続き、	制品	度周知	に制度	度の適正な	運用に努め	b
事業の実施日職等確認する。 後 切 水 次 次 次 次 次 次 次 次 次	၈													•	a												
### 1								全過し、	新た	に生じ	た問題	点や現	東境の変) 定化	今		拡	3	充			2) 	(5)	7	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	管	~ 7	.~.	.wes ₩ '	12E A3, 16	. 10U 7	. ••								後	の	現	状維持	持			3)	(6 レ	9	
新年度の実施計画・予算要求単項(改革・改善策) 方向性 体 廃止 ①															の		縮	,	小			4)	(8	10	
中価年度 当年度 当年度 現	理					—			要求事	項(改	「革・革	收善策	<u>;</u>)		方		休	廃」	止(1							
評価年度 当年度 現点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判定 子ェック 4 4 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 4 4 4 4 4 4 4 4 4	_	事業	美継続		けて予	算要	状して	てゆく。							向					皆	減	綵	3	小	現状維持	拡	大
提点															性		/			⊐	ス	ŀ	、投	と入	の方	向 性	
提点			Sir for A					-	1							_											
デェック 4 判定 1 2 3 4 判定 2 3 4 4 A A A A A A 3 3 4 2 <th< th=""><th></th><th>_</th><th></th><th></th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th></th><th>性</th><th></th><th>有</th><th></th><th>ợh</th><th>性</th><th></th><th></th><th></th><th>ōh</th><th>來</th><th></th><th>性</th><th></th><th>£</th><th>公 合</th><th>: 評 征</th><th>5 判 定</th><th>_</th></th<>		_			<u> </u>				性		有		ợh	性				ōh	來		性		£	公 合	: 評 征	5 判 定	_
### 2	_				1			•		定 1					判定		1		•			定	1			4 13 A	_
方について、事業主体である社会福祉協議会と協議検討をしてゆく必要がある。また、選賞の形態によっては、国・県の補助事業(自発的活動支援事業)となる可能性があるため、情報収集とともに社協との協議を続ける必要がある。 2	評	チ	ェッ	ク					4						4							4			Α		
記			重度	在宅	で書者で	の外	出の	機会は	貴重で	あり今日は	後も報	を を を を は な い る り る り り り り り り り り り り り り り り り り	施が必要 をして に	要であ	ある。	が、	事業	参加者 また	の自	己負担の形	担のは	59	記			事業を進める	5 C
	価	課	ては	, 🖪	県の	補助	事業	(自発	的活動	支援事	業) と	なる	可能性	がある	た	め、	情報	収集と	: ĒĒ	に社	品との	協					
翻 施 策 評 (濃を	続け・	る必要	መ መ	ა გ.																定	σ)見直しが。	必要	
和 施 策 評 価 前 和 施 策 評 価 後 自己負担と補助のパランスについて、社会福祉協議会と協議してゆく。		題																						Ē	が必要		J 19
細 施 策 評 価 前 細 施 策 評 価 後 自己負担と補助のパランスについて、社会福祉協議会と協議してゆく。	С																										304
自己負担と補助のパランスについて、社会福祉協議会と協議してゆく。	н			紐	1	拼	Ē.	策		評	征	5	前				細		施		策						JU-
		総							いて、					てゆ				補助		ンス		いて			協議会と		þ

事系	务事等		家庭介護者	マッ	サーシ	ジ等給	付事	業							事業期間	平成	Ž	~		年度	整理番号	9 03010328
担	当 部	署	健康福祉部			地	域福	祉推进	進課		福祉支	を援係			作成担当	4者名	両	角	卓	其	連絡先	316
乱	おり	ナる	プランに位置づけ	有		策体	-	事務	策 策 海 第 事業	03 04		市 障 りない	害者保	健福祉	い、その の充実 い、すべ	ての人	、に快道	直なま	きづく	(1)		
計	予	算	事 業 名			支援				- 11- 11- 4	h m! _b.				- Pale rate or		· – – I					03 事業 10
画	事	務事	· 業の概要 _{ロかりやすく)}	げる	らため	、市技	営温見	表施設	の入落	・施術する ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	と付し	、並び	ゾにあん	ん摩、マ	で障害する。	が、指	単書児王、は	を常り及び	寺介護 ゾきゆ	してい	Vる介護者 歯術に係る	の疲労を和ら 施術費を助成
			と 背 景うして)	介證	養者の	慰労の	のたと	b														
^	目	対	受益者							介護者		的障量	即多	(癖育王	·帳A1所排	+老) !	堂時介	難! 7	ている。	か 難き	*	
P		象	対象(直接働きかける)						(17) 14T E	- 20	R V J AH	H 3 beke E	37678	(7)K FI T	**************************************	ormal/	T 10 to 10	ng C	C 0 10	JI DET	-	
	的	(どん	意図な状態にしたいか)			労を																
L A			・ 方 法 やって)			申請(して3			を決定	፤ し、 <i>)</i>	、浴券	につい	いては	年間12秒	(、家庭)	下護者 [。]	マッ サ	ージ	停施術 :	費助反	でがいい	ては年間6枚
			行政活動の	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・詩	计算式	・目	票值設	定の	考え方なる	上 最終目標値
N		活動指	家庭介護者	マッ	サーミ	ジ事業	利用	者数		利用者	数			人								5
	価指標の	標																				
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・詞	计算式	· 目	票值設	定の	考え方なる	最終目標値
	成	果指	マッサージ	券利	用回數	枚				利用回	数			o								30
		標																				

	J	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円		11, 000	18, 500	13, 500	24, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円		11, 000	18, 500	13, 500	24, 000
施	職	正規職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人					
1/4		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	ī	市民一人当たりのコス		円	_	0.00	0.00	0.00	0.00
			目標	人		5	5	5	5
		利用者数	実績			2	4	2	
	活		達成率	%	_	40. 00	80. 00	40. 00	_
	動指		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	-	_
	ाक		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0		T-1	目標			30	30	20	20
	成	利用回数	実績			11	10	6	10
	果指		達成率	%	_	36. 67	33. 33	30.00	50.00
)	扫		目標	_					
	標	_	実績達成率	%	_	_	_	_	_
			连队平	9⁄0	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	ŗ								

事務	事	業名	家庭介	護者	マッ	サーシ	等給付	寸事業								事	業期	間平	成		~		年月	度 整	理番号	0301	0328
担:	当部	『署	健康福	祉部	ı		地址	す福祉	推進課		福	祉支	爰係			作	成担	当者名	i	両:	角	卓	真	連	絡先	3	16
	期	目標 実績																			課題						
四	第 1 期	制度	周知と	:制度	の適	正な遺	開に勢	がる。		制度	周知と	:制度(の適正	な運	3 選用に努めた。 引き続き、制度周知と制度の適正なる。							運用に	努め				
	第 2 期	制度	周知と	:制度	の適	正な遺	用に勢	がる。	,	制度	周知と	:制度(の適正	な運	な運用に努めた。 引き続き、制度周知と制度 る。							度のi	きの適正な運用に努め				
期ご	第 3 期	制度	周知と	:制度	の適	正な運	【用に勢	がる。	•	制度	周知と	:制度(の適正	Eな運用に努めた。 引き続き、制度周知と制度の適正なる。								運用に	努め				
٤	第 4 期	制度周知と制度の適正な運用に努める。制度周知と制度の適正な過														は運用に努めた。 引き続き、制度周知と制度の適 る。							直正な	運用に	努め		
Ø												事	中	ř	_	価											
		年度原 こなし	討始後	、約	6ヶ.	月が経	過し、	新た	に生じ	た問題	点や	塓境 0)変化	今	成果	拉		充			2)		⑤		7	
管	1414													後	の) 坊	と おおり とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく とく	持			3)		6	レ	9	
_														の	方		ì	小			4)		8		10	
188								東求事	項(改	び革・i	改善領	(長)		方	向性		廃	止	1								
理	事業	性継 制	に向い	ナで予	算要	求して	ゆく							向					皆	減	新		小	現状	維持	拡	大
														性			/		_ =				- 1	しの		向,	
														-	_												-
	_	評価:				4年度		<u> </u>																			
	初			1	妥っ	当		性	5 1	有	<u> </u>	効	性		,	1 1	効	率 3		性	ے ان	i	総	合 i	平価	判	定
評		西の権 エッ		1	2	3	4	判3		2		3	4	判定 4	+	'	2	3	4	+	判定 4	1			Α		
			-	-体的	に行	ってし	 		 る。実	際の3	を付窓	ロは1	<u> </u>		セ:	ンター	でる	ため、	連携	を密に	- 5	=-	A :			業を進	めるこ
_						要では																記号		とが遊 事業の		に改善	が必要
価	課																					の	C :	事業規		容・実	
~																						定義	D:	事業σ	統合、	休・廃	止の検
С	題																					前		<u>討が必</u> 総合語	<u>>安</u> F価判定	Ē	Α
																				前年度評				平価シート整理番号 03010336			
Н	4 /2	A =44	細		挽		策		評	ſ		前				細		施		策		ř		個		後	
E	総		者の労		ぎら	い福祉	止の向.	上を図	るため)[=, 4	う後も	事業(り継続			者の労		きらし	八福礼	上の同	上を	図る	ため	IC. 4	後も	事業の	継続が
	合																										
С	評																										
ĸ																											
)	価	**	年 度	∓ ⊐h	革	- 3h	善等	<u>+</u> Λ	実 施	14: 3		実力	も 済	_		工 庄 纟	m t/c	策 評	無 1-	+> 1+	- z	△ ½	<u> </u>	1	/-		
ah-		BU						R U						į į.	I] ±				川 「		ି ଏ					14	
改革	今		細		施	<u> </u>	策	<u> </u>	評	fi	Щ	前				細		施		策		ř	Ť	佃	ı	後	
-	後	成果	拉		充			2		⑤		7			成果	拉		充									
改善	の	の		状維	疛			3		6	レ	9			の		1状維	持							レ 		
9	方	方向	絲	Ē.	小			4		8		10			方向	絲	3	小									
方向	向	性		ト廃	止	1									性	(/	廃	止									
性	性				_	皆	減	縮	小		大維持 			ξ					皆	減 			小			拡	大
Â		対多	者にす	11.7	* * *	に用4	コ <i>フ</i> (1して)		坟 .	入の	カ	问]生	4	9	者にす	11.7	: t 61	こ用名	コニ			ダ ノ	(0)	力	向 性	
C	改革		^			yang A									-		(-,-,,		•	•					
T	•																										
0	改																										
Ŋ	善策																										
	朿																										
最終	冬評	価年	月日	平	成28	年5月2	20日	最系	冬評	価 責	任者	香				地域	福祉技	推進課	長					竹	内	Ī	t

事系	8事第	美名	訪問入浴サー	ーピ	ス事	集									事業期	間平	成 1	} ~		年度	整理番	号	03010321
担:	当 部	署	健康福祉部			į	也域福	祉推	進課		福祉	支援係	Ŕ		作成担	当者名	西	角	卓	其	連絡	先	316
計	おり	ナる	プランに 位置づけ 事 業 名	有		策体			策 策 策 事 業	01 03 03 03		節を実現と	宇者	に支えあ 保健福祉 参加への 業	の充実		しく暮				項 01	В	03 事業 06
-	ア	昇	争 未 石	家庭	重にお	いて	入浴:	するこ	とが	困難な	寝たき	りの	身体障	害者等に	対し、	訪問刀	<u>浴サ</u> -						の福祉の向
画	事	務事	業の概要 わかりやすく)											·図ること									
			と背景うして)							困難な	障害者	に入	浴の機	会を提供	けるこ	とにも	ちり福祉	上の向	上を	₫る。			
(目	対	受益者			障害者及びその家族 いて入浴することが困難な寝たきりの身体障害者																	
P		象	対象 (直接働きかける)																				
	的	(どん	意図 は状態にしたいか)				『者が入浴の機会を得ることにより、当事者の日常生活の向上と家族負担の軽減が図られる。 『孝が対象者の自宅を訪問し、浴槽を提供して、入浴及び洗髪、血圧、脈拍及び体温の測定、健康相談、健康に																
L 4			・ 方 法 やって)	あに	八名	事業)助言	等の	対象者	スを	毛を訪 実施す	問し、 る。	浴福	を提供	にて、ノ	、浴及び	洗髮、	皿圧、	脈扭	及び作	本温の流	則定、健	康和	談、健康に
			行政活動の	結果	からつ	つくり	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出力	方法・	計算되	せ・目	標値	設定の	考え方な	ئے:	最終目標値
N		活動指	訪問入浴サー	-Ľ	ス提信	共事業	美所数			事業	業所数			箇所									2
	指標の	標																					
	作成	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出力	方法・	計算記	†・目	標値	設定の	考え方な	こど	最終目標値
	八	果指標	訪問入浴サー	-Ľ	ス利用	刊人 赞	<u>V</u>			利用	人数			人									5
		小不																					

	Į	頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円			1, 231, 677	3, 273, 802	3, 996, 000
	財	国庫支出	金	円			418, 769	1, 129, 000	1, 998, 000
実		県 支 出	金	円			210, 308	565, 000	999, 000
~	源	県 支 出 地 方	債	円					777,
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一般財	源	円			602, 600	1, 579, 802	999, 000
施	職	正 規 職	員	人		0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人		0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
1/	Ż		数						
			(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況	5		額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	_	22. 00	59. 00	73. 00
			目標	箇所		2	2	2	2
		事業所数	実績			2	2	2	
	活		達成率	%	_	100.00	100.00	100.00	-
	動		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	-	_		_	_
	1214		目標	_					
			実績達成率	0/		_		_	_
				%	_	5			- 6
0	成	利用人数	目標 実績	人		0	<u>5</u>	5 5	6
	鱼	が用人数	達成率	%	_	0.00	80.00	100, 00	100. 00
	果指		目標	70	_	0.00	00.00	100.00	100.00
	標	_	実績	_					
	尓		達成率	%	_	_	_	_	_
			~_,~~	, 0					
	備								
	考								

			が を を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ス事業		支福祉推	· A # ###	1	福祉支				事業期[F成担]	間 平	_			年度	整理番号 連絡先	316	
		有	上床、竹田工工口			ASA	X THE TALL THE	. 连床		田址又			1	- 火担 :	3111	IMI		_			310	
	期			E	標						実	績							課	題		
四	第 1 期		問知と実施 携を図る		のため	、サー	ビスセン		制度周知になるよう							引き線を図る		トービ	スセンタ	ターと連携し	て制度周	知
•	第 2 期		問知と実施 連携を図る		のため	、サー	ビスセン	ター 1	制度周知							引き続を図る		├ ─ 년:	スセンタ	ターと連携し	て制度周	知
	第 3 期		問知と実施 連携を図る		のため	、サー	ビスセン							ーに対して該当 引き続き、サービスセンターと連携して制度周知 核頼した。								知
٤	第 4 期		問知と実態 連携を図る		のため	、サー	ビスセン		制度周知							引き組を図る		H—년:	スセンタ	ターと連携し	て制度周	知
o o										事	中	評	価									
			始後、約										戈 抗		充		(2		5	7	_
管			ロにより、 の確保が				・学後は	制度店	がととも	にザー		,, 	₹	状維			(3		⑥ レ	9	
E													· · ·	₹	/h			4)		8	10	
		刘	「年度の	宇体計	- 画	3 質 亜	少車佰	(水吉	1. 心盖	(金)		1	j	-		<u> </u>		<u> </u>		•	100	
理	事業	*************************************	こ向けて	予算要	求して	ァ チェ ゆく。	小子供	. (4)	F W =	· 水/			生 付	· 廃 .		D						
												向		/		皆	減	縮		現状維持	•	大
												性	/			⊐	ス	 	投入	、の方	向 性	Ξ
	Ī	評価年	度	뵐	当年度																	
	裑	見点		妥	当	'	性		有	11 11					率	!=			総合	合評 個	五判第	定
¥	評価	面の観	点 1	2	3	4	判定	1	2	3	4 <u>-</u>	判定	1	2	3	4	判別	Ē		Α		
	チ	エック					4	<u> </u>		4 4 4 4 4 4 4 4 4 4							4			計画どおり	= W SV I	
価(C	課題																	_ <u> </u>	B: C: D: f年度網	とが適当 事業の進めた 事業規模・Fの見直しが。 事業の統合、 計が必要 総合評価判 版シート整理	内容・実施 必要 休・廃止 定 A	主体 の検
Н	~~		細	挽		策		Ŧ	価	前			紐		施		策		评	価	後	
E	総																			ある。現在 皆が増える		
	合	れるか	とめ、サ	当数が	提供事	業所の	の確保が	必要で	である。	⊕	かっちんり									である。	C C 10-45	~ 5
C																						
ĸ	評																					
_	価																					
<u> </u>			左 由 3	革	74-	盖 绀	<u>₹</u>	: 施 :	状 況	実	施済	前	年度:	细饰台	衰 評 化	而 に ま	s ける	今台	後のた	ī 向 性		
-L		刖:	年度改	(半	• CX	口 7	. 0, 5	-					1 /2 .	四川巴ン		ш 1- 0						
	今	別:	年 段 5	施		策			価	育	j		細		施		策		评	価	後	
	今丝	成						Ŧ	価 ⑤	i 7		成	紐			ш 1 — 0			评		後	
革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後	成果	細 拡	施			2	Ŧ.	5	7		成果	和	<u> </u>	施	<u>ш , </u>			评		後	
革・改善	後 の	成果の	拡現状統	施 充 维持			2 3	4	5 6 \(\nu	7 • 9)	成	却	大 記状維持	施 充	<u> </u>			评	価	後	
革・改善の	後	成果の方向	知 拡 現状紅 縮	施 充 维持 小			2	4	5	7)	成果の方向	組 力 到	】 見状維持	施 充 守				Ŧ	価	後	
革・改善の方向	後 の	成果の方	拡現状統	施 充 维持 小	1	策	2 3 4	4	5 6 \(\nu\)	7 9 10		成果の方向性	組 力 到	大 記状維持	施 充 守		策	1		価レ		
革・改善の方向	後の方	成果の方向	細 拡 現状網	施 充 维持 小	① 皆	策	② ③ ④	平	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持	⑦ ⑨ ⑩	大	成果の方向性	組 力 到	】 見状維持	施 充 守	皆	策	縮	小	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	拡	大
革・改善の方向性(後の方向性	成果の方向性	掘 拡 現状系 縮 休 廃	充排持小止	① 皆	瀬 コ ス	② ③ ④ 縮ト	平	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持 の 方	⑦ ⑩ 持 抗 方向	太 大性	成果の方向性	### ### ### ##########################	大 語 記状維持 諸 旅	施 充 寸	皆 =	策 減 ス	縮卜	小投入	価レ レ 現状維持 の 方	拡向性	
改革・改善の方向性(AC	後の方向性改	成果の方向性実際の	細 拡 現状網	焼充維持・小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i ① 皆	瀬 コ ス	② ③ ④ 縮ト	平	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持 の 方	⑦ ⑩ 持 抗 方向	太 大性	成果の方向性	### ### ### ##########################	見状維持 廃 」	施充・持・小・止・このし	皆 =	策 減 ス	縮卜	小投入	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	拡向性	
革・改善の方向性(ACT	後の方向性	成果の方向性実際の	細 拡 現状系 縮 体 廃	焼充維持・小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i ① 皆	瀬 コ ス	② ③ ④ 縮ト	平	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持 の 方	⑦ ⑩ 持 抗 方向	太 大性	成果の方向性	和却がある。	見状維持 廃 」	施充・持・小・止・このし	皆 =	策 減 ス	縮卜	小投入	価レ レ 現状維持 の 方	拡向性	
革・改善の方向性(ACTI	後の方向性改	成果の方向性実際の	細 拡 現状系 縮 体 廃	焼充維持・小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i ① 皆	瀬 コ ス	② ③ ④ 縮ト	平	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持 の 方	⑦ ⑩ 持 抗 方向	太 大性	成果の方向性	和却がある。	見状維持 廃 」	施充・持・小・止・このし	皆 =	策 減 ス	縮卜	小投入	価レ レ 現状維持 の 方	拡向性	
革・改善の方向性(ACT	後の方向性 改革・改善	成果の方向性実際の	細 拡 現状系 縮 体 廃	焼充維持・小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i ① 皆	瀬 コ ス	② ③ ④ 縮ト	平	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持 の 方	⑦ ⑩ 持 抗 方向	太 大性	成果の方向性	和却がある。	見状維持 廃 」	施充・持・小・止・このし	皆 =	策 減 ス	縮卜	小投入	価レ レ 現状維持 の 方	拡向性	
革・改善の方向性(ACTIO	後の方向性改革・改	成果の方向性実際の	細 拡 現状系 縮 体 廃	焼充維持・小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i ① 皆	瀬 コ ス	② ③ ④ 縮ト	平	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持 の 方	⑦ ⑩ 持 抗 方向	太 大性	成果の方向性	和却がある。	見状維持 廃 」	施充・持・小・止・このし	皆 =	策 減 ス	縮卜	小投入	価レ レ 現状維持 の 方	拡向性	
直・女争の与句生(入こ「「つ」)	後の方向性 改革・改善策	成果の方向性実際の	加加拡張を表現しています。	充井・小・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	i ① 皆	策 減 コ <i>ス</i>	記 ② ③ ④ 縮 ト ごスセン	ザ	5 ⑥ レ ⑧ 現状維持 の 方	⑦ ⑨ ⑩ 持 向 を進め	太 大性	成果の方向性	和力をの制度の別度の別	見状維持 廃 」	施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皆 = \ては !	策 減 ス	縮卜	小投入	価レ レ 現状維持 の 方	拡向性と	

事務	事第	(名	更生訓練・見	就職	支度金	事業									事業:	期間	平成		~		年周	を	理番号	03010329
担当	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推	進課		福祉	支援係			作成	担当者	皆名	西	角	卓	其	į	車絡先	316
			プランに 位置づけ	有	政策	策体	系		策 策 策 策 策 業	01 03 04 01		節 阵 のない	害者仍	こ支えあ 保健福祉 助しやす 戦	の充実	Ę						J		
計	予	算	事 業 名	地均	女生活	支援	事業										会計	コート	÷ 00	1 款	03	項	01 目	03 事業 10
画	事和	多事 湯にす	· 業の概要 ⁽ かりゃすく)	復州帰の	の促	進を図	図るこ	ことを	目的と	とする。 する。	また	、就	戦等に	より自立	ばする	もの	に対し	ノ、就	職支	女金を	支給	するこ	ことに。	より、社会
			と 背 景うして)		gでの gられ			の充実	EIC &	り障害:	首の目	亚更5	王が図	られるだ	:ഗ	また	、就堆	支皮	金を:	文裕す	るこ	とに。	ドり社会	を復帰の促進
•	目	対	受益者						いる障害		+ TT (1	-13	7 44	++ 1+	+4+ =n.	<i>(</i> - 7 :	-		-15	7 10	-h mis	₩ (4.5	5 illi 1 -	. 八世歌之语
	的	象		所又	ては措	置解	除とな	よっt:	さ者。															にり施設を退 足進が図る。
Р	-,	(どん	意図な状態にしたいか)																					
L			・ 方 法 やって)	申請	をし	た障 1	書者								_									
			行政活動の網	結果	からつ	こくり	だす	もの	は何?	指	標	名	称	単位	算出	出方法	去・計	算式	· 目	標値記	段定の	考え	方など	最終目標値
Α	評	活動指	事業申請者	数						申請	對数			Y										2
N		標																						
J	作成	成	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算上	出方》	去・計	算式	・目	摽値訵	没定の	考え	方など	最終目標値
		果指標	助成訓練日	数						訓練日	数			B										10

		目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
		(a)	円					25, 000
	··	金 金	円円					
実		債	円					
	りその他特定財	源	円					
	R	源	円					25, 000
施用	_雜 正規職	員	人					,
	属 託 職	員	人					
		員	人					
状	⊔	計	人					
		数						
_		(b) (b)	円		_	_	_	_
況		額	円		_		_	
	市民一人当たりのコス		円	_	_	_	_	0. 00
		目標			2	2	2	2
	申請者数	実績	ᄉ		0	0	0	
7	舌	達成率	%	_	0. 00	0. 00	0. 00	-
重	5 h	目標	_					
±	<u>د</u>	実績	2.					
D t		達成率	%	_	-	_	_	_
		目標 実績	_					
		達成率	%	_	_		_	_
0		目標			10	10	10	5
J.	或 <mark>訓練日数</mark>	実績	H		0	0	0	5
5		達成率	%	_	0.00	0.00	0.00	100.00
Ť	旨	目標	-					
村		実績						
		達成率	%	_	_		_	_
	備							
	考							

				・就職	支度金											業期間			^			_	整理番号		010329
担	当 部	署に	康福祉	部		地均	植福祉推	進課		福祉	上支援	係			作	成担	当者名	両	角		Į		連絡先		316
	期				目標							実	績	į							1	果!	題		
四	第 1 期	制度周	知と対	象者の	把握に	努める	•		該当者	皆なし。								引き網	売き制	度周	知と対	象者	か把握に	:努め	ა .
半期	第 2 期	制度周	知と対	象者の	把握に	努める	•		該当者	きなし。								引き	売き制	度周	知と対	象者	で把握に	:努め	る 。
# :	第 3 期	制度周	知と対	象者の	把握に	努める	•		該当者	いなし。								引き	売き制	度周	知と対	象者	の把握に	:努め	る 。
۲	第 4 期	制度周	知と対	象者の	把握に	努める	•		該当者	いなし。								引き	売き制	度周	知と対	象者	の把握に	:努め	ა .
Ø										事	Į.	中	評	F	価										
	_			約6ヶ				生じ	た問題	点や環	境の	今	成	拡		充			2		(5)	7		
	該当	者がい	ないた	:め、予	算執行	はない		′	果	TB	,状維	ι Ι±		<u> </u> -			·······		· j						
管									後	の方						3	<u></u>	6		9					
		4~			. —		. 15	- /-!		1 24 14			の	向			小 			4		8)	100	
理	車型			フ 実施記 で 予算要			:	(改	単・4	女善 策)		方	性	休	. 廃 .	止 (\mathfrak{D}							
	77	- 442.4561	-1-217	· 1 31 9		.,,							向					皆	減	縮	小	玗	秋維持	拡	大
													性		/			⊐	ス	۲	投	入	の 方	向	性
			_							_															
		評価年	英		当年度		,dL				L.	Jul				+ 1	+		.heL		613	^	=a: /a:	· Mai	<u> </u>
	初	見 点	5 1	妥 2	当	4	生 判定	1	<u>有</u>		<u></u>) 4	性	定	-	1	効 2	<u>率</u>	4	性 判:	÷	総	合	評価	判	定
評		エック	74		3	4 V	3	+-'		3			引 <u>た</u> 4	+	1		3	ا ل	+1J.	_			В		
価(CH	課題	ここ数	年予算 生訓紀	の執行 東につい	がなく いては平	、平 _月 成28年	艾26年 原 F 度 から	就職支事業が	業に対税措	ついて 置の事	は業	国・	い見のなって	補助か いる。	「廃止	となっ	てい		記号の定義 BC D	と事事の事討総	画が業業 売業が 高力 が が が の規直の必 が の が の が の が の が の が の の が の の の の の の の の の の の の の	i に改 i 容・i i 要 i 休・ii 定	善が必要 実施主体 廃止の検 B		
Е	総		細	拼	፱	策	į	抨	価	i	前				細		施		策		評		価	後	
С	合	就職支	度金	業につ	いては	、市	事業と	こして	廃止の	対象に	こすべ	きか、	就	職	支度金	事業	こつし	ては、	市の	事業	として	廃」	上の対象	こすべ	きか、
K)	評価		た場合	改善を考慮	【し予算		しておく	必要) •	とは、		が	あ	った場	合を	考慮し	.予算	昔置し	てま	・後の	更がる		Cit.	談当有
改			細									· · · ·			細		施		策					後	
改革	今	<u> </u>			<u>u</u>	策		評	価		前					. ,	. 1		來		評	1	価	1夜	
•	後	成 果	拡	充			2		⑤		7			成 果	拉		在								
改善	の	の	現状	維持			3	レ	6		9		(の	瑪	! 状維!	寺				レ				
	方	方向	縮	小			4		8		10			方向	縮	4	J\								
の方向性	向	性	休」	廃 止	1									性	休	· 廃 」	Ŀ								
	性	_		_	皆	減	縮	小	:	維持	拡	大						皆	減	縮	小		見状維持	拡	大
Â				e an er	1 # A *	コス			人の		向 性		Ļ	_		44- =n -	61 Em 24	=		۲				向	
(CFFGZ)	改革・改善策	予算執	行がな いる。	を設利用 よく、特 市とし	計に就職	支度的	事業に	こつい	ては国	・県神	前助が	廃止と	予な	算って	執行が	なく、	、特に	就職	友度金	事業	まにつし	ハては	度である 7 は国・県 合を考慮□	甫助カ	(廃止と
最終		価年月	日	平成28	年5月2	20日	最 終	評(西責	任 者					地域社	富祉推	進課-	Ę.				竹	「 内		武

事務	事事	[名	配食サービ	ス事:	業										事業期間	平成	Ì	~		年度	整理	番号	03010326
担:	当部	署	健康福祉部			;	也域福	祉推進	性課		福祉	支援係	Ŕ .		作成担当	者名	両	角	卓	其	連絡	先	316
	市	民	プランに	有	政组	₩ <i>H</i>	- v:	政 施	策	01 03	第1 第3			支えあ 健福祉	い、その の充実	人らし	く暮	らせる	まち	づくり			
	おし	ナる	位置づけ	Ħ	以,	來 14	ホー	細 が事務		03 03			: 社会参 泛援事業	加へのと	支援								
計	予	算	事 業 名				事業										-1-			03			03 事業 10
画	事稿	务事	· 業の概要 _{わかりやすく)}	い記目的	動を	展開る。	して、	、安心	して	ドらせ	るまち	づくり	りの実	現を図る	ため、社	t会参	加の促	進及	地域住び社会	民によ 福祉の	: る見守)向上に	り活 :寄与	動とふれあ することを
			と 背 景うして)						閉じこ	こもり	がちと	なりれ	社会的	に孤立す	る傾向に	ある	ため。						
•	目	対	受 益 者 (誰のために)				害者																
P	-	象	対象 (直接働きかける)								Adm		A							Adv. 1 8 41			
	的	(どん	意図	象者	の社	会的	孤立	を解消	する。														により、対
L			· 方 法 やって)	茅野の安	予市社で	会福	祖協!	機会に	委託し認めた	、栄	養パラ は、関	· ンス(係機	のとれが 関へのi	た昼食を連絡等を	·365日利 ·する。	用者の)居宅(こ配道	ける	ととも	に、そ(の 際 :	当該利用者
			行政活動の約	結果:	からつ) < I	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	计算式	・目	標値討	足定の	考え方々	ばど	最終目標値
Ν	評	活動指	サービス利用	用希!	望者を	を把技	屋する)		サー	ビス利	用者数	牧	人									40
	指標	標																					
	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	i 標	名	称	単位	算出方	法・詞	计算式	・目	標値討	足定の	考え方々	など	最終目標値
	成	果指	配食サービ	スの	利用					配食	回数			•									4, 000
		標																					

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
			(a)	円		392, 000	441, 400	439, 600	960, 000
	財		金 金	円円					
実	源	<u>県 支 出</u> 地 方	債	H					
	内	その他特定財	源	円					
	訳		源	円		392, 000	441, 400	439, 600	960, 000
施	職	正規職	員	人		0.01	0.01	0.01	0.01
		嘱託職	員	人		3.0.	3.51	0.01	0.0.
	員	臨 時 職	員	入					
状	数	合	計	人		0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
1	7	対象 (者)	数	人		98	20	20	40
			(b)	人		1, 960	2, 000		
	<u>i</u>		(b)	円	_	200	221	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	_	7. 00	8. 00	8. 00	19. 00
		and the second second	目標	人		100	20	20	40
		サービス利用者数	実績			98	15	10	
	活		達成率	%	_	98. 00	75. 00	50.00	_
	動	_	目標実績	_					
	指	_	達成率	%	_	_		_	_
D	標		目標	70	_			_	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標			2, 000	2, 000	2, 000	3, 000
	成	配食回数	実績			1, 960	2, 207	2, 198	3, 000
	果		達成率	%	_	98. 00	110. 35	109. 90	100.00
J	指		目標	-		-			
	標	-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	-
	備								
	考								
	75								

事務担 当			2食サー 建康福祉	-ビス事 - 部	業	#b t	まねか	推進課		芝豆 之	止支援係	<u>K</u>				間 平 当者名		_	~	年 真		整理番号 連絡先	030103 316	
<i>j</i>	期		- MC M 1-		目標		, III II			100		実	结		///			. ,		調				
				- 1	日行	+						天	裉							村	k Æ	<u> </u>		
四	第 1 期			星と事業 全と協議			こつい	て、社			握と事業と協議る			:況につ	いて、	社会		続 き、 を行う		の周知	も含む	か社会福	祉協議会	٤
	第 2 期			量と事業 会と協議			こつい	て、社			握と事業と協議で			:況につ	いて、	社会		続 き、 を行う		の周知	も含む	め社会福	祉協議会	٤
期ご	第 3 期			屋と事業会と協議			こつい	て、社			握と事業と協議で			況につ	いて、	社会		続き、 を行う		の周知	も含む	か社会福	祉協議会	٤
٤	第 4 期			屋と事業 会と協議			こつい	て、社			握と事業と協議を			況につ	いて、	社会		続 き、 を行う		の周知:	も含む	か社会福	祉協議会	٤
_O										導	-	<u> </u>	評	価										
				約6ヶ										戊 拡	7	充			2		5		7	
	対義た。	(有の)	世遅と手	業の実	き他状と	だについ	VC . 1	I安備化	上協議:	云と協語	を行っ			表 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1状維	持			3		6	レ	9	
管														· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 Z	小			4		8		(10)	
		刘	f 年 使 1	D実施言	計画 •	予 質理	少虫	1百 (2)	苗。2	か美生)		· [ji	-				•		•		19	
理	事業			で予算要			八子	久 (以		以古水	/			生 付	廃		D				-			
													向		/		皆	減	縮			状維持	1	大
												ľ	性	/			⊐	ス	۲	投	入	の方	向 性	
ſ	-	評価年	度	3	当年度	9	1					·												
	_	見点	Î	妥	<u> </u>		性		有	3	<u></u>	性			効	率		性		総	合	評価	判定	 F
-		面の観	点 1	2	3	4	判別	宣 1	2	3	4	<u>+</u>	定	1	2	3	4	判	定					
評	チ	ェック	7				4						4					4	1			Α		
		ふれる	か保保	ŧ福祉事	اع 🗱	て高	命者と	一体的	に行っ	ている	事業で	である	。 日	中独居	も含	めた独	居障:	者に	対	記 記		びおり事 「適当	業を進め	るこ
価	課			-ピスに よってい																号 B	: 事業	の進め方	に改善が	
ТШ	砞	~	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			10-1 10-1	H HPI .									,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		3,,00	•	の C 定		類模・内 直しが必	容・実施3 栗	主体
<u> </u>																				義 義	: 事業	の統合、	休・廃止の	の検
	題																			前年度		「必要 ↑評価判別	È A	
C																				前年度評	一番シ	ート整理番	号 03010	346
н			細	拼	包	策		評	個	ī	前			細		施		策		評		価	後	
	総	対象	の二ー	一ズ把握	とサー	ーピス	内容の	確認が	必要で	あるた	パ、事事 4.本が日	全体	対象	者の	ニーズ	把握と	サー	ビスグ]容(の確認が	必要	である	パ、事業会	全体
E	合																						6者部門と 事業展開に	
С	_			生める。										検討る				- , .						
	評																							
K	価																							
)		前:	年 度	改革	• 改	善多	き の	実 施	状 汅	3	尾 施	済	前	年度和	細 施:	策 評 佰	西に	おけ	る~	き後の	方向] 性		_
改	今		細	拼	色	策		評	個	ī	前			細		施		策		評		価	後	
革		成	拡	充			2		⑤		7		成	打		充								
改	後	果		 大維持			3		6	<u></u> レ	9		果	I	見状維							レ		
善	の	の方					.j				.j		り方											
の士	方	向	縮	小			4		8		10		向	111	Ĕ	小								
方向	向	性	休」	廃止	1								性	_ t	ト廃	止								
性	性			_	皆	減	縮	小			拡	大			_		皆	減	縮					大
				. L	- 716 € FT -	コ フ		投			向 性		<u> </u>	<u> </u>	2			コス				の 方		<u> </u>
A C	改革	配食す	ァービス 目を進め	くと安否 りられて	が確認の	ツ組み1	っつせ の食事	は、利 づくり	用有・	又接を	ョとも非	いれなっさら	配置	ŧザー! 川用をi	上人と 性めら	女合作れてし	ŧ略の vる。	祖の行 実際の	でしている。	』は、村 事づくり	リ用者	・又張る 建は、	旨とも抵抗 土協からる	れなきら
T	中.	に民間	ままず ままり まんりゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう おおし おおし おおし おおし おおし おおし しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	一下記	けされ	れてお	り、社	協の役	割と=	スト	こついて	て再度	ICE	間事	権へ	下請け	され	ており	J. 1	土協の役	割と	コスト	は協からる こついて再	写度
I	• 改	催認し	していく	• •									惟書	! してし	٠,٢									
0 Z	善善																							
	策												1											
見が			7 0 1	₩ = } 00	(在『ロ	20 🗆	是 4	夕 号示 』	無 	ム ユ				والمالية	岩州 4	£.24£.≑EB I					- 4	-	_b	_
取於	≅評	価年月		平成28	平0月	4V 🗖	取	冬評(山 貞	11 百				吧專	油 位作	進課	文				竹	<u>内</u>	武	

事務	事事	(名	当事者団体	補助	金交付	事業						事業期間 3	平成	~		年度	整理番号	03010331
担	当 部	署	健康福祉部	3		地域和	証批推進課		福祉3	を 援係		作成担当者	名 両	角	卓	其	連絡先	316
							政 策	01	第13	まお互いに	支えあ	い、その人	らしく書	らせる	あまちづ	くり		
	市	民:	プランに	有	자노 설	[体 系	施策	03	第31	市 障害者係	健福祉	の充実						
	おし	ナる	位置づけ	. 17	以求	中木	細施策	03		実現と社会参		支援						
							事務事業	03	地域生	上活支援事業	ŧ							
計	予	算	事 業 名			を 援事業							会計コー				頁 01 目	03 事業 10
					野市手を 寸する。		育成会に対	し、知	的障害	児者とその	家族の福	祉向上を目	指し知的	9障害.	児 者対策	を推	進するため)、補助金を
	事者	务事	業の概要	茅	リッで。 野市身体	本障害者	福祉協会へ	補助金	を交付	する。								
画	(開	潔にオ	っかりやすく)	茅里	9市手間	まサーク	ルへ補助金	を交付	する。									
	-			-	A December 10			A	4 500 7	1 1 4 1-4-		-t- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	W-L-7 -	- 1 /#-	A 12 5 1		7 /++-ma	
					内障害リ 育成会)	ですとて	の家族の福	祉 同上	を図る	とともに知り	打障害児	有対策を推	進するこ	ことか	来のられ	てい	る。(矛野	巾手をつな
	現	状	と 背 景	障害	字当時 1				し、バ	リアフリー	社会を築	いていくた	め、組織	きとし	て活動し	してい	くことが有	対である。
~	(۔ ځ	うして)				者福祉協会		er alle ede				Alfa Dide min at	K - T	ka in the c	L 7 1.	1.4.4	ent var en ek. 1.
				矛型						を主惟し、』 している。				「の埋」	件1~990	りもと	2612. 7	話通訳者と
			п + +	知的		見者及び	その家族				(3-2) 1	3 HM > 2	,,,					
	目	対	受益者	茅里	野市身体		福祉協会に											
Р				連		を含む	団体である 意成会	矛野巾-	子語サ	ークル								
		象	対 象	- 生	アルティア市身体	・ は障害者:	育成会 福祉協会											
			(直接働きかける	茅	野市手言	まサーク	ル											
L	的		意 図		止向上を	を目指し	、活動の安	定を図	3 .									
		(どん	な状態にしたいか															
			・方法	茅里	野市手を	をつなぐ	育成会・茅	野市身份	本障害	者福祉協会	・茅野市	手話サーク	ルに補助	力金を	交付する	5.		
	((どう	やって)															
Α				結果	からつ	くりだす	ものは何′	? 指	標	名 称	単位	算出方法	計算:	t·目:	標値設定	定の考	え方など	最終目標値
		活	茅野市手を	つな	ぐ育成	会の組織	・活動をす	<u>کے ہے ،</u>	u.									50
		動	援する。					会員数	<u>X</u>		ᄉ							50
N	н і	指標	地域住民の (身体障害				'	活動詞	足績									50
IN	価指		地域住民の				-	22.54.5	b ésk									25
	標		(茅野市手	話サ	ークル)		活動詞	- 作員									20
	の		成果	٠	効	果は	何?	指	標	名 称	単 位	算出方法	・計算記	た・目:	標値設定	定の考	きえ方など	最終目標値
)	作成	成果	知的障害児	者対	策を推	進する。		事業	会議	等実施回数	□							40
	/20	+E	団体活動の	任器	化 (阜	大陪宝 き	(担か位金)		業開									1
		標	四种/自剿V	ハロガ	10 (3	严呼音 1	118141加工/			者福祉協 <u></u>								'
			団体活動の	活発	化(茅	野市手記	[サークル)		事業開 野市手	信奴 話サーク								1

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
			(a)	円	315, 000	315, 000	315, 000	315, 000	315, 000
	財	国 庫 支 出	金	円				41, 000	
実	源	県 支 出	金	円				21, 000	
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	315, 000	315, 000	315, 000	253, 000	315, 000
施	職	正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
	数	合	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
状	7		数						
	3		(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
		受益者負担	額	円					
況	Ī	5民一人当たりのコス		円	6.00	6. 00	6. 00	6. 00	8. 00
		A = #L	目標	人	50	50	50	50	50
		会員数	実績		43	43	31	38	
	活		達成率	%	86. 00	86. 00	62. 00	76. 00	_
	番札	Not the state of the	目標						50
	指	活動実績	実績	0/					
	標		達成率	%	-	-		-	
		江斯·哈纳	目標						20
D		活動実績	実績達成率	%	_	_	_	_	_
				90	40	40	40	40	40
		事業・会議等実施回数	目標 実績		40	41	36	43	40
0		中木『太磯寺天旭凹数	達成率	%	102. 50	102. 50	90.00	107. 50	100.00
	成	新規事業開始数	目標		102. 30	102. 30	30.00	107. 30	100.00
	果指標	(身体障害者福祉協	実績						
	指	会)	達成率	%	_	_		_	_
$\overline{}$	標	新規事業開始数	目標						1
		(茅野市手話サーク	実績						-
		ル)	達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	巧								

社会福祉法人長野県身体障害者福祉協会を脱退したい意向が出てきている。	の運営等の運営等の運営等の運営等
	の運営等の運営等の運営等の運営等
2 白となる。 期 欠 会を開催する。 日となる。 日本の表面と実施に向けて会の運営等の相談窓口となる。 日本の適正実施に向けて会の運営等の相談窓口となる。 別 第 本業の適正実施に向けて会の運営等の相談窓口となる。 別 第 本業の適正実施に向けて会の運営等の相談窓口となる。 別 第 本業の適正実施に向けて会の運営等の相談窓口となる。 別 第 本業報告を受ける。 第 本 中 野 価	の運営等 付準備をの運営等
第 3	付準備をの運営等
	の運営等 ⑦
3	
### ### ### ### ### ### ### ### ### #	(A)
###################################	9
# 第年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方向性	10
中華	
評価年度 当年度 当年度 現点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評価の観点 1 2 3 4 判定 4 A A 子ェック 会事業の評価を行い効率性を高めることで、コストを抑えて行かれるよう支援していく。会員数の伸び悩みや高齢化により活動が停滞してしまう懸念がある。	拡大
提 点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価	向 性
視点 安 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価	
評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定	判定
チェック 4 4 4 4 4 4 4 4 4	17 72
会員数の伸び悩みや高齢化により活動が停滞してしまう懸念がある。 記	
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	- 改善が必要 ・実施主体 ・廃止の相
では、	· 0301030 徐
ての人に快適なまちづくり」の実現を支援していくには、個々の活動 ただけでなく、組織として活動して行くことが不可欠である。団体の活動を活発化させていくため事業継続が必要である。 「前年度改革・改善策の実施状況」実施済前年度細施策評価における今後の方向性 「前年度改革・改善策の実施状況」実施済前年度細施策評価における今後の方向性 「成」拡 充 、果 の方 方 に 、	
日本 10 10 10 10 10 10 10 1	固々の活動
本 次 拡 充 ② ⑤ ⑦ 成 拡 充 み み み の<	
改	後
音 の	後
の 方 向 ^{MB} か	後
Managara (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	後
向	後
性	
A 改 事業内容を精査し効率的な活動に結びついていくよう、活動実態をよ 事業内容を精査し効率的な活動に結びついていくよう、活動	拡大
C 単 り詳細に把握し支援していく。 り詳細に把握し支援していく。 サポート り は かい り い り は かい り い り は かい り れ り は かい り は い り は かい り は い り は かい り は い り は かい り は かい り は い り は い り は かい り は れ い り は い り は い り は い り は い り は い り は い り は い り	拡 大
	拡 大
	拡 大
	拡 大
最終評価年月日 平成28年5月20日 最終評価責任者 地域福祉推進課長 竹内	拡 大

事系	务事為	集名	障害認定審	查会	事業										事業期間	平成	t 18	3 ^	~	左	F度	整理番号	0301032
担	当部	署	健康福祉部			ţ	也域福	祉推入	進課		福祉3	支援係			作成担当	4者名	柏	木	さ	お	IJ	連絡先	316
計	お	ける	プランに位置づけ	有			-	政施細事務		01 03 02 01	第13 第3節 地域3 介護網	か 障を基盤	害者の	保健福祉	い、その の充実 活の支援							.	
AI	予	算	事 業 名	陣子	認定				- II-	t ob -tr. /	- 4 - 4 1		*	N == 1st =	- 4\\ \ \ A 4\ 1		<u> </u>				3 I		
画	事	務事	業の概要 _{わかりやすく)}	いる	関す を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	るに提認、	061 出し、 定審 訪67	夏目の 二次 を会け でなけれ	調査に判定を	こより- そ行い、 対に設け ↑護保	- 次判 その 置する 検認 定	定を行 判定制 ことを 審査会	果を	のちに、 踏まえ、 ているか っている	市におい パ、効率性 い い い い い い い い に い い い に い い い い い い	記書といて区: まやコ: 変連合	併せて 分1~ ストの こ委託	で で の 面 が もして	広域の 6000000000000000000000000000000000000	階のI 町村 。	に設 区分 での	置した障 認定を行 共同設置	者の心身の 害程度区分 う。本来、 が認められ
			と 背 景うして)												: 莫大な: 望の軽減?							町村では	介護保険に
^	目	対	受益者	申部同山	青した -	障害	者																
P		象	対象(直接働きかける)																				
	的	(どん	意図(な状態にしたいか)					区分認	足を調	を施する	5												
L			・ 方 法 やって)	諏訪	方広域	連合																	
			行政活動の	結果	からつ	ر ا	J だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	i法・詞	计算宝	t · E	目標値	設定	の考	え方なと	最終目標
N	評	活動	障害者福祉	の浸	透					申請件	+数			件	申請件しい	数は自	立生	活を	促進?	する目	安に	こふさわ	50
	価指	指標																					
_	標の				九		1+	何	0	#E	+#	A	1 /-	照 17	- 体山+	-2+ =	上答-	- -	· ## /=	: =n. <=	⊕	+·I	最終目標
	作成	成果	成果	•	効	果	IΥ	ΊΨJ	?	指 在空間	標書者	名 からの	称由語	単位									
	/20	未指標	地域生活の	推進						件数	+614	N. D. 0	* *** API	件	障害者	が自立	した	地域	生活で	を送る	6目3	となる	4(
		惊																					

							平成27年度(予算	平成28年度
	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	又は決算額)	事業計画 (予算)
	事業費等((a)	円	2, 837, 867	3, 548, 286	2, 883, 294	3, 370, 640	3, 173, 000
E	財国庫支出	金	円	546, 000	427, 000	206, 708	353, 000	357, 000
	源泉支出	金	円			103, 354	176, 000	179, 000
"	₩ 方	債	円					
	内その他特定財	源	円					
	訳 ─ 般 財	源	円	2, 291, 867	3, 121, 286	2, 573, 232	2, 841, 640	2, 637, 000
施		員	人	0. 08	0. 08	0. 08	0.11	0. 08
	ᆿ│ 嘱 託 職	員	人					
	品 時 職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03		0. 03
状	数合	計	人	0. 11	0.11	0.11	0. 11	0.11
1/		数		50	50	50	50	50
		(b)						
		(b)	円	_	-	_	_	_
況		額	円					
	市民一人当たりのコス		円	51.00	63. 00	52. 00	61.00	69. 00
		目標	件	50	50	50	50	50
		実績		61	91	51	91	
	活	達成率	%	122. 00	182. 00	102. 00	182. 00	_
7	動	目標	_					
1		実績						
D #	標	達成率	%	_	_	_	_	_
1		目標	_					
		実績						
		達成率	%	_	_	_	_	_
0	土 在宅障害者からの申請	目標	件	40	40	40	40	80
,	JX.	実績		32	73	32	79	80
-	果 指	達成率	%	80. 00	182. 50	80.00	197. 50	100.00
	指	目標	_					
1		実績						
		達成率	%	_	_	_	_	_
4	備							
	考							

事務	事業	€名 🖟	宇認	定審査	会事	業										事業	集期間 ³	平成	18	~		年月	度 整理	里番号	0301	0323
担当	部	署	建康福	祉部			地址	す福祉	推進認	ŧ	福	祉支	暖係			作成	担当者	名	4 木		さま	\$ 9	連	絡先	3 1	16
1	期				目	標							実	績								課	題			
四	第 1 期	諏訪! 程度!	太域連 区分認	合に登	託し	た審	査会に	おい	で障害	6 0	客查会	き開作	生し障害	程度	区分	認定を	を行った		画通り必要が			おいて	で障害	程度区	分認定	を行
				合に委定行う		た審	査会に	こおい	て障害	6 回	客査会	きを開催	生し障害	程度	区分	認定を	を行った		き続き認定を					おいて	障害科	星度区
3	第 3 期			合に委		た審	査会に	おいっ	て障害	6 0	客查会	きまれ	単し障害	程度	区分	認定を	を行った		き続き 認定を					おいて	障害和	程度区
بر				合に委		た審	査会に	おい	で障害	6 0	客查会						を行った		き続き認定を					おいて	障害和	星度区
の	N/ F	- 85	111.74	45 O	. 0	1860	\B I	⇒r⊥	1- 1- 1°	- T - BB - B	5 F LL	事	中	評		価										
										.た問是 を行っ が		'埰児(ノダ化	'	成 果	拡				2			⑤		7	
管														後	の	現状	は 維持	ļ		3)		6	レ	9	
														の	方向	縮	小			4)		8		10	
理,		亲	折年度	の実績	を計i	画・	予算要	要求事	項(ゐ	女革・	改善贫	策)		方	性	休」	廃 止	1								•••••
	事業	継続	に向け	て予算	要才	 して	ゆく。							向	_			皆	洞	比 絲	宿	小	現状	維持	拡	大
														性		/										
														-	_											
	_																									
	性 コスト投入の方向性															定										
24 =				1 2	2	3	4	1	E	1 7	2	3	4		+ '		2 3	+ '	4		4			Α		
-				787 a	力を加	生 专 择	のiXI		恵まっ	っており	IJ≙	·後 ±.1	: ^ع ل الله ا	•	1 量 2	進め	ること	水油 型	いお	•		ΙΑ :	計画ど	おり事	業を進る	めるこ
価																					号 の	C :	事業の 事業規	ー 進め方 模・内	容・実施	
C	障害児者及びその家族支援の必要性は高まっており、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。 A:計画どおり事業を進めることが適当															A										
			Arm		44-		A-4-		-ar			- 44				Arm.		-							号 030	10330
H	総	陪宝 :	細	支援等	施	tづき	策	書者の	評 担 +		<u>፱</u>	前		的陪	宝去	細	施 を援法に		策			¥ 211-++-	価ーピス		後	<u> </u>
E		に判	断する	ため、	障害	F程度	区分	認定書	査会0	り運営	を諏訪	6市	け村で!	取に	判断	するだ	とめ、障	害程		認定	審査	会の	運営を	諏訪 6	市町村	寸で調
C	合	訪広 ^は 連合に	寒連台 こ委託	へ委託するこ	しょ	E施し こより	,てい 事務	る。市 及び紹	単独で	ぐ連宮 ? 旦は削え	するよ 載され	り、こ	収訪仏!	咳 訪え 連	広域	連合へ 委託す	▶委託し	実施によ	してし り事形	\る。 B及U	市里 経費	独で	連宮す は削減	るより されて	ノ、諏記 こいると	万仏塚と考え
		る。												3												
K	価																									
~	Ш	前	年 度	改革	革 ・	改	善多	東 の	実施	: 状 :	兄	実力	も 済	前	〕年』	度細:	施策評	価に	こおし	ナる	今 後	<u>: の フ</u>	方向性	ŧ		_
改	^		細		施		策		評	ſ		前		Ī		細	施		策		F		価		後	
革	今	成	拡	 充				2		5	-	7			 戓	拡	充		~		н		livit		_	
改	後	果		状維持				3		6	<u>レ</u>	9			果		に						L			
善	の	の 方													の 方											
の 方	方	向	縮	小,				4		8		10			白	縮	小									
向	向	性	休	廃止	: '	①									性 _	休」	廃止									
Ad.	性		_			皆	減っ	縮	小		犬維持 、 ★							皆	減っ		宿 L 1	小丸			拡射	大
$\widehat{}$	改	諏訪	- 選越道	位での) 暗電	早福和	コープ			入 の コスト、				で	訪問	域単化	なでの障	害福				没 フ			向 性 などの	
С	Q 革			法でも				Jui AE					101				たである			JD						
T	•																									
Ι,	改																									
N	善																									
N	善策																									

事務事	業名	ふれあい	のつ	どい	(貨	担金	2) 4	事業										事	業期	間	平成			~			年度	整	理番号	0	3010327
担当台	部署	健康福祉	部			*	也域社	福祉	推進	課		*	を 重正	を援信	系			作	成担	当者	名	柏	木		č	お	IJ	ì	車絡先		316
お	民ける	プラン る位置づ	にけ	有	政 贫	传 体	系				01 03 03	9	第3類 自己身	現る	章害者	备保付金	支える 建福社 加へ <i>の</i>	止の	充実	の 人	.6L	. < 3	F b	せる	まち	づ	< <u>9</u>				
it y	,算	事業	名 均	域	生活	支援	事業	諸費	t												会計	-	・ド	001	赤	欠	03	項	01 目	03	3 事業 10
事 (能	務圖	事業の概 ゎゕりゃす。	要														い実 共に											3 E .	とによ	IJ.	障害者と
		さと背り	京			機会てい		なし	/庫書	書者と	と健常	者	の交	流の	場を	設け	、相.	互理	解を	深	か、 :	失に:	生き	る福	祉の	のま	ちつ	3 <	りを推	進す	ることが
	対		E)			健常のつ		実作	· 委员	会																					
Р	象	対 象	そ ける)								ir i vzi		±. ₪	z –	L-75		E 199	基 刀 士	- 275 sk		**	<u>* 0</u> :	H-4	. 40 to	1±./	D 14		#+ /	一升土	Z 1	祉のまち
的	(٤	意図んな状態にしたい	か)	3 ()	りを	推進	する	•			RUID	Call	€ ⊠	<u>െ</u>	26	. 11≊	互理!	M# 72	(本 0 .	, F	F T T	E W	LT 22	:19 /JL	121	是 汉国	υ,	大	CIC	ତ ୩୭	性のよう
		と・方う うやって	去	ist.	あい	のつ	Ζľ	実行	· 李 •	会																					
		行政活動	の結	果か	らっ	ر ار ا	りだす	すも	のは	何?	ŧ	旨	標	名	称	i	単(立	算出	方法	Է• ≣	†算:	式•	目標	[値	設定	このす	考え	方なと	最	終目標値
N 評	活動指	を支援す		どい	実行	委員	会(の組	織・	活動	実行	委.	員会有	参加	団体	数	団体	*	ふれ	あい	0	どし	実	行委	員会	の	参加	団体	の数		15
価指標の	標																														
作	成		•		効	果		行	•	?	ŧ	旨	標	名	称	i	単(立	算出	方法	失・ 言	†算:	式•	目標	傾	設定	このす	考え	方なと	最	終目標値
成	果 指標	祉のまち						共に:	生き	る福	参加	渚	数				人		ふれ	あし	0	どし	一	日の	参加	渚	数				400

	TT		単位	亚戊0.4左连	亚世 0 5 左 连	亚古ი东东东	平成27年度(予算	平成28年度
	項	目	里1型	平成24年度	平成25年度	平成26年度	又は決算額)	事業計画 (予算)
	事業費等	(a)	円	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000
	財 国 庫 支 出	金	円		117, 000	102, 000	104, 000	150, 000
	源泉支出	金	円		59, 000	51, 225	52, 000	75, 000
	地 万	債	円					
	一ての他特定期	源	円					
	訳 ─ 般 財	源	円	300, 000	124, 000	146, 775	144, 000	75, 000
施	職 正規職	員	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
	ᆿ│ 嘱 託 職	員	人					
	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	員	人	0. 03				
状	数 合	計	人	0. 13	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
1/	対 象 (者)	数						
		(b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
況	受 益 者 負 担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	5. 00	5. 00	5. 00	5. 00	19. 00
		目標	団体	15	15	15	15	15
	実行委員会参加団体数	実績	団体	15	13	15	15	
<u> </u>		実績 達成率	団体 %					— — — — — — — — — — — — — — — — — — —
	活	実績 達成率 目標		15	13	15	15	
	活	実績 達成率 目標 実績	% _	15	13	15	15	
	活 動 指	実績 達成率 実績 達成率		15	13	15	15	
	活	実績 実成 実成 実成 実成 実成 実成 実成	% _	15 100. 00	13 86. 67	15 100. 00	15 100.00	-
	活 動 指	実績率目実成標績率	% - % -	15 100.00	13 86. 67 —	15 100. 00 —	15 100.00	1
D	活 動 指	実績 軍 実成標	% _	15 100.00	13 86. 67 —	15 100.00	15 100.00	1
D 0	插	実産目実達目実産目実成標績率	% - % - %	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 — — — 400	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	
D	活動 計 情 一 成 参加者数	実成標績率標績率標績	% 一 % 一 从	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 — — 400 400	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	- - 400 400
D ,	活動 指標 一 成 参加者数	実成標績率標績率標績率標績率	% - % - %	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 — — — 400	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	
О О)	活動 情標 一 成果 指	実成標績率標績率標績率標	% 一 % 一 从	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 — — 400 400	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	- - 400 400
О О)	活動 指標 一 成 参加者数	実達目実達目実達日実達目実	% - % - % - %	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 ————————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	- 400 400 100.00
О О)	活動 情標 一 成果 指	実成標績率標績率標績率標	% 一 % 一 从	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 — — 400 400	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	- - 400 400
D 0	活動 情標 一 成果 指	実達目実達目実達日実達目実	% - % - % - %	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 ————————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	- 400 400 100.00
D 0	活動指標 一 参加者数 指標	実達目実達目実達日実達目実	% - % - % - %	15 100.00 ————————————————————————————————	13 86. 67 ————————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	15 100.00 ————————————————————————————————	- 400 400 100.00

事務	事	業名 ふれあいのつどい (負担金)	事業		事業期間 平成 ~ 年度 整理番号 03010327													
担:	当 部	形 署 <mark>健康福祉部 地</mark>	域福祉推進課	福	祉支援係		作成担	当者名	柏木	さおり	連絡先	316						
	期	目標			9	€ 績				課	課題							
巴	第 1 期	補助金を支給し、ふれあいのつどする。	い開催準備を	補助金を支 27.6.11第1 決定し、内容	回実行委員			会場を	引き続き、		に向けて準備で	する。						
半期	第 2 期	つどい開催に向けて準備する。 開催後、来年度に向けて反省会を	行う。	27.7.14第2 27.8.30ふれ 27.9.29第3 省と来年度	あいのつと 回実行委員	いを開 会を開	催した。 催し、本年月	度の反	反省をもとに来年度の計画を立て、準備をする。									
Tu	第 3 期	事業実績報告書を作成し提出する	5.	27.12.25社 た。	績報告書を	提出し	反省をもとに来年度の計画を立て、準備をする。											
٤	第 4 期	来年度に向けて事業計画をする。		来年度に向	った。		来年度事業	美開催に向け	て準備する。									
Ø					価													
		年度開始後、約6ヶ月が経過し、			或 拡	充		2	⑤	7								
		テ <mark>委員・職員・参加者から感想や改</mark> はげる。	曹点を集約し、	米年度の事	果 カ 現状糸	推持		3	⑥ レ	9								
管		er- y - 1400					方 縮	小 E14										
		新年度の実施計画・名質の	ままで / ユ	*某. 小羊丛	<u>+</u>)	ا ["	白			4	8	10						
理	地垣	新年度の実施計画・予算 或生活支援事業の補助対象となるが				, i	生 休 廃		1)									
		と進める。				向			皆 減	縮小	現状維持	拡大						
					/		コス	ト 投 .	入の方	向 性								
	評価年度 当年度																	
			性				効	率			総合評価判							
評		西の観点 1 2 3 4	判定 1	2	3 4	判定 4	1 2	3	4 判		Α							
		・エック	-	ているもめ	中家北田	•	t- ± 0/- t:	11 48 ±		: 計画どおり事業を進めるこ								
		昨年度ふれあいのつどいは継続 反省があった。そこで今年度は	遺害者と健常	者がふれあ	う機会を名	プログ	'ラムにおい	て意識	的に増やし	記	とが適当							
価	課	た。今後もこの事業の意図が実	現するように	、実行委員	会において	プログ	ラム内容等	の検討	を重ねる必	要 号 B:	事業の進め方事業規模・内							
		がある。								定	の見直しが必	要						
	題									義 D:	事業の統合、 討が必要	休・廃止の検						
С	Į									前年度	総合評価判定	È A						
											価シート整理番							
Н	442	細 施 策	評	価	前		細	施	策	評	価	後						
E	総	前年度の改善策であった参加賞い予算で事業を行うことができ			昨年より少 常者がふれ	な 前4						作年より少な 常者がふれあ						
	合	う機会を各プログラムにおいて	意識的に増や	し、実行委	員会・参加	者 う	農会を各プロ	コグラム	なにおいて意	識的に増や	し、実行委員	会・参加者						
С		から高い評価を得ることが出来とは、障害者と健常者の相互理				こかし	5高い評価で	を得ることは	ことが出来た その相互理解	:。ふれあい ! 歩涩め	のつどいが 害者の社会	制催されるこ Mandを促進						
ĸ	評	し、共に生きる福祉のまちづく																
IX	価																	
)		前年度改革・改善領	策の実施	状 況	実 施 済	前	年度細施	策評	価におけ	る今後の	方向性							
改	_	細 施 策	評	価	前		細	施	策	評	価	後						
革	今	成拡充	2	5	7	月		充										
改	後	単		ļ							,							
善善	の	の現状維持	3	⑥ レ	9	σ.					ν							
の	方	方 縮 小	4	8	10	方向		小										
方向	向	性 休廃止 ①				性		止										
性		皆減	縮小	現状維持	拡	t.			皆 減	縮小	現状維持	拡大						
<u> </u>	牲	1 - = ";	スト投ノ	入の方	向 性				コス	ト 投 .	入の方	向 性						
A	改	障害者の社会参加を促進し、共				る障	写者の社会	かかを使	足進し、共に	生きる福祉	のまちづくり	Jを推進する C東北大学は						
C	革	ためにはこれまでのように市民 実施していくことが望ましい。				かル・ヨ争者	***ルーよつ で	て事業を継続										
I	■ 今後も実行委員会において障害者と健常者がより一層ふれあい理解し 今後も実行委員会において障害者と健常者がより一層ふれあい理解し																	
0	■ 辛」ないア基じより良いものか伝供できるよう検討・労力する必要かの「ないア基じより良いものか伝供できるよう検討・労力する必要かの」																	
Z)	善策	る。	05 71%	22/23	J 327 94; N * 01,	る 。	13400	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	S - P IN INC DE	5 5 7 194	23/37 (J. J. N. (8)						
	朿																	
最終	冬評	価年月日 平成28年5月20日	最終評	西 責 任 者	当		地域福祉	推進課	Ę		竹 内	武						

一般会計【茅野市】

事	務事 簿	業名	福祉バス選	[行事	務事	集									事業期間	平成	1	1	~		年度	整理	里番号	03010	0214
担	当部	署	健康福祉部	ß		地	域福	祉推進	É課		福祉	業務係		4	作成担当	者名	久	保	山	貴	博	連	絡先	30	3
								政	策	05	第5	章 快	適で安	さらぎのむ	ある高原	都市で	くり								
	市	民	プランに	有	πh	策体	<i>z</i>	施	策	06	第6	節 公	共交通	の確保											
	お	ける	位置づけ	t ¹⁷	政	東 14	术	細施	策	02	地域	内交通	の確保	ŧ											
								事務	事業	02	福祉	バスの	運行事	業											
計	予	算	事 業 名														<u> </u>	-				頁 0		01 事	
								↓上の: 献助金:		‡害の	ある方	への	引用者	正発行、	福祉バス	C LE-	ーナキ	うや/	ار کا ا	■行事	業を	実施	してい	いるアル	ピコ
			業の概要	틴	五十十二	• 2 4.17.	107	M 49) 32 .	X II o																
画	(開	潔に	りかりやすく)																					
					*	/= 0.1				n 4 D# 4	·	14= + =	to Admir	TT =======	4 = 4 =		L 11 W		2-	0.45		<u> </u>	1 0 11	7 4th 1 4th	
			と背景											. 平成1 なり、平											
	(٠ ع	うして)	1 1	路線	で運行	うして	ている。	•				H 400 -		–		. ,,,,,						70 E. C		- 90 FL
			受 益 者		5歳以	上の	高齢 者	5、障	害者。																
	目	対	(誰のために		-																				
		象	対象 (直接働きかける		_																				
Р			(直接関さかける																						
	的		意 図											ナバスと どを経由											
	нэ	(どん	な状態にしたいか					果する。		K/NB iX	דקו פיקור	ih.£	スカル・	乙乙桂田	C. MIT	一时秋	1,7,6	_ 0);	*1177	***	r Ed 9	'A.N'	り建1.	190-	. ۱۰
L									•	利用	者証を	郵送で	で発行す	する。											
			方法やって)																						
		<i>C</i> 7	やっし																						
Α																									
			行政活動の	D結果	からつ	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	十算豆	t •	目標	直設定	定の考	きえき	らなど	最終目	標値
		活	利用者証							発行権	kr #kr			枚	1 年間	小祭行	- 1dr #h	,							900
N	評	動	利用有証							36111	X 3 X			113	1 4-10	W 361.	12.30	•							900
	評価	指標																							
	指標	尓																							
J	の																								
	作	成	成果		,,,		は		?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	†算⋾	t •	目標	直設定	定の考	きえき	ちなど	最終目	標値
	成	果指	高齢者・B す	宇者	等ので	お出か	けの	回数を	増や	1便	当たり	の乗車	人数	人	乗車人	数/便	数				_				5
		標	高齢者・関 す	害者	等ので	お出か	けの	回数を	増や	1日	当たり	の乗車	人数	人	乗車人	数/日	数								70
														•											

		頁	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
	Ę		(a)	円	8, 425, 869	9, 255, 000	9, 169, 368	9, 217, 126	229, 000
	饵	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	8, 425, 869	9, 255, 000	9, 169, 368	9, 217, 126	229, 000
施	職	正規職	員	人	0. 28	0. 38	0. 38	0. 38	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 28	0. 38	0. 38	0. 38	
-	Ż		数						
	3		(b)	<u></u>					
	È	1 - 1 1 (-)	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
		市民一人当たりのコス		円	150.00	165. 00	164. 00	166.00	4. 00
		200 d = 11 skt	目標	枚	900	900	900	900	
		発行枚数	実績		968	958	919	980	
	活		達成率	%	107. 56	106. 44	102. 11	108. 89	-
	動		目標	_					
	指	-	実績	0.4					
D	標		達成率	%	_	_	-	_	_
	12.4		目標	_					
			実績達成率	%	_	_	_	_	_
			目標	70	5	5	5	5	5
0	成	1便当たりの乗車人数	実績	人	4	4	4	3	4
	果	「反当たりの来華人数	達成率	%	80, 00	76, 00	72. 00	68, 80	80.00
	指		目標		70	70.00	72.00	70	70
	標	1日当たりの乗車人数	実績	人	59	62	59	56	60
	尓		達成率	%	84. 29	88. 00	84. 43	79. 86	85. 71
		市民プランの細施策にお							00.71

備 市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号は05060302、01030404、05060304 平成22年度は見直しのための調査に臨時職員を雇った。茅野市原村公共交通活性化協議会、茅野市公共交通検討会議において福祉パスを 含めた、公共交通のあり方を見直しています。

事務	事務事業名 福祉パス運行事務事業												事業期間 平成 11 ~ 年度 整理番号 03010214							0214									
担	当部	『署	健康福	祉部	3		地址	す福祉	推進課		福祉業務係					作	成担	当者名	2	、保	ĻЩ		貴博	,	連絡先	3	03		
	期				E	目標	Ē						実	績	į							課題							
四	第 1 期	市内	の公ま	L交更	の見	直しの	で福祉/ り推進 方法の」		含めた	保険制施。	削度説	、毎月 明会に 出席者	こおける	5利	用者	計証の	配布	の実	態の	D見ī	直し。				る福祉ノ		行形		
	第 2 期	公共検討		り見直	iuc	係る福	祉バス	《の見Ⅲ	しの	これま	での	市公共 盆議の 祉バス	方向	ŧの	整理	1、およ	び(修正案の課題の整理、交通事業者との協議に。 る課題の抽出										
期ご	第 3 期	公共	交通0	り見直	[し案	の策定	È				部署(1)検討	企画課)等と(の協	議、	公共3	交通0	り見直	公共交通の見直し案に対する交通弱者の意見の反映										
٤	第 4 期	公共交通の見直し案の策定 公共交通の見直し案の策定															Ē				市民、特に福祉パスの利用者への公共交通 直しに関する周知								
Ø		事中評																											
	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 公共交通検討会議より、公共交通見直し案が提示された。														成			充		2	2)		5		7				
管	'W'	大文地	快割	広議さ	.	公共义	. 週兄 個	し条刀				後	果の		状維				(3	3)		6	レ	9					
														の	方		縮小				4	D		8		10			
T123		7	新年度	そのま	€施言	計画·	予算要	要求事	項(改	(革・3	女善策	()		方	向性		廃	止(D										
			見直し		対し	、利用	者等の	人福祉	Ŀバスマ	利用	向					<u>)</u> 皆	源	t 糸	宿	小	頊	 状維持	拡	大					
	78.	*/FIJ AH		• • •										性									-		の方		性		
														'-	_							•					-		
	評価年度 当年度																				60								
	礼	見 点 画の観		1	妥 2	当 3	1 4	性制制	5 1	有 2		効 3 I a	性 4 1 :	判定	+	1 [効 2	率	4	性	判定		総	合	評 伍	判	定		
評		エツ		'		3	4	+17. 4	-			, ,	4 .	刊 4	+	'		3	4		刊 <u>作</u> 4	+			Α				
			•	を通材	式会	社の	路線パ	ス縮小	の流れ	を受け	十、茅!	野市原	村公	ŧ交:	通流	5性化	協議:	」 会、茅	野市	公共	交通	言	_ A		どおり	業を進	めるこ		
価	課		会議で ありま		方の	検討:	を行って	ていま	す。今	後、枝	討結	果等を	踏ま	き新	たな	3公共	交通	網を構	築し	てい	く必	두	В		適当 の進めフ	に改善	が必要		
īM.	沐																					O 万			規模・P 直しが』		施主体		
~	題																					拿		: 事業	の統合、 必要		止の検		
С	炬																							E総合	評価判		Α		
			Δm	1		<u>. </u>	Art		-	į.						如		44-		**	_			-		5号 03010214			
н	総	福祉	細 パス		が -ナキ		策	平成 1	評 1年か	信息		前	ታ ለ	まれ おおおり おおり こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう	神	MI	ν_	施ナちゃ	ایکرد	第			評 1 年か		価 齢者と	後	が 「濃		
E		1 回	のお出	出かけ	トバス	اع را	して運	行を始	めた。	高齢者	と障	害者の	外出の	D 1		のお出	かけ	パス」	とし	て	■行き	E始8	りた。	高齢	者と障	害者のタ	4出の		
С	百	市講	公共3	を通杉	この、 t討会	また、 議等:	、文理· での見i	于权の 直しを	作体の進め、	新たな	-必安 :公共:	である 交通網	の構	たけ	講	公共交	通検	討会議	等で	この 5	重すり	とかれ	世体の	新た	に必要 な公共	である。 交通網(・ オ野 の構築		
	評	を進	めます	۲.										₹.	進	めます	•												
K	価																												
)		前	年 度	き 改	革	- 改	(善)	乗 の	実 施	状 涉	- 5	- 部	実 施	Î	f 年	F度糸	田施:	策 評 佰	西に	お	ける	今~	後の	方向	性		_		
改	今		細		抗	Ē	策		評	個	i	前				細		施		策	ŧ	i	評		価	後			
革・	· 後	成	拉	4	充			2		⑤		7			成	拡		充											
改	の	果の	玗	1状維	持			3		6	V	9			果 の	現	!状維	持							レ				
善の	方	方	絲	音	小			4		8		10			方	縮	i	小							•••••				
方		白性	仂	ト 廃	止	(1)		_							向 性	休		止											
向性	向				_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡							皆	洞	t á	縮	小	現	状維持	拡	大		
^	性	_				·	= 7	ス ト		入の方向性						コスト投入の方向性													
A C	改		市公ま ありさ							ちゃん」を含めた公共交 茅野市公共						市公共交通検討会議で検討してきた福祉バス「ビーナちゃん」を た公共交通の再編案を平成28年10月から運行する。引き続き福													
T	革	を含	めたな	交共2	通網	の構	楽を具	体的に	進めま		す。検討会議の分科会に 祉バス利					日のたなステス型の特殊を干板20年10月から足11する。引き 地バス利用者証の対象者へは同様の料金体系が維持されるた 者証の発行および利用に関する周知を実施します。													
I	・ てコンサルの提案を受けながら進めます。 改													 種	融)	の発行	である	い利用	まに関	194	の周男	u 2-3	モ他 し	ょすず	•				
0 Z	善																												
)	策																												
最終	冬評	価年	月日	Ψ	成28	年5月	20日	最 終	冬 評 🕯	価 責	任 者	í				地域社	畐祉 推	進課	Ę					竹	内	声	.		